元総社蒼海遺跡群（65）

前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

２０１６．３

前橋市教育委員会

元総社蒼海遺跡群（65）

前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

２０１６．３

前橋市教育委員会

元総社蒼海遺跡群（65）全景（南西から）

Ｗ－１号溝跡・蒼海城堀跡の埋没状況（西から）

はじめに

上越国境にそびえる谷川連峰をその源とし、赤城山系・榛名山系のはざまを抜けて南流する利根川が、関東平野へ向かって開けるところに、ふるさと前橋市は存在します。市域は豊かな自然環境にも恵まれ、２万年前から人々が生活を始めました。そのため市内いたる所に、人々の息吹が感ぜられる歴史遺産が存在します。

稲作文化は利根川水系の多くの河川を遡上するようにここ前橋にも伝播し、その生産基盤の安定が、東国の中心としての「毛の国」を誕生させることとなり、前橋天神山古墳などの初期古墳をはじめ王山古墳・天川二子山古墳といった首長墓が連綿と築かれました。律令時代に入ってからも上野国の中心地として、総社・元総社地区に山王廃寺、国分僧寺、国分尼寺、国府など中枢をなす施設が次々に造られました。

中世になると、戦国武将の長尾氏、上杉氏、武田氏、北条氏が鎬をけずった地として知られ、近世においては、譜代大名の酒井氏、松平氏が居城した関東三名城の一つに数えられ、「関東の華」とも呼ばれた厩橋城が築かれました。

やがて近代になると、生糸の一大生産地であったことから、横浜に至る街道は「日本のシルクロード」とも呼ばれ、横浜港からは「前橋シルク」の名で海外に輸出され、近代日本の発展の一翼を担いました。

今回、報告する元総社蒼海遺跡群（65）は古代上野国の中枢地域の調査であります。上野国府推定区域に隣接することから、調査成果は多くの注目を集めております。今回の調査では、国府そのものに関連する遺構の検出・確認はかないませんでしたが、古墳時代から平安時代にいたる多くの竪穴住居跡を検出しました。今は一本の糸に過ぎない調査成果も織り上げて行けば、国府や国府のまちの姿を再現できるものと考えております。残念ながら、現状のままでの保存が困難なため、記録保存という形になりましたが、今後、地域の歴史・前橋の歴史を解明する上で、貴重な資料を得ることができました。

最後になりましたが、関係機関や各方面の多大なるご配慮・ご尽力により調査事業を円滑に進められことができました。また、寒風吹きすさぶ中、発掘調査にあたった発掘調査担当者・作業員のみなさんに厚くお礼申しあげます。

本報告書が斯学の発展に少しでも寄与できれば幸いに存じます。

平成 28 年３月

前橋市教育委員会
教育長　　佐　藤　博　之

例　　言

1　本報告書は前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う元総社蒼海遺跡群（65）埋蔵文化財発掘報告書である。

2　発掘調査の要項は次のとおりである。

遺跡名	元総社蒼海遺跡群（65）
調査場所	前橋市元総社町 2103-2 ほか
遺跡コード	25 A 164
発掘担当者	茂木孝行（技研コンサル株式会社）
整理担当者	中村岳彦（技研コンサル株式会社）
発掘調査期間	平成 26 年 1 月 22 日～平成 26 年 3 月 26 日
整理・報告書作成期間	平成 27 年 11 月 25 日～平成 28 年 3 月 25 日

3　本書の原稿執筆はＩを藤坂和延（前橋市教育委員会）、他を中村が担当した。

4　発掘調査および整理作業参加者は次のとおりである。

大川明子　新井實　飯島冬子　飯野景三　石川承子　伊丹茂一　上沢公一　楳原義久　遠藤好則
岡眞　小笠原文子　梶間保雄　加藤知惠子　鴨田榮作　川野京子　今野妙子　齋藤政次　佐藤文江
設楽和男　篠崎政子　杉田友香　鈴木洋一　諏訪尤子　高橋洋子　竹澤賢司　田代京子　田代光男
田部井美砂子　土屋和美　都丸芳泰　永井憲一　中野光雄　長野利章　羽鳥智　福島禄子　松村春樹
丸山文江　宮崎徳夫　矢内朝夫　吉浦英和　吉井正宏

5　本書における図面・写真・遺物は、前橋市教育委員会文化財保護課で保管している。

6　下記の機関にご指導・ご協力を賜りました。記して謝意を表します。

永井智教　吉田智哉　山下工業株式会社

凡　　例

1　挿図中に使用した北は座標北である。

2　挿図に国土地理院発行 1/200,000『宇都宮』『長野』、1/25,000『前橋』、前橋市発行 1/2,500 都市計画図を使用した。

3　遺構名称は、竪穴住居跡：H、竪穴状遺構：T、溝跡：W、井戸：Ｉ、土坑：D、ピット：Ｐである。

4　遺構・遺物実測図の縮尺は原則的に次のとおりである。その他各図スケールを参照されたい。

遺構　竪穴住居跡・竪穴状遺構・井戸・土坑・ピット・その他・・・1/60　全体図・・・1/300

遺物　土器・石製品・・・1/3、1/4、1/6　鉄製品・古銭・・・1/2　玉類・・・1/1

5　本文および表中の計測値については（　）は現存値を、〔　〕は復元値を表す。

6　遺構図、遺物実測図のトーン表現は以下の通りである。

遺構　焼土範囲：　灰範囲：　遺物　須恵器（還元焔）：　施釉：

7　主な火山降下物等の略称と年代は次の通りである。

As-B（浅間Ｂ軽石：1108）、Hr-FP（榛名二ッ岳伊香保テフラ：６世紀中葉）、
Hr-FA（榛名二ッ岳渋川テフラ：６世紀初頭）、As-C（浅間Ｃ軽石：３世紀後葉～４世紀前半）

目　　次

巻頭図版１

はじめに

例言・凡例

Ⅰ　調査に至る経緯 …… 1

Ⅱ　遺跡の位置と環境 …… 2

Ⅲ　調査の方針と経過

1　調査範囲と基本方針…… 7

2　調査経過…… 7

Ⅳ　基本層序…… 7

Ⅴ　遺構と遺物

（１）竪穴住居跡…… 9

（２）竪穴状遺構…… 14

（３）溝跡…… 14

（４）井戸、土坑、ピット…… 16

Ⅵ　発掘調査の成果と課題…… 48

挿図目次

Fig.１　遺跡の位置 …… 1
Fig.２　周辺遺跡図 …… 3
Fig.３　元総社蒼海遺跡群位置図とグリッド設定図 …… 6
Fig.４　基本層序 …… 7
Fig.５　全体図 …… 8
Fig.６　Ｈ－１～４号住居跡 …… 17
Fig.７　Ｈ－３・４・６号住居跡カマド、５号住居跡 …… 18
Fig.８　Ｈ－６～９号住居跡 …… 19
Fig.９　Ｈ－７・８・11・12号住居跡カマド …… 20
Fig.10　Ｈ－10・11号住居跡 …… 21
Fig.11　Ｈ－12・13号住居跡、14号住居跡カマド …… 22
Fig.12　Ｈ－14～17号住居跡 …… 23
Fig.13　Ｈ－16・18号住居跡カマド …… 24
Fig.14　Ｈ－18・19・22号住居跡 …… 25
Fig.15　Ｈ－20号住居跡 …… 26
Fig.16　Ｈ－21・23～25号住居跡 …… 27
Fig.17　Ｈ－21・24・25号住居跡カマド …… 28
Fig.18　Ｈ－26号住居跡、Ｔ－１～４号竪穴状遺構 …… 29
Fig.19　Ｗ－１号溝跡① …… 30
Fig.20　Ｗ－１号溝跡②、Ｗ－２・３号溝跡 …… 31
Fig.21　Ｗ－４～９号溝跡 …… 32
Fig.22　Ｉ－1～５号井戸、Ｄ－１～３号土坑 …… 33
Fig.23　Ｄ－４～22号土坑 …… 34
Fig.24　Ｄ－23～35号土坑 …… 35
Fig.25　Ｄ－36～52号土坑 …… 36
Fig.26　Ｄ－53・54号土坑、Ｐ－１～25号ピット …… 37
Fig.27　Ｈ－３・４・６・７・８ 号住居跡出土遺物 …… 38
Fig.28　Ｈ－８ ～ 16 号住居跡出土遺物 …… 39
Fig.29　Ｈ－16～20号住居跡出土遺物 …… 40
Fig.30　Ｈ－21～25号住居跡、Ｔ－４号竪穴状遺構、Ｗ－１号溝跡出土遺物 …… 41
Fig.31　Ｗ－１・３・９号溝跡、Ｉ－１～３号井戸、Ｄ－13・23号土坑、遺構外出土遺物 …… 42
Fig.32　遺構外出土遺物 …… 43
Fig.33　蒼海(65)周辺の蒼海城に関わる堀跡 …… 48
Fig.34　蒼海(65)周辺における古墳～平安時代の主要遺構分布 …… 50

表目次

Tab.１　周辺遺跡一覧…… 4
Tab.２　井戸・土坑・ピット計測表…… 16
Tab.３　出土遺物観察表…… 44～47

写真図版目次

PL.１　Ｈ－１～４全景（西から）　Ｈ－２・Ｗ－10全景（西から）　Ｈ－３全景（西から）　Ｈ－４全景（南西から）　Ｈ－４カマド全景（南西から）　Ｈ－５全景（南西から）　Ｈ－６全景（南から）　Ｈ－６カマド全景（南から）

PL.２　Ｈ－６遺物出土状況（南から）　Ｈ－７全景（西から）　Ｈ－７カマド全景（西から）　Ｈ－７－１遺物出土状況（北から）　Ｈ－８全景（南から）　Ｈ－８カマド全景（南から）　Ｈ－９全景（北東から）　Ｈ－11全景（西から）

PL.３　Ｈ－11カマド全景（西から）　Ｈ－11貯蔵穴全景（西から）　Ｈ－12全景（西から）　Ｈ－12カマド全景（西から）　Ｈ－13全景（南から）　Ｈ－15全景（西から）　Ｈ－15カマド全景（西から）　Ｈ－16全景（東から）

PL.４　Ｈ－16カマド全景（東から）　Ｈ－16貯蔵穴全景（東から）　Ｈ－16－２遺物出土状況（北から）　Ｈ－17全景（東から）　Ｈ－18全景（南西から）　Ｈ－18カマド全景（南西から）　Ｈ－19全景（南西から）　Ｈ－20全景（西から）

PL.５　Ｈ－20カマド全景（西から）　Ｈ－23遺物出土状況（北西から）　Ｈ－24全景（南から）　Ｈ－24カマド遺物出土状況（南から）　Ｈ－25全景（南西から）　Ｈ－25カマド全景（南西から）　Ｈ－26全景（東から）　Ｗ－３全景（西から）

PL.６　Ｗ－５全景（西から）　Ｉ－１SPA土層断面（西から）　Ｉ－１全景（西から）　Ｉ－２SPA土層断面（西から）　Ｉ－３SPA土層断面（西から）　Ｉ－３全景（西から）　Ｄ－13遺物出土状況（南から）　作業風景

参考文献

秋本太郎 2005「上野と周辺地域との関係－在地土器の分布論から探る－」『海なき国々とモノとヒトの動き』内陸遺跡研究会

秋本太郎 2008「戦国城館の遺物」『３館連携シンポジウム　後北条氏の城－合戦と支配－』博物館周辺文化財の複合的活用事業実行委員会

阿久澤智和 2016「上野国府を探して～前橋市元総社町における発掘調査成果を中心として～」『合同遺跡報告会資料集　発掘された古代の役所～最新の発掘調査からみた上野・北武蔵の律令社会～』　伊勢崎市教育委員会

飯森康広 2011「中世総社城に関する資料」『群馬歴史散歩　特集：群馬のお城』第 219 号　群馬歴史散歩の会事務局

木津博明 1992「第２節　出土遺物に就いて　第１項　文化層とその出土遺物」『上野国分僧寺・尼寺中間地域（８）』群馬県埋蔵文化財調査事業団

群馬県埋蔵文化財調査事業団 1997『最新情報展【出土した古代の土器】展示レポート』

群馬県埋蔵文化財調査事業団 1998『最新情報展【古墳時代の土器】展示レポート２』

坂口　一 1986「古墳時代後期の土器の編年－三ツ寺Ⅲ遺跡を中心とした土師器と須恵器の平行関係－」『群馬文化』208 群馬県地域文化研究協議会

坂口　一・三浦京子 1986「奈良・平安時代の土器の編年－住居の重複と共伴関係による土器型式組列の検討－」『群馬県史研究』24 群馬県史編さん委員会

桜岡正信 1991「７世紀代以降の土師器坏の画期とその要因について－群馬県地域を中心として－」『群馬考古学手帳』Vol. 2　群馬土器観会

桜岡正信 2003「武蔵型甕について－上野地域の生産と流通－」『高崎市史研究』17　高崎市史編さん専門委員会

鈴木徳雄 1983「古代北武蔵における土師器製作手法の画期」『土曜考古』第７号　土曜考古学研究会

鈴木徳雄 1984「いわゆる北武蔵系土師器坏の動態－古代武蔵国における土師器生産と交易－」『土曜考古』第９号　土曜考古学研究会

田中広明 1991「古墳時代後期の土師器生産と集落への供給－有段口縁坏の展開と在地社会の動態－」『埼玉県考古学論集　設立 10 周年記念論文集』　埼玉県埋蔵文化財調査事業団

富田和夫 1992「Ⅸ　調査のまとめ　１．遺物について」『稲荷前遺跡（Ａ区）』　埼玉県埋蔵文化財調査事業団

前橋市埋蔵文化財発掘調査団 2001『元総社宅地遺跡・上野国分尼寺寺域確認調査Ⅱ』

前橋市埋蔵文化財発掘調査団 2008『元総社蒼海遺跡群（14）　元総社蒼海遺跡群（19）』

前橋市教育委員会 2009a『元総社蒼海遺跡群（21）』

前橋市教育委員会 2009b『元総社蒼海遺跡群（23）』

前橋市教育委員会 2010a『元総社蒼海遺跡群（29）』

前橋市教育委員会 2010b『元総社蒼海遺跡群（31）』

前橋市教育委員会 2011『元総社蒼海遺跡群（36）』

前橋市教育委員会 2013a『元総社蒼海遺跡群（44）　元総社蒼海遺跡群（45）』

前橋市教育委員会 2013b『推定上野国府　平成 23 年度調査報告』

前橋市教育委員会 2013c『推定上野国府　平成 24 年度調査報告』

前橋市教育委員会 2014a『元総社蒼海遺跡群（51）、（52）、（53）、（54）、（55）、（66）、（67）、（68）』

前橋市教育委員会 2014b『元総社蒼海遺跡群（57）　元総社蒼海遺跡群（58）　元総社蒼海遺跡群（59）』

前橋市教育委員会 2015a『元総社蒼海遺跡群（85）、（88）、（89）、（90）、（96）、（97）、（98）』

前橋市教育委員会 2015b『元総社蒼海遺跡群（91）、（95）、（102）、（90）、（96）、（97）、（98）』

前橋市教育委員会 2015c『推定上野国府　平成 25 年度調査報告』

水口由紀子 1989「いわゆる“比企型坏”の再検討」『東京考古』７　東京考古談話会

山崎　一 1978『群馬県古城塁址の研究』上巻　群馬県文化事業振興会

Ⅰ　調査に至る経緯

本発掘調査は、前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴い実施され、その 14 年目にあたる。本調査地は、周辺において埋蔵文化財発掘調査が長年に亘って実施されており、遺跡地であることが周知されている。

平成 25 年 12 月 19 日付けで前橋市長　山本　龍（区画整理第二課）より埋蔵文化財発掘調査業務依頼が前橋市教育委員会に提出された。教育委員会では既に直営による発掘調査を実施しており、直営による調査の実施が困難であるため、民間調査組織に業務を委託するよう前橋市に回答をした。民間調査組織の導入については、依頼者である前橋市の合意も得られ、市教委の作成する調査仕様書に基づく監理・指導の下、発掘調査を実施することとなり、平成 26 年 1 月 14 日付けで前橋市と民間調査組織である技研コンサル株式会社との間で業務委託契約が締結され、同年 1 月 22 日に発掘調査が開始された。

なお、遺跡名称「元総社蒼海遺跡群（65）」（遺跡コード：25A164）の「元総社蒼海遺跡群」は区画整理事業名を採用し、「（65）」は過年度に実施した調査と区別するために付したものである。

Fig.1　遺跡の位置

Ⅱ　遺跡の位置と環境

遺跡の位置（Fig. 1）　本調査地は、前橋市街地から利根川を隔て、西へ約 3km の地点、前橋市元総社地内に所在し、西には関越自動車道、南には国道 17 号、主要地方道前橋・群馬・高崎線、東には市道大友・石倉線が走る。本調査地は、榛名山山麓の相馬ヶ原扇状地扇端部と前橋台地との移行地帯にあたると考えられる。相馬ヶ原扇状地の伏流水を水源とする染谷川や牛池川は、ちょうど本調査地の近辺で流れを南に大きく変える。その作用は、調査地周辺の地質にも大きく影響しており、縄文時代前期～後期にかけて堆積したと考えられている、総社砂層の形成過程にも大きく影響しているものと推測される。また、これらの河川の開析作用によって、遺跡地周辺には細長い微高地と低地が多く形成されており、その比高差は３～５ｍを測る。周辺は本来、主として畑地として利用されていたが、前橋市中心部から続く市街地の西端に接しており、宅地や商業施設も林立している。また、本遺跡の調査原因でもある土地区画整理事業も進みつつあり、本来の景観を望むことは難しくなりつつある。

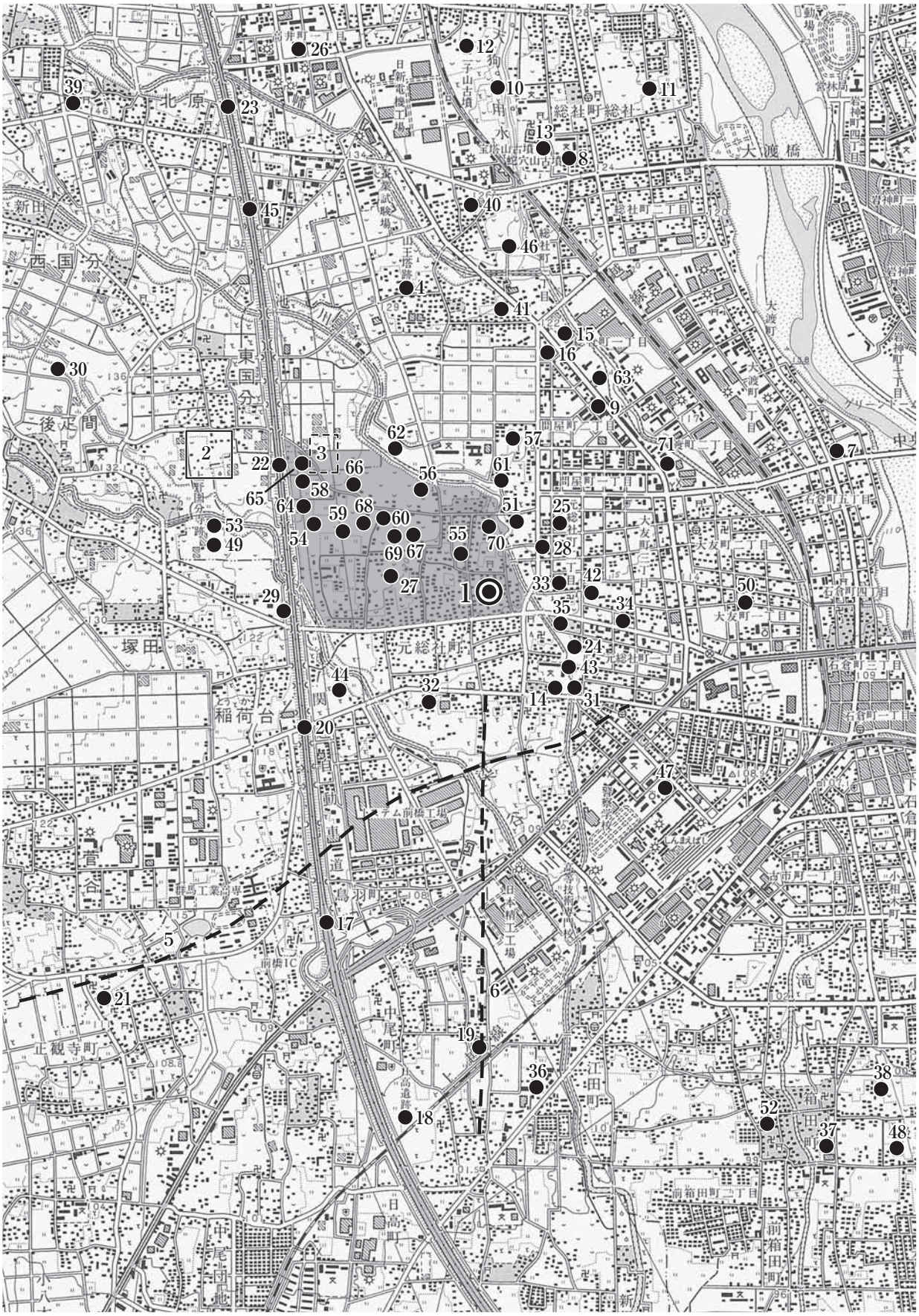
歴史的環境（Fig. 2、Tab. 1）　縄文時代の遺跡は八幡川右岸の微高地上に産業道路東［15］・産業道路西［16］・総社閑泉明神北Ⅲ遺跡［61］、本遺跡の立地する牛池川右岸台地上に上野国分僧寺・尼寺中間地域［22］・元総社小見Ⅲ遺跡［59］・元総社蒼海遺跡群（24）などが挙げられ、竪穴住居跡が確認されている。

弥生時代の遺跡としては日高遺跡［18］・［19］、上野国分僧寺・尼寺中間地域［22］、正観寺遺跡［21］などがあるが分布は散漫である。日高遺跡では浅間Ｃ軽石下の水田跡が確認されている。

古墳時代になると本遺跡周辺は県内でも中心的な地域であったことが窺われる。総社古墳群には、古墳時代後期・終末期に至り、王山古墳［７］、二子山古墳［12］、愛宕山古墳［10］、宝塔山古墳［13］、蛇穴山古墳［８］などの首長墓が築造された。該期の集落は牛池川と染谷川に挟まれた台地上に展開するが、後期の集落が多い。

奈良・平安時代に至ると、本遺跡周辺は上野国府、国分寺［２］、国分尼寺［３］、山王廃寺［４］の建設に示されるように古代の政治・経済・文化の中心地として再編成される。上野国府は本遺跡付近に推定される。元総社小学校校庭遺跡では大規模な掘立柱建物跡が検出され、元総社寺田遺跡では「國厨」・「曹司」・「国」・「邑厨」などの墨書土器や人形が出土している。また元総社明神遺跡［24］、閑泉樋遺跡［25］、元総社蒼海遺跡群（７・９・10）では区画溝が確認され、国府域の東北外郭線が想定された。国分僧寺では、築垣と、区画溝や道路状遺構などが確認されている。関連遺跡として鳥羽遺跡［20］で神社遺構や工房跡が確認され、上野国分僧寺・尼寺中間地域［22］では大規模な集落・掘立柱建物跡群が検出されている。山王廃寺は、「山ノ上碑」「上野国交替実録帳」にみられる「放光寺」であることが有力視されており、回廊や基壇建物などが確認されている。なお、この寺の塔心礎や石製鴟尾、根巻石などの石造物群は宝塔山古墳の石棺や蛇穴山古墳の石室と同系統の石造技術によるものと考えられており、仏教文化と古墳文化とが併存しながら機能していた様子が窺える。また本遺跡の南約 1.5km には東山道（国府ルート）が、日高遺跡［19］では幅約 4.5 ｍの推定日高道が国府方向へ延びると推定されている。該期の集落は、古墳時代と同様に牛池川と染谷川に挟まれた台地上に立地するが、国府推定域の中心部での分布は少なく、国府域と居住域の区分けが看取できる。近年の調査による元総社蒼海遺跡群（41）では鍛冶工房が検出され、金の付着した灰釉陶器や奈良三彩といった貴重な遺物が出土している。対照的に、集落の分布は多いものの本遺跡周辺での生産遺跡の分布は希薄なものとなっている。

室町時代になると上野国守護上杉氏から守護代に任命された長尾氏が蒼海城を本拠地としこの地を治めた。元総社蒼海遺跡群では蒼海城の堀跡や、南宋～元時代の青白磁梅瓶が出土している。また本遺跡周辺には屋敷に堀を巡らした城館跡が数多く認められる。天正年間以降は諏訪・秋元氏が蒼海城に入り当地の領主となるが、秋元氏が総社城に移ると同時に蒼海城は廃城となった。また、当該期の周辺遺跡では大渡道場遺跡［71］の貨幣埋納遺構から 572 枚に及ぶ銭貨が撚紐を通した「緡（さし）」の状態で六緡出土した。



＝元総社蒼海遺跡群

1：25,000

500m　0　500　1000　1500

Fig. 2　周辺遺跡図

Tab.1　周辺遺跡一覧表

番号	遺跡名	調査年度	時代：主な遺構・出土遺物
1	元総社蒼海遺跡群（65）	2014	本遺跡
2	上野国分寺跡（県教委）	1980～88	奈良：金堂基壇・塔基壇
3	上野国分尼寺跡	（1999）	奈良：西南隅・東南隅築垣
4	山王廃寺跡	（1974）	奈良：塔心礎・根巻石・金堂基壇・講堂版築・回廊礎石
5	東山道（推定）	－	
6	日高道（推定）	－	
7	王山古墳	1972	古墳：前方後円墳（６ｃ中）
8	蛇穴山古墳	1975	古墳：方墳（７ｃ末）
9	稲荷山古墳	1988	古墳：円墳（６ｃ後半）
10	愛宕山古墳	1996	古墳：円墳（７ｃ前半）
11	遠見山古墳	未調査	古墳：前方後円墳（５ｃ後半）
12	総社二子山古墳	未調査	古墳：前方後円墳（６ｃ末）
13	宝塔山古墳	未調査	古墳：方墳（７ｃ後半）
14	元総社小学校校庭遺跡	1962	平安：掘立柱建物跡・柱穴群・周濠跡
15	産業道路東遺跡	1966	縄文：住居跡
16	産業道路西遺跡	－	縄文：住居跡
17	中尾遺跡（事業団）	1976	奈良・平安：住居跡
18	日高遺跡（事業団）	1977	弥生：水田跡・方形周溝墓・住居跡・木製農具、平安：条里制水田跡
19	日高遺跡（高崎市）	（1978）	弥生：水田跡
20	鳥羽遺跡（事業団）	1978～83	古墳：住居跡・鍛冶場跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡（神殿跡）
21	正観寺遺跡Ⅰ～Ⅳ（高崎市）	1979～81	弥生：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：溝跡
22	上野国分僧寺･尼寺中間地域（事業団）	1980～83	縄文：住居跡・配石遺構、弥生：住居跡・方形周溝墓、古墳：住居跡、 奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡、中世：掘立柱建物跡・溝状遺構・道路状遺構
23	北原遺跡(群馬町)	1982	縄文：土坑・集石遺構、古墳：水田跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡
24	元総社明神遺跡Ⅰ～ⅩⅢ	1982～96	古墳：住居跡・水田跡・堀跡、奈良・平安：住居跡・溝跡、中世：住居跡・溝跡
25	閑泉樋遺跡	1983	奈良・平安：溝跡
26	柿木遺跡･Ⅱ遺跡	1983、1988	奈良・平安：住居跡・溝跡
27	草作遺跡	1984	古墳：住居跡、平安：住居跡、中世：井戸跡
28	閑泉樋南遺跡	1985	古墳：住居跡、奈良・平安：溝跡
29	塚田村東遺跡（群馬町）	1985	平安：住居跡
30	後疋間遺跡Ⅰ～Ⅲ（群馬町）	1985～87	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：道路状遺構
31	寺田遺跡	1986	平安：溝跡
32	天神遺跡･Ⅱ遺跡	1986、88	奈良・平安：住居跡
33	屋敷遺跡･Ⅱ遺跡	1986、95	古墳：住居跡、平安：住居跡、中世：堀跡・石敷遺構
34	堰越遺跡	1987	奈良・平安：住居跡・溝跡
35	大友屋敷Ⅱ・Ⅲ遺跡	1987	古墳：住居跡、平安：住居跡・溝跡・地下式土坑
36	勝呂遺跡	1987	平安：水田跡
37	村前遺跡	1987	平安：溝状遺構・水田跡
38	五反田遺跡	1987	平安：水田跡
39	熊野谷遺跡	1988	縄文：住居跡、平安：住居跡・溝跡
40	村東遺跡	1988	古墳：住居跡・溝跡、奈良・平安：住居跡、中世：堀跡
41	昌楽寺廻向遺跡･Ⅱ遺跡	1988	奈良・平安：住居跡
42	堰越Ⅱ遺跡	1988	平安：住居跡
43	元総社寺田遺跡Ⅰ～Ⅲ（事業団）	1988～91	古墳：水田跡・溝跡、奈良・平安：住居跡、中世：溝跡
39	熊野谷Ⅱ･Ⅲ遺跡	1989	平安：住居跡
44	弥勒遺跡･Ⅱ遺跡	1989、95	古墳：住居跡、平安：住居跡
45	国分境遺跡（事業団）	1990	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡
45	国分境Ⅱ遺跡	1991	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡
45	国分境Ⅲ遺跡（群馬町）	1991	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・畠跡、中世：土壙墓
46	大屋敷遺跡Ⅰ～Ⅵ	1992～2000	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：掘立柱建物跡・地下式土坑・溝跡
47	元総社稲葉遺跡	1993	縄文：土坑、平安：住居跡・瓦塔
48	五反田Ⅱ遺跡	1995	平安：水田跡
49	上野国分寺参道遺跡	1996	古墳：住居跡、平安：住居跡
50	大友宅地添遺跡	1998	平安：水田跡
51	総社閑泉明神北遺跡	1999	古墳：畠跡・水田跡・溝跡、中世：溝跡
52	箱田川西遺跡	1999	古墳：溝状遺構、平安：水田跡
53	元総社西川遺跡（事業団）	2000	古墳：住居跡・畠跡、奈良・平安：住居跡・溝跡
54	元総社小見遺跡	2000	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡・溝・道路状遺構
55	元総社宅地遺跡１～23トレンチ	2000	古墳：住居跡、平安：住居跡・掘立柱建物跡・鍛冶場跡・溝跡・道路状遺構、中世：溝跡、近世：住居跡
56	元総社小見内Ⅲ遺跡	2001	古墳：住居跡・溝跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡・溝跡、中世：掘立柱建物跡・溝跡
57	総社甲稲荷塚大道西遺跡	2001	奈良・平安：住居跡・溝跡、中世：畠跡、近世：溝跡
57	総社甲稲荷塚大道西Ⅱ遺跡	2001	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・溝跡、近世：溝跡
51	総社閑泉明神北Ⅱ遺跡	2001	古墳：住居跡・溝跡、平安：住居跡・溝跡
58	元総社小見Ⅱ遺跡	2002	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡、中世：溝跡・道路状遺構
59	元総社小見Ⅲ遺跡	2002	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・溝跡、中世：溝跡・道路状遺構
59	元総社草作Ⅴ遺跡	2002	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：溝跡
60	元総社小見内Ⅳ遺跡	2002	奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡・溝跡、中世：土壙墓
61	総社甲稲荷塚大道西Ⅲ遺跡	2002	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・畠跡・溝跡
61	総社閑泉明神北Ⅲ遺跡	2002	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡
62	元総社北川遺跡（事業団）	2002～04	古墳：水田跡、奈良・平安：住居跡・畠跡、中近世：掘立柱建物跡、水田跡・火葬墓
63	稲荷塚道東遺跡（事業団）	2003	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・溝跡・竈構築材採掘痕・井戸跡
64	元総社小見Ⅳ遺跡	2003	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：溝跡
65	元総社小見Ⅴ遺跡	2003	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：掘立柱建物跡
61	総社甲稲荷塚大道西Ⅳ遺跡	2003	古墳：畠跡、中世：畠跡
60	元総社小見内Ⅵ遺跡	2003	奈良・平安：住居跡・溝跡、中世：井戸跡
66	元総社小見内Ⅶ遺跡	2003	縄文：住居跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡、中世：畠跡・溝跡
67	元総社小見内Ⅷ遺跡	2003	奈良・平安：住居跡・溝跡、中世：竪穴状遺構
64	元総社小見Ⅵ遺跡	2004	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡
68	元総社小見Ⅸ遺跡	2004	奈良・平安：住居跡、中世：溝跡
68	元総社小見内Ⅸ遺跡	2004	奈良・平安：住居跡、中世：溝跡

番号	遺跡名	調査年度	時代：主な遺構・出土遺物
69	元総社小見内Ｘ遺跡	2004	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・工房跡・粘土採掘坑、中世：溝跡・土壙墓
70	総社閑泉明神北Ｖ遺跡	2004	古墳：水田跡、奈良・平安：住居跡
－	元総社蒼海遺跡群（１）	2005	奈良・平安：住居跡・溝跡、中世：溝跡・土壙墓
－	元総社蒼海遺跡群（２）	2005	奈良・平安：住居跡・溝跡、中世：溝跡・土壙墓
－	元総社蒼海遺跡群（３）・元総社小見Ⅶ遺跡	2005	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡
－	元総社蒼海遺跡群（４）	2005	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡
－	元総社蒼海遺跡群（５）	2005	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・溝跡、中世：周溝状遺構・土壙墓
－	元総社蒼海遺跡群（６）	2005	奈良・平安：住居跡・溝跡、中世：溝跡・土壙墓
－	元総社蒼海遺跡群（７）	2005	奈良・平安：住居跡・溝跡
－	元総社蒼海遺跡群（８）	2006	奈良・平安：住居跡
－	元総社蒼海遺跡群（９）、(10)	2006	縄文：竪穴住居跡、古墳：竪穴住居跡、奈良・平安：竪穴住居跡・掘立柱建物跡・溝跡・土坑、中世：溝跡
－	元総社蒼海遺跡群（11）	2006	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：溝跡
－	元総社蒼海遺跡群（12）	2006	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：井戸跡
－	元総社蒼海遺跡群（13）	2008	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・工房跡・溝跡、中世：溝跡・土壙墓
－	元総社蒼海遺跡群（14）	2008	古墳：住居跡・水田跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡、中世：溝跡・竪穴状遺構・井戸跡
－	元総社蒼海遺跡群（15）	2008	奈良・平安：住居跡・溝跡、中世：溝跡
－	元総社蒼海遺跡群（16）	2008	奈良・平安：住居跡・畠跡、中世：溝跡
－	元総社蒼海遺跡群（17）	2008	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・竪穴状遺構、中世以降：土壙墓・井戸跡、不明：住居跡・溝跡
－	元総社蒼海遺跡群（18）	2008	平安：住居跡
－	元総社蒼海遺跡群（19）	2008	古墳：小区画水田跡、中世：井戸跡
－	元総社蒼海遺跡群（20）	2008	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・竪穴状遺構・溝跡、中世：土壙墓・溝跡
－	元総社蒼海遺跡群（21）	2009	中世：蒼海城の堀跡・盛土状遺構
－	元総社蒼海遺跡群（22）	2009	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡
－	元総社蒼海遺跡群（23）	2009	古墳：住居跡、平安：土坑、中世：堀跡
－	元総社蒼海遺跡群（24）	2009	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・竪穴状遺構、中世：方形竪穴・井戸跡
－	元総社蒼海遺跡群（25）	2009	古墳：住居跡、平安：住居跡、中世：南宋～元時代の青白磁梅瓶２個体
－	元総社蒼海遺跡群（26）	2010	古墳：住居跡、古代：住居跡・竪穴状遺構・溝跡・土坑、中世：溝跡・土坑墓
－	元総社蒼海遺跡群（27）	2009	古墳：住居跡・焼土遺構、古代：住居跡・掘立柱建物跡・竪穴状遺構、中世：堀跡・竪穴状遺構
－	元総社蒼海遺跡群（28）	2009	古墳：住居跡・溝跡、古代：住居跡・竪穴状遺構、中世：堀跡
－	元総社蒼海遺跡群（29）	2009	古墳～平安：竪穴住居跡、中近世：掘立柱建物跡・土壙墓・火葬跡・地下式坑・蒼海城の堀跡
－	元総社蒼海遺跡群（30）	2009	古墳：住居跡、平安：住居跡、中世：道路状遺構・土壙墓・火葬跡・堀跡
－	元総社蒼海遺跡群（31）	2009	古墳：住居跡、中世：道路状遺構、蒼海城の堀跡
－	元総社蒼海遺跡群（32）	2010	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中近世：竪穴状遺構
－	元総社蒼海遺跡群（33）	2010	古墳：住居跡・粘土採掘坑、奈良・平安：住居跡
－	元総社蒼海遺跡群（34）	2010	奈良・平安：住居跡、中近世：堀跡・竪穴状遺構
－	元総社蒼海遺跡群（35）	2010	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡・畿内産土師器、中世：土壙墓・堀跡
－	元総社蒼海遺跡群（36）	2010	古墳：畠跡、平安：住居跡・水田跡・竈構築材採掘坑、中世：堀跡
－	元総社蒼海遺跡群（37）	2011	古墳：住居跡、平安：住居跡・溝、中世：堀跡
－	元総社蒼海遺跡群（38）	2012	古墳～奈良・平安：住居跡・土坑、中世：溝
－	元総社蒼海遺跡群（39）	2012	古墳：住居跡、奈良：溝、平安：土坑、中世：ピット・井戸
－	元総社蒼海遺跡群（40）	2013	縄文：住居跡、古墳～奈良・平安：住居跡・鍛冶遺構、中世以降：井戸跡
－	元総社蒼海遺跡群（41）	2013	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・鍛冶工房跡、中世：掘立柱建物跡・道路状遺構
－	元総社蒼海遺跡群（42）	2013	遺構なし
－	元総社蒼海遺跡群（43）	2013	奈良・平安：住居跡
－	元総社蒼海遺跡群（44）	2013	平安：住居跡、中世：堀跡
－	元総社蒼海遺跡群（45）	2013	古墳：住居跡、平安：住居跡、中世：堀跡、地下式坑
－	元総社蒼海遺跡群（46）	2013	平安：住居跡、中世：井戸
－	元総社蒼海遺跡群（47）	2013	中世：溝跡・柱列跡・井戸
－	元総社蒼海遺跡群（48）	2013	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡
－	元総社蒼海遺跡群（49）	2013	平安：住居跡、中世：井戸
－	元総社蒼海遺跡群（50）	2013	平安：住居跡、中世：井戸
－	元総社蒼海遺跡群（51）	2013	奈良・平安：住居跡
－	元総社蒼海遺跡群（52）	2013	遺構なし
－	元総社蒼海遺跡群（53）	2013	奈良・平安：住居跡
－	元総社蒼海遺跡群（54）	2013	遺構なし
－	元総社蒼海遺跡群（55）	2013	奈良・平安：住居跡
－	元総社蒼海遺跡群（56）	2013	古墳：住居跡
－	元総社蒼海遺跡群（57）	2014	中世：堀跡
－	元総社蒼海遺跡群（58）	2014	平安：溝跡、中世：堀跡
－	元総社蒼海遺跡群（59）	2014	平安：住居跡、中世：堀跡・竪穴状遺構
－	元総社蒼海遺跡群（60）	2014	古墳：住居・溝跡　奈良・平安：住居跡・溝跡、中世：堀跡
－	元総社蒼海遺跡群（61）	2013	古墳：方形周溝墓・住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：土坑墓
－	元総社蒼海遺跡群（66）	2013	奈良・平安：住居跡
－	元総社蒼海遺跡群（67）	2013	奈良・平安：住居跡
－	元総社蒼海遺跡群（68）	2013	奈良・平安：住居跡
－	元総社蒼海遺跡群（72）	2013	平安：住居跡
－	元総社蒼海遺跡群（73）	2013	時期不明：道路状遺構
－	元総社蒼海遺跡群（85）	2014	平安：住居跡
－	元総社蒼海遺跡群（88）	2014	時期不明：畠跡
－	元総社蒼海遺跡群（89）	2014	中世：溝跡・竪穴状遺構
－	元総社蒼海遺跡群（90）	2014	中世：竪穴状遺構
－	元総社蒼海遺跡群（91）	2014	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：井戸
－	元総社蒼海遺跡群（95）	2014	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡
－	元総社蒼海遺跡群（96）	2014	遺構なし
－	元総社蒼海遺跡群（97）	2014	奈良・平安：住居跡
－	元総社蒼海遺跡群（98）	2014	中世：掘立柱建物跡・井戸
－	元総社蒼海遺跡群（102）	2015	中世：堀跡
－	元総社蒼海遺跡群（17街区）	2015	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・道路状遺構・土坑、中世：土壙墓・火葬跡
71	大渡道場遺跡	2011	古墳：水田跡、平安：住居跡、中世：貨幣埋納遺構・掘立柱建物跡・地下式坑・土壙墓・火葬墓・火葬跡・溝跡・竪穴状遺構

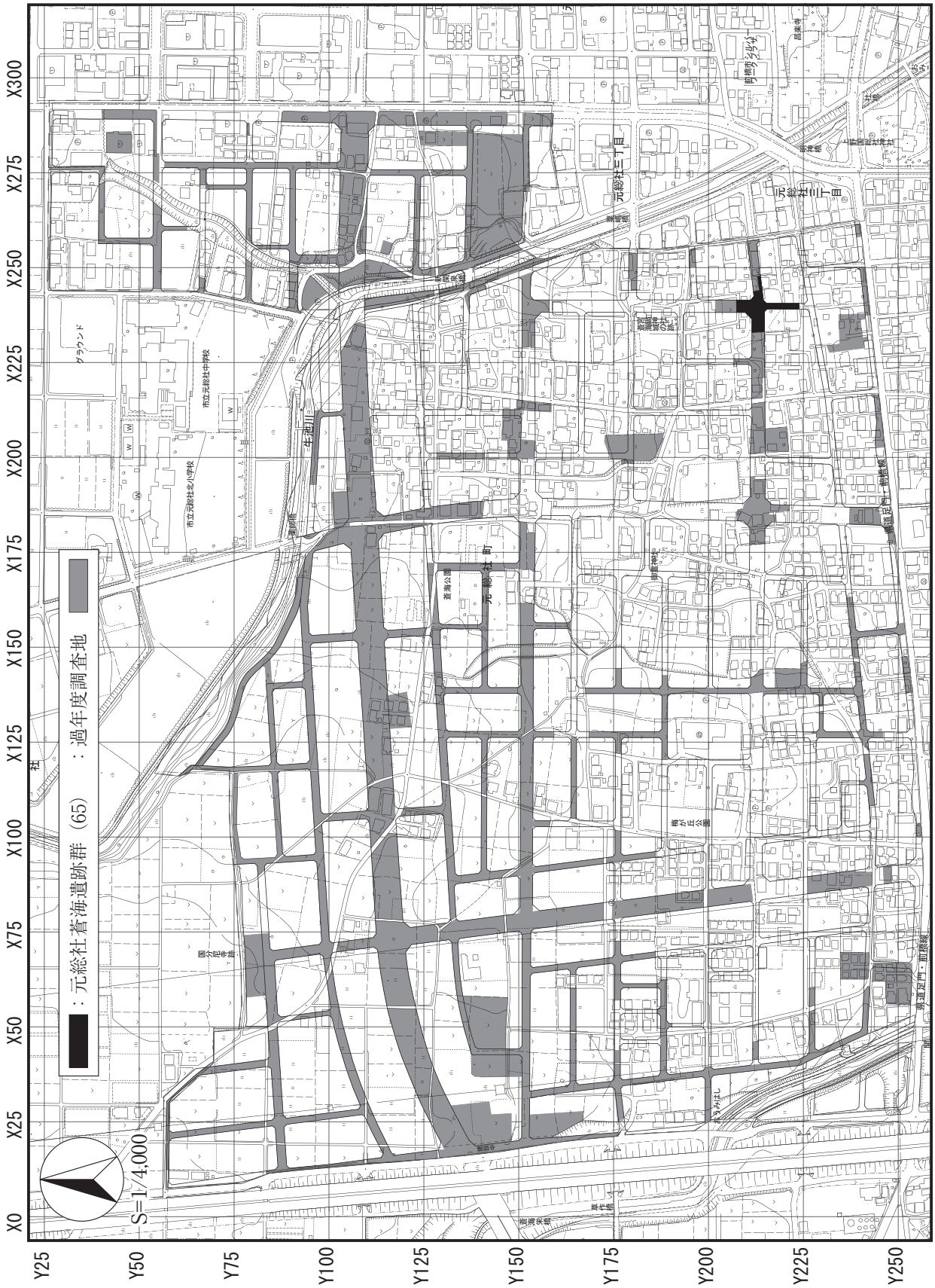


Fig. 3　元総社蒼海遺跡群位置図とグリッド設定図

Ⅲ　調査の方針と経過

1　調査範囲と基本方針

委託調査箇所は、前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業の道路予定地であり、調査面積は910㎡である。グリッド座標については国家座標（日本測地系第Ⅸ系）X＝44000.000、Y＝－72200.000を基点とする4mピッチのものを使用し、経線をX、緯線をYとして北西隅を基点に番付して呼称とした。各調査区の公共座標は次のとおりである。

測点	日本測地系（第Ⅸ系）	世界測地系（第Ⅸ系）
（65）　X 233、Y 209	X＝43164.000 m、Y＝－71268.000 m	X＝43518.911 m、Y＝－71559.766 m

発掘調査は遺構確認面まで重機（0.25㎥級バックホウ）にて表土掘削を行ない、遺構確認、遺構掘り下げ、土層断面図化・写真、遺物出土状況図化・写真、完掘状況図化・写真の手順で実施した。遺構調査については土層の堆積状況を確認するため、土層ベルトを適宜設定した。なお、出土遺物に関しては、床面直上や遺構に伴うと判断したものは出土位置を記録しながら取り上げた。

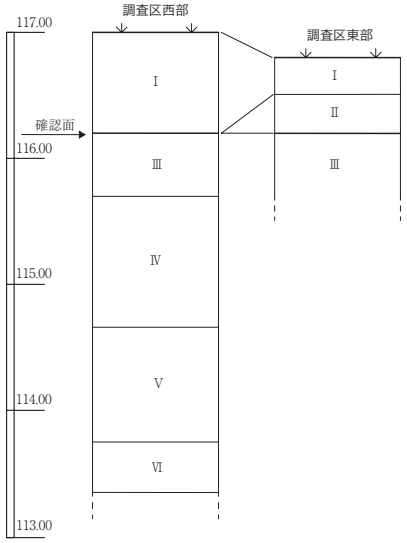
遺構の記録には、図面作成はトータルステーション・電子平板を用いての測量・編集を行ない、断面図については一部オルソーフォトに変換して編集を行なった。記録写真は35mm判モノクロ・リバーサルフィルム、デジタルカメラの３種類を用いて撮影し、調査区全景撮影についてはラジコンヘリコプターでの空中写真撮影を実施した。

2　調査経過

発掘調査は、表土掘削を平成26年1月30日から2月13日まで実施した。表土掘削以降、順次調査を進め、3月17日に全景撮影を実施した。その後、3月26日までに埋め戻しおよび撤収作業を完了し、現地での発掘調査を終了した。整理作業は、平成27年11月25日から平成28年3月25日まで実施した。11月26日に、調査記録・出土遺物の搬入を行い、11月27日から本格的に出土遺物・図面・写真等の整理作業および報告書作成を実施した。

Ⅳ　基本層序

現況の地表面は、建造物の移転等に伴い削平されていた。削平は近年の出来事のようで、表土は発達しておらず、整地層である薄い砕石層直下のⅠ層は、蒼海城に伴う造成土層と考えられる。近隣住民の話では50年程前までは現況よりも2m程度高かったが、調査区西端に残存していた、南北に延びるW－1堀跡を埋めるたに削平したとのことである。層中で微量に観察できるAs-Cは堀の開削時に存在していたであろうAs-C混土層に起因するもと考えられる。Ⅱ層も蒼海城に伴う造成土層と考えられ、造成以前の旧地形の窪みを埋めるためのものと思われる。層中には総社砂層ブロックが微量だが確認できることから、この造成土層は、堀の掘削土に由来すると推測される。Ⅲ層は総社砂層。漸移層は存在せず上層との層界は明確に分断されており、本来のⅢ層上部は失われていると考えられる。この層の上面を遺構確認面とした。また、土層註記でHr-FPとしたものは、角閃石安山岩の小塊であり、テフラの降下範囲を鑑みると、Hr-FAのユニットに由来する可能性がある。



基本層序
Ⅰ　褐灰色土（10YR4/1）粒子やや粗い。粘性弱い。サラサラした砂質感のある造成客土。地山砂質粒子・黒色土主体Hr-FP少量。炭化物・As-C・ローム粒子微量。小礫少量。
Ⅱ　褐灰色土(10YR6/1)Ⅰに比べ地山砂質粒子多量。粗子やや粗い。しまり・粘性やや弱い。Hr-FP・ロームブロック少量。炭化物粒子・地山砂質ブロック微量
Ⅲ　淡黄色土（2.5Y8/4）粒子粗い。しまりあり。粘性弱い。灰白色砂質ブロック・浅黄色粒子主体。遺構確認面。
Ⅳ　浅黄色土(2.5Y7/3)粒子やや粗い。しまりあり。粘性やや弱い。白色の礫微量。シルト質。
Ⅴ　灰黄色土（2.5Y7/2）粒子細かい。しまり・粘性あり。混入物はほとんど認められない。均質。シルト質。
Ⅵ　灰白色土（2.5Y8/1）粒子非常に細かい。しまり・粘性強い。

Fig.4　基本層序

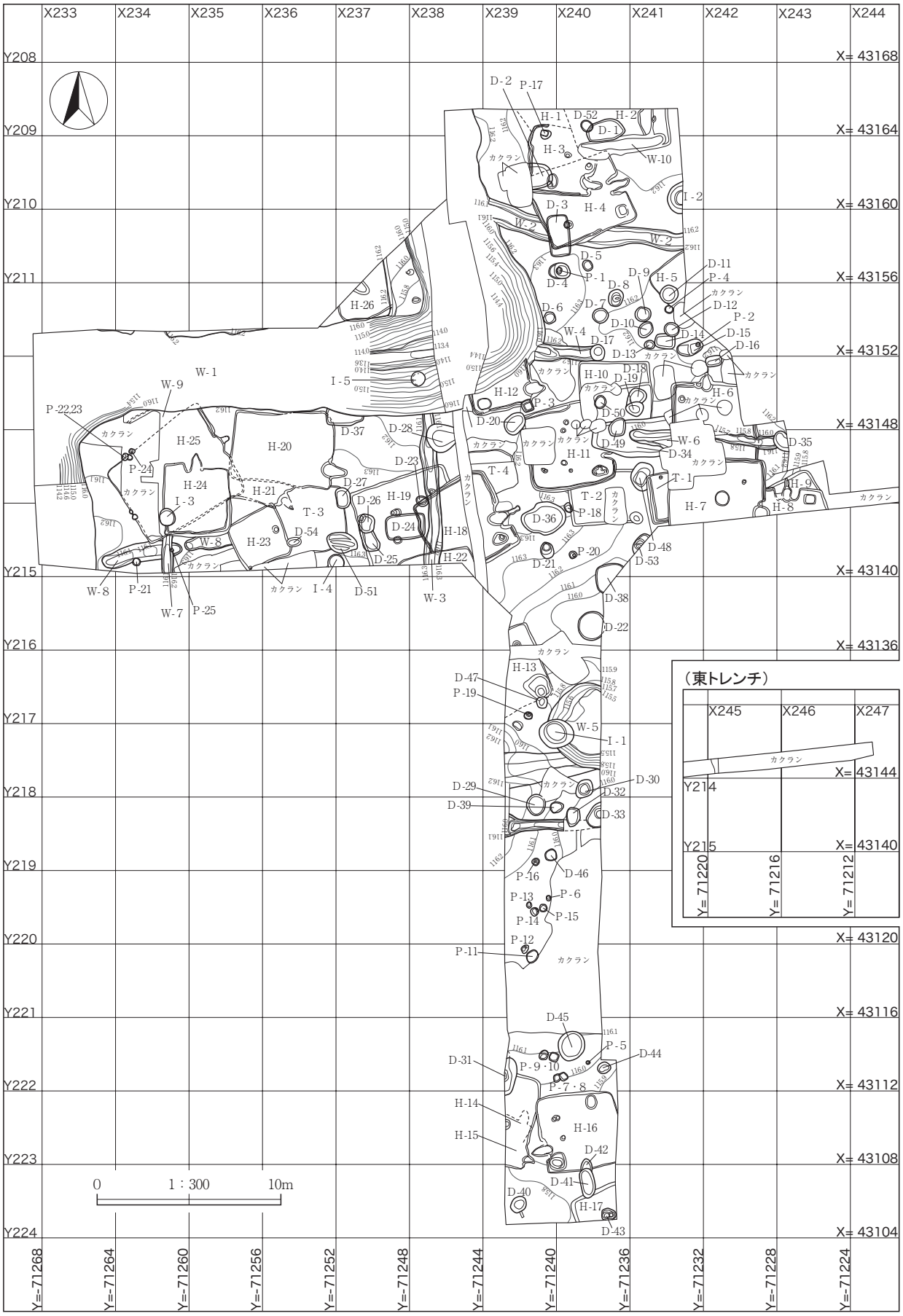

X233
X234
X235
X236
X237
X238
X239
X240
X241
X242
X243
X244
Y208
Y209
Y210
Y211
Y215
Y216
Y217
Y218
Y219
Y220
Y221
Y222
Y223
Y224
X= 43168
X= 43164
X= 43160
X= 43156
X= 43152
X= 43148
X= 43140
X= 43136
X= 43120
X= 43116
X= 43112
X= 43108
X= 43104
Y=-71268
Y=-71264
Y=-71260
Y=-71256
Y=-71252
Y=-71248
Y=-71244
Y=-71240
Y=-71236
Y=-71232
Y=-71228
Y=-71224
0
1：300
10m
（東トレンチ）
X245
X246
X247
Y214
Y215
X= 43144
X= 43140
Y= 71220
Y= 71216
Y= 71212

Fig. 5　全体図

Ⅴ　遺構と遺物

（1）竪穴住居跡

Ｈ－１号住居跡（Fig. 6、PL. 1）

位置　X 239・240、Y 208・209　**主軸方向**　（N－54°－E）　**規模**　東西軸（2.18）m、南北軸（1.50）m、壁現高 0.08 m。調査区北端において住居跡西端のみ調査できた。　**面積**　（2.34）㎡　**床面**　比較的平坦で締まりは弱い。　**重複**　H－2・3と重複し、新旧関係は本遺構→H－3→H－2である。　**カマド**　確認できず。　**貯蔵穴**　確認できず。　**柱穴**　確認できず。　**掘り方**　基本層序Ⅲ層まで掘り込まれる。　**出土遺物**　覆土中から土師器甕が2片出土したが、細片のため図示しなかった。　**時期**　H－3との重複関係から6世紀後半以前と考える。

Ｈ－２号住居跡（Fig. 6、PL. 1）

位置　X 240・241、Y 208・209　**主軸方向**　E－20°－N　**規模**　東西軸（4.08）m、南北軸（2.81）m、壁現高0.12 m。調査区北端において住居跡の南半を調査した。　**面積**　（6.71）㎡　**床面**　比較的平坦で締まりは弱い。　**重複**　H－1・2・3、D－1・52と重複し、新旧関係はH－1→H－4→H－3→本遺構である。土坑との新旧関係は不明。　**カマド**　東壁に構築される。大半は調査区外であり規模や形状は不明。袖は残存していない。燃焼室の手前から石が2石出土しており、廃棄された構築材の可能性がある。　**貯蔵穴**　確認できず。　**柱穴**　確認できず。　**掘り方**　基本層序Ⅲ層まで掘り込まれる。　**出土遺物**　覆土中から模倣坏や土師器甑、内黒土器などが出土したが、細片のため図示しなかった。　**時期**　H－3・4との重複関係から7世紀以降と考える。

Ｈ－３号住居跡（Fig. 6・7・27、PL. 1・7）

位置　X 239・240、Y 208・209　**主軸方向**　E－3°－S　**規模**　東西軸（4.22）m、南北軸（3.74）m、壁現高0.18 m。　**面積**　（10.73）㎡　**床面**　比較的平坦で締まりは弱い。　**重複**　H－1・2・4、D－2、P－17と重複し、新旧関係はH－1→H－4→本遺構→H－2・D－2である。ピットとの新旧関係は不明。　**カマド**　東壁に構築される。全長1.22 m、燃焼室幅0.53 m。南袖は残存していない。煙道は壁外に0.51 m突出している。燃焼室は浅く窪み、燃焼室と煙道の境は石を構築材としている。　**貯蔵穴**　確認できず。　**柱穴**　確認できず。　**掘り方**　基本層序Ⅲ層まで掘り込まれる。　**出土遺物**　カマド燃焼室の南側から出土した3と4の土師器長胴甕は破片だが、最大径は胴部上半に復元できる。1・2・5は覆土中から出土した。1の土師器坏は沈線で有段口縁を表現している。　**時期**　H－4との重複関係と1～4の出土遺物から、6世紀後半と考える。

Ｈ－４号住居跡（Fig. 6・7・27、PL. 1・7）

位置　X 239～241、Y 209・210　**主軸方向**　E－24°－N　**規模**　東西軸5.37 m、南北軸（3.75）m、壁現高0.24 m。　**面積**　（13.34）㎡　**床面**　比較的平坦で締まりは弱い。　**重複**　H－1～3、W－2と重複し、新旧関係はH－1→本遺構→H－3→H－2である。溝跡との新旧関係は不明。　**カマド**　東壁に構築される。全長1.22 m、燃焼室幅0.40 m。袖は灰白色粘土と砂質土で構築される。煙道は壁外に0.42 m突出している。焚口部は石を構築材としている。　**貯蔵穴**　南東隅に構築される。長軸0.68 m、短軸0.66 m、深さ0.51 m。覆土にはカマドに由来すると考えられる焼土や炭化物を含む。　**柱穴**　確認できず。　**掘り方**　基本層序Ⅲ層まで掘り込まれる。　**出土遺物**　カマドの北側から出土した1の土師器坏は口縁が有段化している。覆土から出土した2の土師器坏も同様である。カマド東側から出土した4や、床面に潰れた状態で遺棄された5の長胴甕は、胴部中位に最大径があり、長胴化の傾向はやや弱い。6は覆土から出土した須恵器ハソウで、断面三角状の隆帯によって波状文を区画している。　**時期**　H－3との重複関係と1・4・5の出土遺物から、6世紀中葉と考える。

Ｈ－５号住居跡（Fig. 7、PL. 1）

位置　X 241、Y 211・212　**主軸方向**　（N－52°－W）　**規模**　東西軸（2.57）m、南北軸（1.92）m、壁現高0.08

m。　**面積**　(4.08) ㎡　**床面**　比較的平坦で締まりは弱い。　**重複**　D－11と重複するが、新旧関係は不明。　**カマド**　確認できず。　**貯蔵穴**　確認できず。　**柱穴**　確認できず。　**掘り方**　基本層序Ⅲ層まで掘り込まれる。　**出土遺物**　覆土中から円筒埴輪１片と土師器甕１片が出土したが、細片のため図示しなかった。　**時期**　不明。

H－６号住居跡（Fig. 7・8・27、PL. 1・2・7）

位置　X 241･242、Y 213･214　**主軸方向**　N－1°－W　**規模**　東西軸4.81 m、南北軸（5.02）m、壁現高0.43 m。　**面積**　(11・47) ㎡　**床面**　比較的平坦で締まりは弱い。　**重複**　H－7、W－6と重複し、新旧関係は本遺構→W－6である。住居跡との新旧関係は不明。　**カマド**　北壁に構築される。全長（1.32）m、燃焼室幅0.42 m。東袖は残存していない。煙道は壁外に0.74 m以上突出している。燃焼室は浅く窪み、焚口前面の床面に被熱が認められる。　**貯蔵穴**　確認できず。　**柱穴**　確認できず。　**掘り方**　基本層序Ⅲ層まで掘り込まれる。　**出土遺物**　土師器高坏１片を図示したが覆土出土遺物であり、時期判断資料とはなり得ない。覆土からはほかに、灰釉陶器が１片出土しているが、細片のため図示しなかった。　**時期**　不明。

H－７号住居跡（Fig. 8・9・27、PL. 2・7）

位置　X 241・242、Y 214・215　**主軸方向**　E－1°－S　**規模**　東西軸5.47 m、南北軸（3.71）m、壁現高0.28 m。　**面積**　(13.54) ㎡　**床面**　比較的平坦で締まりは弱い。　**重複**　H－6・8・9と、T－1と重複し、新旧関係はH－9→H－8・T－1→本遺構である。H－6との新旧関係は不明。　**カマド**　東壁に構築される。全長（0.91）m、燃焼室幅（0.57）m。南半は調査区外。煙道は壁外に0.24 m突出している。燃焼室は浅く窪む。　**貯蔵穴**　確認できず。　**柱穴**　確認できず。　**掘り方**　基本層序Ⅲ層まで掘り込まれる。　**出土遺物**　１の土師器坏は床面直上に正位で安置された状態で出土した。　**時期**　１の出土遺物から、６世紀後半と考える。

H－８号住居跡（Fig. 8・9・27・28、PL. 2・7）

位置　X 242･243、Y 214･215　**主軸方向**　N－2°－E　**規模**　東西軸（3.17）m、南北軸（2.02）m、壁現高0.19 m。　**面積**　(3.98) ㎡　**床面**　比較的平坦で締まりは弱い。　**重複**　H－7・9と重複し、新旧関係はH－9→本遺構→H－7である。　**カマド**　北壁に構築される。全長1.30 m、燃焼室幅0.49 m。煙道は壁外に0.46 m突出している。焚口部は２と３の土師器長胴甕を構築材としている。燃焼室は浅く窪む。　**貯蔵穴**　北東隅に構築される。長軸0.64 m、短軸0.53 m、深さ0.27 m。覆土にはカマドに由来すると考えられる焼土・炭化物・灰を含む。　**柱穴**　確認できず。　**掘り方**　基本層序Ⅲ層まで掘り込まれる。　**出土遺物**　カマド構築材に用いられた２と３の土師器長胴甕は、胴部の張りがやや弱い。　**時期**　２と３の出土遺物から、６世紀後半と考えるが、H－7との重複関係から、これよりも若干古い時期と類推する。

H－９号住居跡（Fig. 8・28、PL. 2・7）

位置　X 233、Y 214　**主軸方向**　N－26°－W　**規模**　東西軸（2.42）m、南北軸（1.45）m、壁現高0.08 m。住居跡北東端のみ調査できた。　**面積**　(1.95) ㎡　**床面**　比較的平坦で締まりは弱い。　**重複**　H－7・8と重複し、新旧関係は本遺構→H－8→H－7である。　**カマド**　確認できず。　**貯蔵穴**　確認できず。　**柱穴**　確認できず。　**掘り方**　基本層序Ⅲ層まで掘り込まれる。　**出土遺物**　覆土中から１の大型埦が出土した。　**時期**　不明。

H－10号住居跡（Fig.10・28、PL. 7）

位置　X 240・241、Y 213　**主軸方向**　N－2°－W　**規模**　東西軸4.02 m、南北軸（3.31）m、壁現高0.20 m。　**面積**　(12.44) ㎡　**床面**　比較的平坦で締まりは弱い。　**重複**　H－11、D－18・19・34・49と重複し、新旧関係はH－11→本遺構である。土坑との新旧関係は不明。　**カマド**　確認できず。　**貯蔵穴**　確認できず。　**柱穴**　確認できず。　**掘り方**　基本層序Ⅲ層まで掘り込まれる。　**出土遺物**　覆土中から出土した３の土師器坏は小径化が進んでいる。ほかに、灰釉陶器壺の細片や鉄塊などが出土している。　**時期**　１と３の出土遺物から、

11 世紀前半と考える。

H－11 号住居跡（Fig. 9・10・28、PL. 2・3・7）

位置　X 241・242、Y 213・214　**主軸方向**　E－11°－N　**規模**　東西軸 4.69 m、南北軸 4.64 m、壁現高 0.23 m。**面積**　（17.73）㎡　**床面**　比較的平坦で締まりは弱い。　**重複**　H－10、T－2、D－20・34・49・50 と重複し、新旧関係は本遺構→H－10→T－2・D－34 である。ほかの土坑との新旧関係は不明。　**カマド**　東壁に構築されるが、北半はD－34 によって切られている。全長（0.64）m、燃焼室幅（0.22）m。北袖は残存していない。燃焼室は平坦で、焚口前面の床面に被熱が認められる。　**貯蔵穴**　南東隅に構築される。長軸 0.87 m、短軸 0.59 m、深さ 0.42 m。3の土師器小型甕がほぼ完存で出土した。　**柱穴**　確認できず。　**掘り方**　基本層序Ⅲ層まで掘り込まれる。　**出土遺物**　カマドの前面から1・2の土師器坏と4の長胴甕が出土した。2は口径が大きく扁平化している。4の口縁部は有段化している。　**時期**　カマド前面や貯蔵穴内から出土した1～4の出土遺物から、6世紀後半と考える。

H－12 号住居跡（Fig. 9・11・28、PL. 3・7）

位置　X 238・239、Y 213　**主軸方向**　E－10°－N　**規模**　東西軸 4.15 m、南北軸（2.11）m、壁現高 0.27 m。**面積**　（6.08）㎡　**床面**　比較的平坦で締まりは弱い。　**重複**　W－1・4、P－3と重複し、新旧関係は本遺構→W－3・4→P－3である。　**カマド**　東壁の南寄りに構築される。全長 0.59 m、燃焼室幅 0.36 m。袖は残存していない。煙道は壁外に 0.73 m突出している。燃焼室は浅く窪む。　**貯蔵穴**　確認できず。　**柱穴**　確認できず。　**掘り方**　基本層序Ⅲ層まで掘り込まれる。南西隅部に床下土坑を確認した。規模は長軸 0.75 m、短軸 0.59 m、深さ 0.08 m。　**出土遺物**　壁際から出土した3の土師器高坏は流入だろう。覆土から出土した1・2の土師器坏は口縁部が有段化しており、2は口径が大きく、扁平化している。　**時期**　1・2の出土遺物から、6世紀後半と考える。

H－13 号住居跡（Fig.11・28、PL. 3・7）

位置　X 239、Y 216・217　**主軸方向**　N－24°－W　**規模**　東西軸（3.03）m、南北軸（4.43）m、壁現高 0.21 m。　**面積**　（8.48）㎡　**床面**　比較的平坦で締まりは弱い。　**重複**　D－47 と重複し、新旧関係は本遺構→D－47 である。　**カマド**　確認できず。　**貯蔵穴**　南東隅に構築される。長軸 1.54 m、短軸 1.26 m、深さ 0.49 m。上端に浅い段が付く。　**柱穴**　確認できず。　**掘り方**　基本層序Ⅲ層まで掘り込まれる。　**出土遺物**　2の土師器坏はやや小径化している。3は口縁部が短くS字状に屈曲しており、いわゆる比企型坏の特徴をもつ。いずれも覆土中から出土した。　**時期**　覆土中の出土遺物から、6世紀後半～7世紀前半と考える。

H－14 号住居跡（Fig.11・12・28、PL. 7）

位置　X 239、Y 213　**主軸方向**　（E－25°－N）　**規模**　東西軸（1.65）m、南北軸（1.58）m、壁現高 0.07 m。カマドの使用面のみ調査できた。　**面積**　（1.56）㎡　**床面**　確認できず。　**重複**　H－15 と重複し、新旧関係は本遺構→H－15 である。　**カマド**　北壁の南寄に構築される。全長 0.80 m、燃焼室幅 0.51 m。袖は残存していない。煙道は壁外に 0.63 m突出している。燃焼室は浅く窪む。　**貯蔵穴**　確認できず。　**柱穴**　確認できず。**掘り方**　基本層序Ⅲ層まで掘り込まれる。　**出土遺物**　覆土から出土した2の土師器坏はやや扁平化している。**時期**　覆土中の出土遺物から、6世紀後半と考える。

H－15 号住居跡（Fig.12・28、PL. 3・7）

位置　X 239、Y 222～224　**主軸方向**　N－15°－E　**規模**　東西軸（2.84）m、南北軸 5.06 m、壁現高 0.23 m。**面積**　（8.05）㎡　**床面**　比較的平坦で締まりは弱い。　**重複**　H－14・16、D－31 と重複し、新旧関係はH－16→本遺構→D－31 である。　**カマド**　東壁の南寄りに構築される。全長 0.67 m、燃焼室幅 0.46 m。北袖は残存していない。燃焼室は平坦である。　**貯蔵穴**　確認できず。　**柱穴**　確認できず。　**掘り方**　基本層序Ⅲ層まで掘り込まれる。　**出土遺物**　床面直上から出土した2の灰釉陶器皿の高台形状は鈍い三角形で、釉調は薄

い。美濃窯編年の虎渓山１号窯式に相当すると考える。　**時期**　２の出土遺物から、10 世紀後半と考える。

Ｈ－ 16 号住居跡（Fig.12・13・28・29、PL. ３・４・７・８）

位置　X 239・240、Y 223・224　**主軸方向**　W－７°－S　**規模**　東西軸（4.85）m、南北軸 4.30 m、壁現高 0.18 m。　**面積**　（17.13）㎡　**床面**　比較的平坦で締まりは弱い。　**重複**　Ｈ－ 15、Ｄ－ 41・42 と重複し、新旧関係は本遺構→Ｈ－ 15・Ｄ－ 42 →Ｄ－ 41 である。　**カマド**　西壁の南寄りに構築される。全長 1.18 m、燃焼室幅（0.56）m。煙道は壁外に 0.66 m突出している。燃焼室は浅く窪む。両袖の構築材には５と６の土師器長胴甕が用いられている。　**貯蔵穴**　南西隅に構築される。長軸 1.03 m、短軸 0.96 m、深さ 0.52 m。上端に浅い段が付く。　**柱穴**　確認できず。　**掘り方**　基本層序Ⅲ層まで掘り込まれる。北東隅部に床下土坑を確認した。規模は長軸 0.77 m、短軸 0.64 m、深さ 0.12 m。　**出土遺物**　貯蔵穴内から出土した１や、床面直上から出土した２の土師器坏は、口径がやや大型化している。カマド構築材である５・６の長胴甕は、胴部に張りがない。　**時期**　床面直上やカマドなどから出土した１・２・４～６の出土遺物から、６世紀後半～７世紀前半と考える。

Ｈ－ 17 号住居跡（Fig.12・29、PL. ４・８）

位置　X 240、Y 224　**主軸方向**　N－ 25°－W　**規模**　東西軸（2.88）m、南北軸（1.94）m、壁現高 0.28 m。調査区南端において住居跡北西端のみ調査できた。　**面積**　（3.90）㎡　**床面**　比較的平坦で締まりは弱い。　**重複**　Ｄ－ 41・43 と重複し、新旧関係は本遺構→Ｄ－ 41・43 である。　**カマド**　確認できず。　**貯蔵穴**　確認できず。　**柱穴**　確認できず。　**掘り方**　基本層序Ⅲ層まで掘り込まれる。　**出土遺物**　覆土中から、１の滑石製臼玉のほか、土師器坏や甕の破片が出土したが、細片のため図示しなかった。　**時期**　不明。

Ｈ－ 18 号住居跡（Fig.13・14・29、PL. ４・８）

位置　X 238・239、Y 214・215　**主軸方向**　E－ 30°－N　**規模**　東西軸 5.37 m、南北軸 4.87 m、壁現高 0.31 m。　**面積**　（17.93）㎡　**床面**　比較的平坦で締まりは弱い。　**重複**　Ｈ－ 19・22、Ｔ－４と重複し、新旧関係はＨ－ 19 →Ｈ－ 22 →本遺構→Ｔ－４である。　**カマド**　東壁に構築される。全長 1.91 m、燃焼室幅 0.64 m。燃焼室は平坦である。燃焼室の前面から１の土師器坏が出土した。　**貯蔵穴**　南東隅に構築される。長軸 0.44 m、短軸 0.35 m、深さ 0.09 m。　**柱穴**　確認できず。　**掘り方**　基本層序Ⅲ層まで掘り込まれる。　**出土遺物**　カマドの前面から１、床面直上から２の土師器坏が出土しており、どちらも身模倣坏で口径は大きい。　**時期**　１・２の出土遺物から、６世紀後半と考える。

Ｈ－ 19 号住居跡（Fig.14・29、PL. ４・８）

位置　X 237・238、Y 214・215　**主軸方向**　N－ 18°－W　**規模**　東西軸 5.52 m、南北軸（4.20）m、壁現高 0.34 m。　**面積**　（16.16）㎡　**床面**　比較的平坦で締まりは弱い。　**重複**　Ｈ－ 18・22 と重複し、新旧関係は本遺構→Ｈ－ 22 →Ｈ－ 18 である。　**カマド**　確認できず。　**貯蔵穴**　確認できず。　**柱穴**　確認できず。　**掘り方**　基本層序Ⅲ層まで掘り込まれる。　**出土遺物**　覆土中から１・２の内斜口縁坏が出土した。　時期　重複関係と１・２の出土遺物から、５世紀後半～６世紀前半と考える。

Ｈ－ 20 号住居跡（Fig.15・29、PL. ４・５・８）

位置　X 235 ～ 237、Y 213・214　**主軸方向**　E－５°－S　**規模**　東西軸 6.38 m、南北軸 4.30 m、壁現高 0.18 m。　**面積**　（22.49）㎡　**床面**　比較的平坦で締まりは弱い。　**重複**　Ｈ－ 21・25、Ｔ－３、Ｄ－ 37 と重複し、新旧関係はＨ－ 25 →Ｈ－ 21 →本遺構→Ｔ－３・Ｄ－ 37 である。　**カマド**　東壁の南寄りに構築される。全長 1.43 m、燃焼室幅 0.64 m。燃焼室は平坦である。カマド内から１・２・４の須恵器坏・小皿が出土した。　**貯蔵穴**　確認できず。　**柱穴**　確認できず。　**掘り方**　基本層序Ⅲ層まで掘り込まれる。　**出土遺物**　カマド内や床面直上から出土した２～６の須恵器坏・小皿は、いずれも酸化焔焼成で、小皿は小径化が著しい。１・２・４・５・７には、油煙や煤の付着が観察でき、灯明具としての用途が推測できる。８の羽釜は、床面直上に破損した状態で出土し、鍔部の作りは鈍い。　時期　床面直上やカマドの出土遺物から、11 世紀と考える。

Ｈ－21 号住居跡（Fig.16・17・30、PL. ８）

位置　X 235・236、Y 214・215　**主軸方向**　Ｅ－50°－Ｓ　**規模**　東西軸 3.14 m、南北軸 2.71 m、壁現高 0.21 m。　**面積**　（3.86）㎡　**床面**　比較的平坦で締まりは弱い。　**重複**　Ｈ－20・23～25 と重複し、新旧関係はＨ－23→Ｈ－25→Ｈ－24→本遺構→Ｈ－20 である。　**カマド**　東壁の南寄りに構築される。全長 1.04 m、燃焼室幅 0.60 m。袖は残存していない。燃焼室は平坦で、焚口前面の床面に被熱が認められる。　**貯蔵穴**　確認できず。　**柱穴**　確認できず。　**掘り方**　基本層序Ⅲ層まで掘り込まれる。　**出土遺物**　カマド煙道内から１・２の須恵器坏が出土した。いずれも二次底部面をもち、２は酸化焔焼成である。　**時期**　カマドから出土した１・２の出土遺物から、10 世紀前半と考える。

Ｈ－22 号住居跡（Fig.14・30、PL. ８）

位置　X 237・238、Y 215　**主軸方向**　Ｅ－13°－Ｎ　**規模**　東西軸（4.15）m、南北軸（1.97）m、壁現高 0.29 m。　**面積**　（2.56）㎡　**床面**　比較的平坦で締まりは弱い。　**重複**　Ｈ－18・19 と重複し、新旧関係はＨ－19→本遺構→Ｈ－18 である。　**カマド**　確認できず。　**貯蔵穴**　確認できず。　**柱穴**　確認できず。　**掘り方**　基本層序Ⅲ層まで掘り込まれる。　**出土遺物**　１の土師器坏は、床面直上から正位で出土した。やや深身で、大型扁平化はしていない。　**時期**　床面直上から出土した１の出土遺物と重複関係から、６世紀中葉と考える。

Ｈ－23 号住居跡（Fig.16・30、PL. ５・８）

位置　X 235・236、Y 215　**主軸方向**　Ｎ－27°－Ｗ　**規模**　東西軸 3.05 m、南北軸 2.96 m、壁現高 0.23 m。　**面積**　（7.77）㎡　**床面**　比較的平坦で締まりは弱い。　**重複**　Ｈ－21・24、Ｗ－８、Ｄ－54 と重複し、新旧関係はＷ－８→本遺構→Ｈ－24→Ｈ－21・Ｄ－54 である。　**カマド**　確認できず。　**貯蔵穴**　確認できず。　**柱穴**　確認できず。　**掘り方**　基本層序Ⅲ層まで掘り込まれる。　**出土遺物**　２・３の土師器坏は、床面直上から正位で出土した。やや深身で、大型扁平化はしていない。　**時期**　床面直上から出土した１～３の出土遺物と重複関係から、６世紀中葉と考える。

Ｈ－24 号住居跡（Fig.16・17・30、PL. ５・８）

位置　X 234・235、Y 214・215　**主軸方向**　Ｎ－２°－Ｅ　**規模**　東西軸 3.82 m、南北軸 4.51 m、壁現高 0.12 m。　**面積**　（13.68）㎡　**床面**　比較的平坦で締まりは弱い。　**重複**　Ｈ－21・23・25、Ｉ－３と重複し、新旧関係はＨ－23→Ｈ－25→本遺構→Ｈ－21→Ｉ－３である。ピットとの新旧関係は不明。　**カマド**　東壁に構築される。全長 0.50 m、燃焼室幅 0.68 m。燃焼室はごく浅く窪む。　**貯蔵穴**　確認できず。　**柱穴**　確認できず。　**掘り方**　基本層序Ⅲ層まで掘り込まれる。　**出土遺物**　床面直上から１～３、カマド前面から４、カマド内から５が出土した。１は、陶邑窯編年のＴＫ 217 段階に並行する坏Ｈ蓋だろう。２の土師器坏は小径化しており、３はいわゆる北武蔵系坏。４の長胴甕は、口縁部に最大径をもち、張りのない肩部外面に斜位ヘラケズリを施す。器壁は薄い。　**時期**　床面直上やカマドの出土遺物から、７世紀前半と考える。

Ｈ－25 号住居跡（Fig.16・17・30、PL. ５・８）

位置　X 233～235、Y 213～215　**主軸方向**　Ｅ－31°－Ｎ　**規模**　東西軸 6.65 m、南北軸 5.55 m、壁現高 0.26 m。　**面積**　（31.62）㎡　**床面**　比較的平坦で締まりは弱い。　**重複**　Ｈ－20・21・24、Ｗ－７・８、Ｉ－３、Ｐ 22～24 と重複し、新旧関係は本遺構→Ｗ－８→Ｈ－24→Ｈ－21→Ｈ－20・Ｉ－３である。ピットの新旧関係は不明。　**カマド**　東壁に構築される。全長 1.04 m、燃焼室幅 0.60 m。袖は残存していない。燃焼室は平坦である。　**貯蔵穴**　確認できず。　**柱穴**　確認できず。　**掘り方**　基本層序Ⅲ層まで掘り込まれる。　**出土遺物**　カマド内から出土した２の土師器坏は坏身模倣で、大径化している。　**時期**　カマドから出土した２の出土遺物から、６世紀後半と考える。

Ｈ－26 号住居跡（Fig.18、PL. ５）

位置　X 236・237、Y 211・212　**主軸方向**　Ｎ－10°－Ｗ　**規模**　東西軸（2.82）m、南北軸（3.06）m、壁現高 0.18

m。　面積　（5.09）㎡　床面　比較的平坦で締まりは弱い。　重複　W－１と重複し、新旧関係は本遺構→W－１である。　カマド　確認できず。　貯蔵穴　確認できず。　柱穴　確認できず。　掘り方　基本層序Ⅲ層まで掘り込まれる。　出土遺物　なし。　時期　不明。

（２）竪穴状遺構

Ｔ－１号竪穴状遺構（Fig.18）

位置　X 241、Y 214・215　主軸方向　N－7°－W　規模　東西軸（1.26）m、南北軸 2.74 m、壁現高 0.30 m。　形状等　方形を呈する。　重複　H－７、T－２、D－48 と重複し、新旧関係は本遺構→H－７である。竪穴状遺構や土坑との新旧関係は不明。　出土遺物　覆土中から土師器坏や甕の破片が出土したが、細片のため図示しなかった。　時期　不明。

Ｔ－２号竪穴状遺構（Fig.18）

位置　X 240・241、Y 214・215　主軸方向　N－1°－W　規模　東西軸 4.50 m、南北軸 3.05 m、壁現高 0.12 m。　形状等　長方形を呈する。　重複　H－11、T－１、D－48 と重複し、新旧関係はH－11→本遺構である。竪穴状遺構や土坑との新旧関係は不明。　出土遺物　覆土中から土師器坏や甕の破片がわずかに出土したが、細片のため図示しなかった。　時期　不明。

Ｔ－３号竪穴状遺構（Fig.18）

位置　X 236・237、Y 214・215　主軸方向　N－8°－W　規模　東西軸（2.50）m、南北軸 3.61 m、壁現高 0.13 m。　形状等　隅丸方形を呈する。　重複　H－20・21・23、D－27・51・54 と重複し、新旧関係はH－20・21・23→本遺構→D－51・54 である。竪穴状遺構との新旧関係は不明。　出土遺物　なし。　時期　不明。

Ｔ－４号竪穴状遺構（Fig.18・30、PL. ８）

位置　X 238・239、Y 2214・215　主軸方向　E－5°－N　規模　東西軸（2.75）m、南北軸（2.43）m、壁現高 0.13 m。　形状等　不整長方形を呈する。　重複　H－18 と重複し、新旧関係はH－18→本遺構である。　出土遺物　底面直上から１の須恵器高台坏が出土した。覆土から出土した２は類例に乏しいが、瓦器小椀の可能性が在る。　時期　底面直上の出土遺物から 10 世紀後半と考える。

（３）溝跡

W－１号溝跡（Fig.19・20・30・31、PL. ８・９）

位置　X 232～239、Y 209～215　主軸方向　E－2°－N　規模　長さ（17.44 m）　上幅 2.53 m　下幅 0.52 m　深さ 3.47 m　形状等　東西方向に走向し、東端部は北へ、西端部は南へ屈曲する。断面薬研状を呈する。　重複　H－12・25・26、W－２～４、D－37 と重複し、新旧関係はH－12・25・26→本遺構である。溝跡や土坑との新旧関係は不明。　出土遺物　１の内耳鍋の口縁部は長いが、口唇部は外へ突き出る形態をとらず、秋元 2005 編年のＣ群２類に相当すると考える。２の焙烙は器高が低く、秋元 2005 編年のＦ群に相当すると考える。３の茶臼は上端の全周が打ち欠かれている。　時期　覆土出土の１・２から、15 世紀末～ 16 世紀初頭には埋没が進行していたものと考える。　備考　帰属時期や規模・形状、位置関係から、蒼海城の堀と考える。

W－２号溝跡（Fig.20）

位置　X 239～241、Y 210・211　主軸方向　E－8°－S　規模　長さ（10.62 m）　上幅 0.97 m　下幅 0.32 m　深さ 0.27 m　形状等　東西方向に走向する。断面Ｕ字状を呈する。　重複　H－４、W－１、D－３と重複するが、新旧関係は不明。　出土遺物　覆土中から縄文土器片や打製石斧片、土師器片、須恵器片、灰釉陶器片など雑多な遺物が出土したが、いずれも細片であり、溝跡への流入と考える。　時期　不明。

W－３号溝跡（Fig.20・31、PL. ５・８）

位置　X 238、Y 213 ～ 215　主軸方向　N － 1 °－ E　規模　長さ（8.19 m）　上幅 0.94 m　下幅 0.34 m　深さ 0.21 m　形状等　南北方向に走向する。断面逆台形状を呈する。　重複　H － 18・19・22、W － 1 、D － 28 と重複し、新旧関係は、H － 18・19・22 →本遺構である。W － 1 や土坑との新旧関係は不明。　出土遺物　底面直上から 1 のかわらけが出土した。。　時期　重複関係から中世以降と考える。

W－４号溝跡（Fig.21）

位置　X 239・240、Y 212・213　主軸方向　W － 1 °－ N　規模　長さ（3.32 m）　上幅 0.92 m　下幅 0.27 m　深さ 0.21 m　形状等　東西方向に走向する。断面Ｕ字状を呈する。　重複　W － 1 、D － 17 と重複するが、新旧関係は不明である。　出土遺物　覆土中から土師器や須恵器の破片がわずかに出土しているが、細片であり図示しなかった。　時期　不明。

W－５号溝跡（Fig.21、PL. 6）

位置　X 239・240、Y 217・218　主軸方向　E － 5 °－ S　規模　長さ（2.89 m）　上幅 4.60 m　下幅 3.55 m　深さ 0.63 m　形状等　東西方向に走向する。断面緩い皿状を呈する。　重複　Ｉ － 1 と重複するが、新旧関係は不明である。　出土遺物　覆土中から土師器の破片がごくわずかに出土しているが、細片であり図示しなかった。　時期　不明。　備考　調査区の東へ向かって下る谷部の谷頭自然地形の可能性がある。

W－６号溝跡（Fig.21）

位置　X 240 ～ 243、Y 214　主軸方向　E － 1 °－ S　規模　長さ（8.13 m）　上幅 0.72 m　下幅 0.41 m　深さ 0.27 m　形状等　東西方向に走向する。断面Ｕ字状を呈する。　重複　H － 6 、D － 34・35 と重複し、新旧関係はH － 6 ・D － 34 →本遺構である。　出土遺物　なし。　時期　重複関係から 12 世紀以降と考える。

W－７号溝跡（Fig.21）

位置　X 234、Y 215　主軸方向　N － 5 °－ E　規模　長さ（2.04 m）　上幅 0.64 m　下幅 0.36 m　深さ 0.19 m　形状等　南北方向に走向する。断面Ｕ字状を呈する。　重複　H － 24・25、W － 8 、P － 25 と重複し、新旧関係は不明である。　出土遺物　覆土中から土師器の破片がごくわずかに出土しているが、細片であり図示しなかった。　時期　重複関係から７世紀以降と考える。

W－８号溝跡（Fig.21）

位置　X 233、Y 212　主軸方向　N － 12°－ W　規模　長さ（7.08 m）　上幅 1.03 m　下幅 0.48 m　深さ 0.14 m　形状等　東西方向に断続的に走向する。断面浅いＵ字状を呈する。　重複　H － 23 ～ 25、W － 7 、P － 21 と重複し、新旧関係は本遺構→H － 23 ～ 25、W － 7 である。　出土遺物　なし。　時期　重複関係から、６世紀以前と考える。

W－９号溝跡（Fig.21・31、PL. 9）

位置　X 234、Y 213　主軸方向　N － 50°－ E　規模　長さ（3.10 m）　上幅（1.45）m　下幅（1.38）m　深さ 0.28 m　形状等　南西方向に走向する。断面浅い皿字状を呈する。　重複　H － 25・W － 1 と重複し、新旧関係はH － 25 →本遺構→ W － 1 である。　出土遺物　覆土中から 1 の須恵器坏と２の須恵器小皿が出土した。いずれも底径が小さく、酸化焔焼成である。　時期　重複関係と覆土中の出土遺物から、10 世紀後半と考える。

W－ 10 号溝（PL.　1）

位置　X240・241、Y209・210　主軸方向　N － 8 °－W　規模　長さ（7.01 m）　上幅 0.98 m　下幅　0.68 m　形状等　北～西へＬ字状に屈曲する。断面浅いＵ字状を呈する。　重複　H － 2 、D － 1 と重複し、新旧関係はH － 2 →本遺構→D － 1 である。　出土遺物　なし。　時期　重複関係から７世紀を上限とする。　備考　調査時は、遺構番号未番の溝跡として扱われており土層断面の記録に乏しい。北側に隣接する蒼海（99）・国府 33・34 トレンチで掘込地業建物跡が確認されたため、調査区北壁土層断面の写真記録と、各調査地の点平面図から位置関係を再検討したところ、本跡を再確認するに至った。写真判定によるため精度は落ちるが、重複関係

は、中世段階との所見がある国府34トレンチＷ－３によって切られているようである。この時期を本跡の下限とみることができるとすると、隣接地点の掘込地業建物跡との関係は留意する必要がある。また、調査区北壁のＨ－２覆土直上には、不鮮明だが、薄い互層の水平堆積が存在しているようであり、この掘込地業建物跡の南端部が存在していたものと推測できる。

４）井戸、土坑、ピット（Fig.22～26・31、PL. 6・9）

Tab. 2　井戸・土坑・ピット計測表

遺構名	位　置	長軸	短軸	深さ	平面形状
Ｉ－１	X 240 Y 218	1.87	1.59	(2.18)	円形
Ｉ－２	X 241 Y 210	1.74	(0.82)	(2.25)	(円形)
Ｉ－３	X 234 Y 215	0.95	0.84	(1.35)	楕円形
Ｉ－４	X 236・237 Y 215	0.89	0.66	(1.04)	(円形)
Ｉ－５	X 238 Y 213	0.79	0.76	(1.42)	円形
Ｄ－１	X 240 Y 209	2.12	1.14	0.12	楕円形
Ｄ－２	X 239 Y 210	1.43	1.13	0.17	(楕円形)
Ｄ－３	X 239・240 Y 211	2.27	1.16	0.32	長方形
Ｄ－４	X 239・240 Y 211	1.15	0.85	0.27	楕円形
Ｄ－５	X 240 Y 211	0.60	0.51	0.13	円形
Ｄ－６	X 239 Y 212	0.63	0.63	0.21	円形
Ｄ－７	X 240 Y 212	0.86	0.79	0.09	円形
Ｄ－８	X 240 Y 212	0.93	0.76	0.31	楕円形
Ｄ－９	X 241 Y 212	0.85	0.78	0.11	円形
Ｄ－10	X 241 Y 212	0.95	0.71	0.20	楕円形
Ｄ－11	X 241 Y 212	0.98	0.95	0.20	円形
Ｄ－12	X 241 Y 212	0.81	0.74	0.17	円形
Ｄ－13	X 241 Y 212	0.57	0.46	0.10	円形
Ｄ－14	X 241 Y 212	1.11	0.82	0.13	長方形
Ｄ－15	X 241 Y 212	1.44	0.78	0.22	不整円形
Ｄ－16	X 242 Y 213	0.87	0.58	0.30	長方形
Ｄ－17	X 240 Y 212・213	0.87	1.33	0.78	円形
Ｄ－18	X 241 Y 213	(1.21)	0.92	0.15	不整円形
Ｄ－19	X 241 Y 213	0.98	0.79	0.12	不整円形
Ｄ－20	X 239 Y 213	1.31	0.99	0.33	楕円形
Ｄ－21	X 239 Y 215	0.90	0.70	0.53	楕円形
Ｄ－22	X 240 Y 216	1.59	(1.30)	0.56	(円形)
Ｄ－23	X 238 Y 214	0.68	0.54	0.12	円形

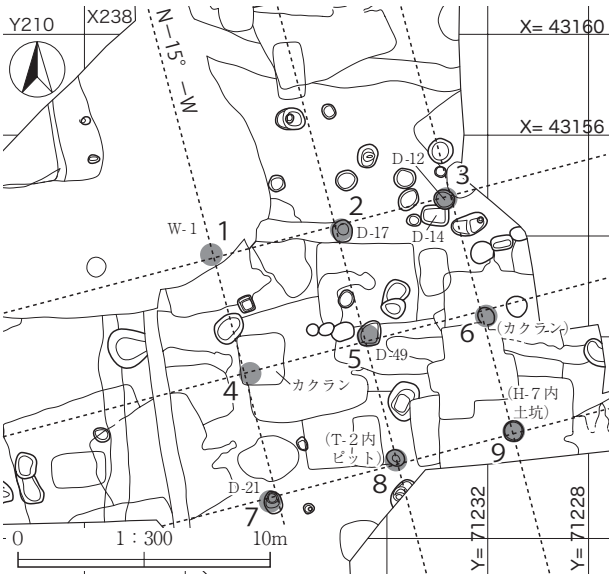
遺構名	位　置	長軸	短軸	深さ	平面形状
Ｄ－24	X 237・238 Y 215	2.13	1.38	0.17	長方形
Ｄ－25	X 237 Y 215	(1.38)	0.91	0.21	(不整円形)
Ｄ－26	X 237 Y 215	1.06	0.85	0.22	不整円形
Ｄ－27	X 237 Y 215	1.12	0.79	0.24	楕円形
Ｄ－28	X 238 Y 214	(1.49)	1.53	0.23	不整円形
Ｄ－29	X 239 Y 219	1.13	1.03	0.21	円形
Ｄ－30	X 240 Y 218	1.13	0.89	0.48	楕円形
Ｄ－31	X 239 Y 212・213	2.07	0.83	0.67	(楕円形)
Ｄ－32	X 240 Y 219	1.03	0.74	0.29	不整円形
Ｄ－33	X 240 Y 219	1.42	0.94	0.39	(楕円形)
Ｄ－34	X 240・241 Y 213・214	4.32	2.04	0.21	(長方形)
Ｄ－35	X 243 Y 214	(1.05)	(0.87)	0.21	不整円形
Ｄ－36	X 239・240 Y 215	2.42	1.79	0.17	不整円形
Ｄ－37	X 237 Y 214	2.03	0.78	0.10	(長方形)
Ｄ－38	X 240 Y 215・216	(1.63)	(1.48)	0.92	(円形)
Ｄ－39	X 240 Y 219	0.74	0.58	0.39	楕円形
Ｄ－40	X 239 Y 224	0.93	0.78	0.48	円形
Ｄ－41	X 240 Y 224	1.60	0.77	0.24	楕円形
Ｄ－42	X 240 Y 223・224	(0.73)	(0.60)	0.44	(楕円形)
Ｄ－43	X 240 Y 224	0.78	(0.63)	0.42	(不整方形)
Ｄ－44	X 240 Y 222	0.72	0.59	0.24	楕円形
Ｄ－45	X 240 Y 222	1.63	(1.45)	0.26	円形
Ｄ－46	X 239・240 Y 219	0.64	0.63	0.28	円形
Ｄ－47	X 239 Y 220	0.65	0.63	0.16	円形
Ｄ－48	X 241 Y 214	1.57	(1.23)	0.17	楕円形
Ｄ－49	X 240 Y 214	1.10	0.93	0.15	不整円形
Ｄ－50	X 240 Y 213	0.71	0.58	0.24	円形
Ｄ－51	X 236・237 Y 215	1.74	1.15	0.32	楕円形

遺構名	位　置	長軸	短軸	深さ	平面形状
Ｄ－52	X 240 Y 209	0.67	0.58	0.24	円形
Ｄ－53	X 241 Y 215	1.30	0.43	0.83	(楕円形)
Ｄ－54	X 236 Y 215	0.79	0.48	0.24	楕円形
Ｐ－１	X 240 Y 211	0.34	0.31	0.24	円形
Ｐ－２	X 241 Y 212	0.24	0.21	0.31	円形
Ｐ－３	X 239 Y 213	0.64	0.58	0.73	方形
Ｐ－４	X 241 Y 212	0.47	0.40	0.21	円形
Ｐ－５	X 240 Y 212	0.22	0.18	0.19	楕円形
Ｐ－６	X 239 Y 220	0.28	0.24	0.19	楕円形
Ｐ－７	X 240 Y 222	0.44	(0.34)	0.25	不整円形
Ｐ－８	X 240 Y 222	0.44	0.41	0.36	方形
Ｐ－９	X 239 Y 222	0.53	0.47	0.33	楕円形
Ｐ－10	X 239 Y 222	0.48	0.47	0.18	方形
Ｐ－11	X 239 Y 221	0.69	0.58	0.08	楕円形
Ｐ－12	X 239 Y 221	0.46	0.36	0.39	不整円形
Ｐ－13	X 239 Y 220	0.35	0.28	0.18	楕円形
Ｐ－14	X 239 Y 220	0.44	0.43	0.36	円形
Ｐ－15	X 239 Y 220	0.41	0.40	0.29	円形
Ｐ－16	X 239 Y 219	0.40	0.38	0.29	円形
Ｐ－17	X 239 Y 220	0.41	0.29	0.41	方形
Ｐ－18	X 240 Y 215	0.56	0.39	0.24	不整円形
Ｐ－19	X 239 Y 217	0.44	0.39	0.22	楕円形
Ｐ－20	X 240 Y 215	0.39	0.38	0.34	円形
Ｐ－21	X 234 Y 215	0.42	0.40	0.14	円形
Ｐ－22	X 234 Y 214	0.39	0.31	0.53	楕円形
Ｐ－23	X 234 Y 214	(0.31)	0.28	0.28	(楕円形)
Ｐ－24	X 234 Y 214	0.34	0.27	0.20	楕円形
Ｐ－25	X 234 Y 215	0.18	0.16	0.29	方形

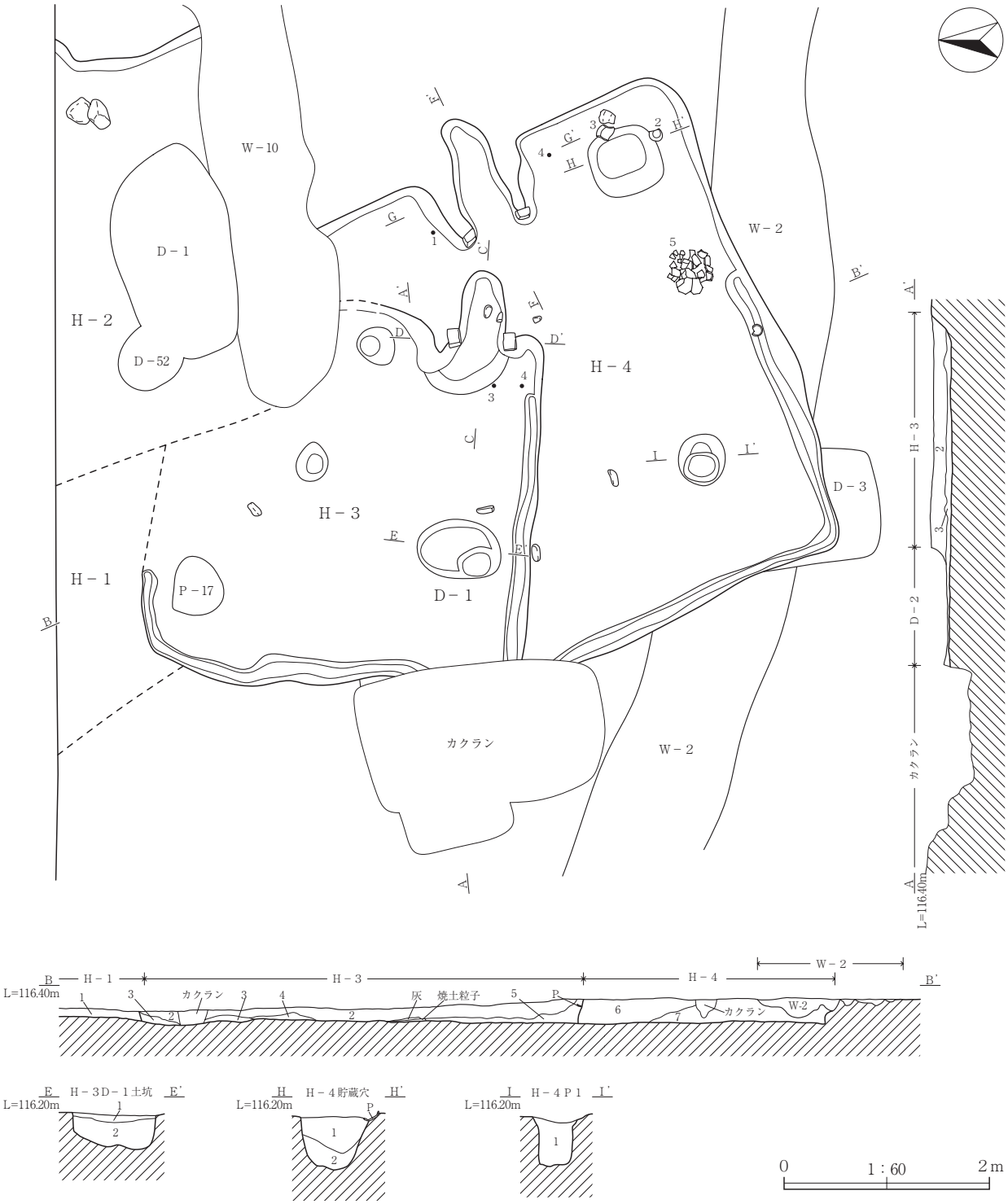
追記：掘立柱建物跡について　隣接地点の元総社蒼海遺跡群（95）（99）や国府28トレンチでは、近年発掘調査が行われ、奈良・平安時代の掘込地業をもつ建物や掘立柱建物跡が確認された。これらの建物群は正方位に対して、10～20°の傾きをもつと指摘されている。そのため、本遺跡で確認されたピットについても留意する必要があるため、配置の検討を行った。指摘される軸方位の配置を点検すると、図示したピット群にその可能性があるが、柱間の間隔は掘立柱建物跡と考えるには広く、底面標高にもややばらつきがあるため、積極的な評価は保留したい。

番号	備　考	底面標高（m）
1	Ｗ－１の重複により消失か	－
2	Ｄ－17	115.98
3	Ｄ－12	115.86
4	撹乱の重複により消失か	－
5	Ｄ－49	115.88
6	調査時は撹乱との所見	－
7	Ｄ－21	115.61
8	Ｔ－２内のピット	115.86
9	Ｈ－７内の土坑	115.58

【附図：掘立柱建物跡の検討】



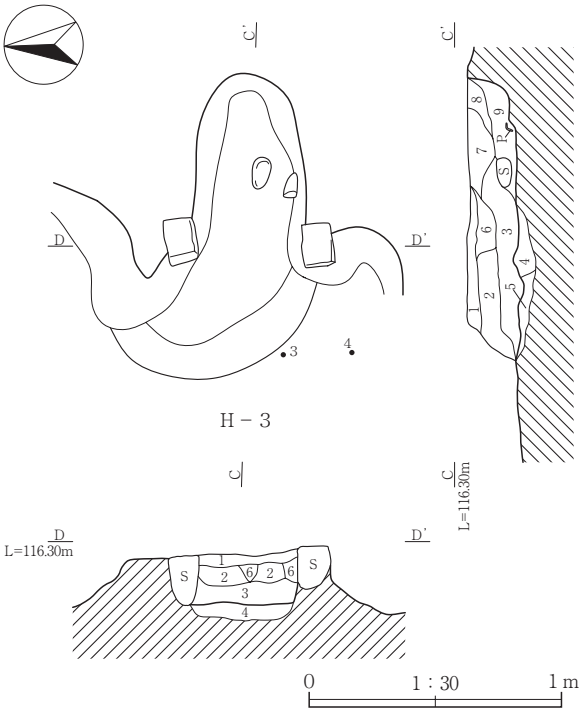
H－1～4



H－1・3・4号住居跡
1　橙色土（7.5YR7/6）粒子やや粗い。しまりあり。粘性やや弱い。Hr-FP・炭化物粒子微量。地山の砂質ブロック多量。ロームブロック微量。（H－1）
2　にぶい黄褐色土（10YR5/3）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP 微量。炭化物粒子少量。地山の砂質ブロック少量。（H－3）
3　明黄褐色土（10YR7/6）粒子やや細かい。しまりあり。粘性やや弱い。Hr-FP・炭化物粒子・ローム粒子微量。地山砂質ブロック多量。（H－3）
4　灰黄褐色土（10YR5/2）粒子・しまり通常。粘性やや弱い。Hr-FP・炭化物粒子・地山砂質ブロック・ローム粒子微量。（H－3）
5　暗褐色土（10YR3/3）粒子・しまり通常。粘性やや弱い。Hr-FP・炭化物粒子・焼土粒子・ローム粒子微量。地山砂質ブロック少量。（H－3）
6　灰黄褐色土（10YR6/2）粒子やや粗い。しまりあり。粘性やや弱い。Hr-FP・炭化物粒子微量。砂質ブロック中量。ローム粒子少量。（H－4）
7　にぶい黄橙色土（10YR6/4）粒子やや細かい。しまりあり。粘性あり。Hr-FP・炭化物粒子微量。砂質ブロック・ロームブロック少量。（H－4）
H－3号住居跡D－1土坑
1　灰黄褐色土（10YR6/2）粒子やや粗い。しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物・焼土粒子・粘土ブロック微量、砂質ブロック多量。灰微量。
2　灰黄褐色土（10YR5/2）粒子やや粗い。しまり・粘性通常。Hr-FP・粘土ブロック微量、炭化物少量。砂質ブロック中量。
H－4号住居跡P1
1　褐灰色土（10YR5/1）粒子やや粗い。しまりあり。粘性やや弱い。Hr-FP・炭化物微量。粘土ブロック少量。砂質ブロック中量。
H－4号住居跡貯蔵穴
1　黒褐色土（10YR3/2）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物・焼土粒子・砂質ブロック微量。小礫少量。
2　にぶい黄褐色土（10YR5/3）粒子やや粗い。しまりあり。粘性やや弱い。Hr-FP・炭化物微量。砂質ブロック中量。

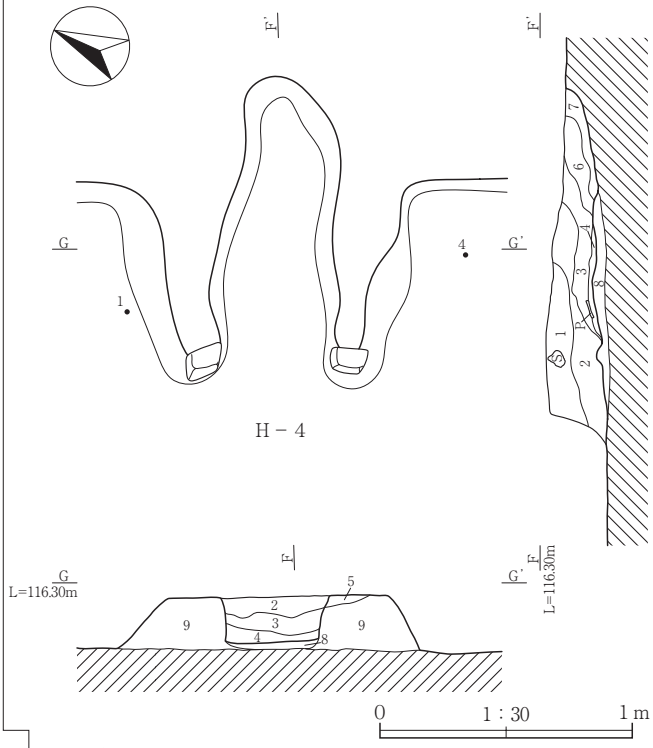
Fig.6　H－1～4号住居跡

H－3カマド



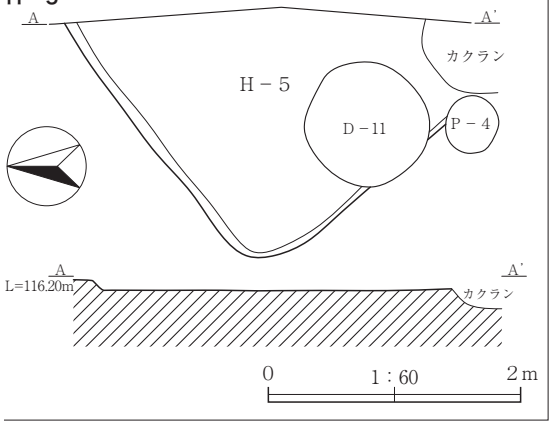
H－3号住居跡カマド
1　にぶい黄褐色土（10YR5/4）天井崩落部分。砂質ブロック主体。粒子やや粗い。しまりあり。粘性弱い。炭化物粒子・Hr-FP・粘土ブロック・ロームブロック微量。
2　にぶい黄褐色土（10YR5/3）天井崩落部分。1層と違い砂質ブロック少量。粒子・しまり通常粘性やや弱い。炭化物・焼土粒子・Hr-FP・粘土ブロック・ロームブロック微量。
3　灰黄褐色土（10YR4/2）燃焼部への流入土。粒子・しまり・粘性通常。炭化物少量。焼土粒子・灰・Hr-FP・粘土ブロック・ロームブロック微量。地山の砂質ブロックは殆ど含まない。
4　にぶい黄色土（2.5Y6/4）燃焼部の掘方。砂質ブロックと黒色土の混成。粒子・しまり通常。粘性弱い。Hr-FP・ロームブロック微量。
5　暗灰黄色土（2.5Y5/2）焚口の掘方。粒子やや細かい。しまりあり。粘性やや弱い。焼土粒子・Hr-FP・ロームブロック微量含む。
6　にぶい赤褐色土（5YR5/3）天井残存部。粒子やや粗い。しまりやや強い。粘性弱い。焼成により変化した礫少量。焼土多量。炭化物粒子・Hr-FP 微量。粘土ブロック少量。
7　灰黄褐色土（10YR4/2）天井崩落部。黒色土主体。粒子・しまり通常。粘性やや弱い。炭化物粒子・Hr-FP・砂質土ブロック微量。焼土粒子中量。粘土ブロック少量。
8　暗褐色土（10YR3/3）煙道流入土。黒色土主体。粒子・しまり通常。粘性やや弱い。炭化物粒子・焼土粒子・Hr-FP 微量。粘土・ローム・地山の砂質粒子含まない。
9　黒褐色土（10YR3/2）煙道流入土。黒色土主体。粒子・しまり・粘性は通常。炭化物粒子と灰を少量。焼土粒子・Hr-FP 微量。粘土・ローム・地山の砂質粒子含まない。

H－4カマド

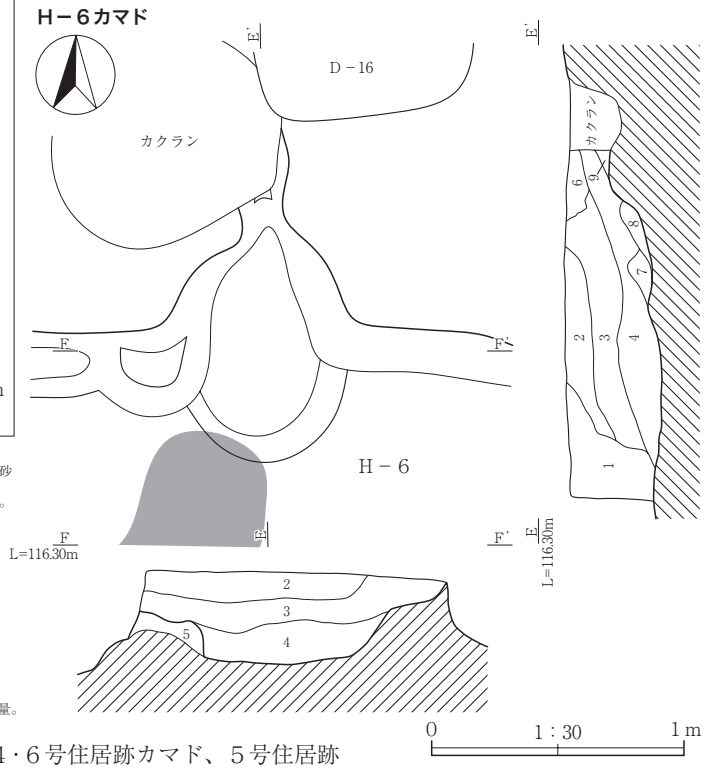


H－4号住居跡カマド
1　灰黄色土（2.5Y7/2）粒子やや粗い。しまりやや強い。粘性やや弱い。焼土微量。Hr-FP・小礫・粘土ブロック少量。地山の砂質ブロック多量。
2　灰黄褐色土（10YR6/2）粘土ブロック主体。粒子通常。しまり強く、粘性は弱い。炭化物・焼土微量、Hr-FP・小礫・砂質ブロック少量。粘土ブロック多量。
3　明褐灰色土（5YR7/2）粒子やや粗い。しまりあり、粘性弱い。炭化物微量。焼土・灰多量。小礫少量。Hr-FP・砂質ブロック・粘土ブロック微量。
4　褐灰色土（10YR6/1）粒子細かい。しまり・粘性弱い。灰多量。炭化物・焼土粒子少量。Hr-FP・砂質ブロック・粘土ブロック微量。
5　褐灰色土（10YR4/1）粒子やや粗い。しまりやや強い。粘性やや弱い。炭化物・Hr-FP・小礫微量、砂質ブロック・粘土ブロック少量。
6　灰白色土(2.5Y8/2)粒子粗い。しまり強い。粘性弱い。粘土ブロック多量と少量の小礫で構成され、炭化物・焼土粒子・Hr-FP 微量。
7　褐灰色土（10YR5/1）粒子やや粗い。しまりあり。粘性弱い。炭化物・焼土粒子・Hr-FP 微量、砂質ブロック少量。粘土ブロック中量。雑然とした土層。
8　明赤褐色土（2.5YR5/6）焼成変化しているが、天井ほどは赤色化していない。粒子通常。しまりやや強い。粘性弱い。焼成変化した粘土ブロック多量。砂質ブロック少量。焼土粒子多量。Hr-FP 微量。
9　灰白色土（2.5Y8/2）粒子やや粗い。しまり強い。粘性弱い。粘土ブロック多量。砂質ブロック・焼土粒子で構成され、Hr-FP 微量。

H－5



H－6カマド

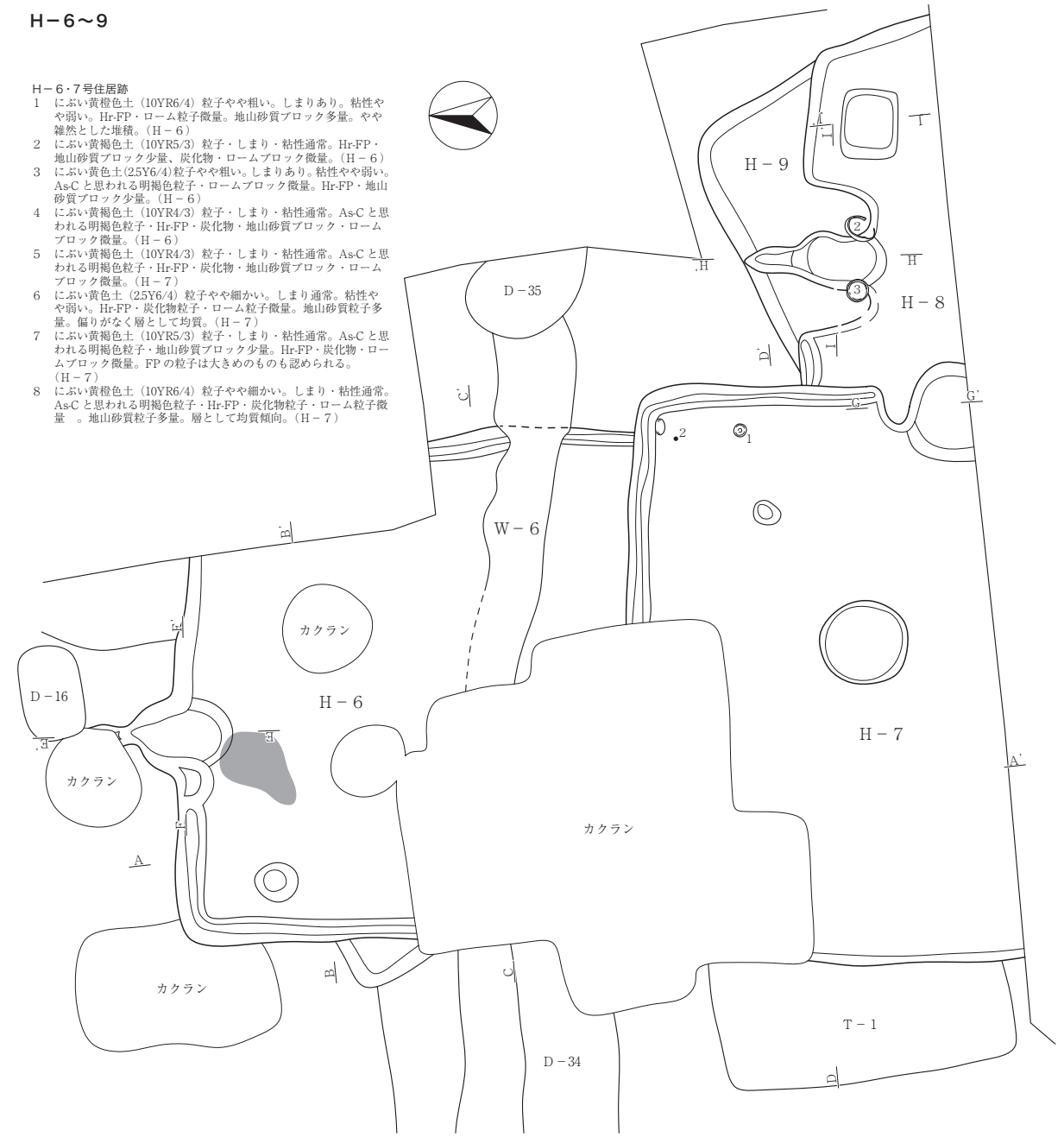


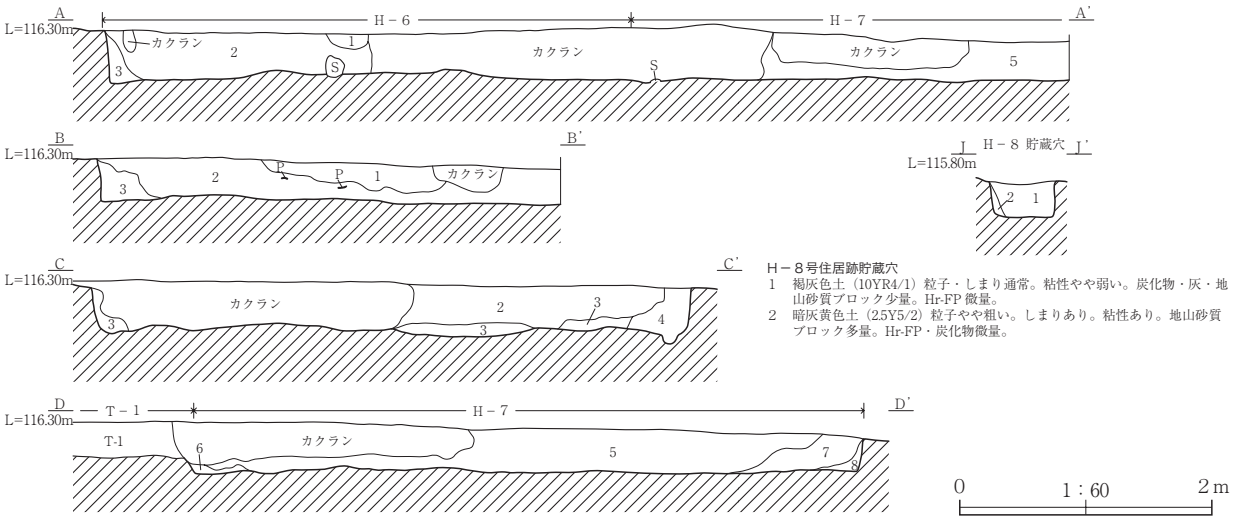
H－6号住居跡カマド
1　黒褐色土（10YR3/2）黒色土主体。粒子やや粗い。しまりあり。粘性やや弱い。地山砂質ブロック中量。炭化物・焼土粒子・Hr-FP 微量。
2　にぶい黄褐色土（10YR5/3）黒色土主体。粒子やや粗い。しまりあり。粘性やや弱い。砂質ブロック少量。炭化物・HR-FP 微量。
3　にぶい黄褐色土（10YR5/4）粒子通常。しまりやや強い。粘性あり。砂質ブロック少量、炭化物・Hr-FP 微量。
4　にぶい黄橙色土（10YR6/4）粒子通常。しまりやや強い。粘性あり。砂質ブロック中量。炭化物・焼土粒子・Hr-FP 微量。
5　褐灰色土（7.5YR4/1）粒子通常。しまりやや強い。粘性あり。砂質ブロック中量。焼土粒子少量。炭化物・Hr-FP 微量。
6　灰黄褐色土（10YR4/2）粒子・しまり・粘性通常。炭化物・Hr-FP 微量。
7　褐灰色土（10YR4/1）粒子やや細かい。しまりあり。粘性やや弱い。灰多量。炭化物少量。焼土粒子・Hr-FP 微量。
8　灰黄褐色土（10YR4/2）粒子・しまり通常。粘性やや弱い。砂質ブロック・炭化物少量。灰・Hr-FP 微量。
9　にぶい黄褐色土（10YR4/3）粒子やや細かい。しまり・粘性通常。炭化物・Hr-FP 微量。

Fig.7　H－3・4・6号住居跡カマド、5号住居跡

H－6～9

H－6・7号住居跡
1　にぶい黄橙色土（10YR6/4）粒子やや粗い。しまりあり。粘性やや弱い。Hr-FP・ローム粒子微量。地山砂質ブロック多量。やや雑然とした堆積。（H－6）
2　にぶい黄褐色土（10YR5/3）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・地山砂質ブロック少量、炭化物・ロームブロック微量。（H－6）
3　にぶい黄色土(2.5Y6/4)粒子やや粗い。しまりあり。粘性やや弱い。As-Cと思われる明褐色粒子・ロームブロック微量。Hr-FP・地山砂質ブロック少量。（H－6）
4　にぶい黄褐色土（10YR4/3）粒子・しまり・粘性通常。As-Cと思われる明褐色粒子・Hr-FP・炭化物・地山砂質ブロック・ロームブロック微量。（H－6）
5　にぶい黄褐色土（10YR4/3）粒子・しまり・粘性通常。As-Cと思われる明褐色粒子・Hr-FP・炭化物・地山砂質ブロック・ロームブロック微量。（H－7）
6　にぶい黄色土（2.5Y6/4）粒子やや細かい。しまり通常。粘性やや弱い。Hr-FP・炭化物粒子・ローム粒子微量。地山砂質粒子多量。偏りがなく層として均質。（H－7）
7　にぶい黄褐色土（10YR5/3）粒子・しまり・粘性通常。As-Cと思われる明褐色粒子・地山砂質ブロック少量。Hr-FP・炭化物・ロームブロック微量。FPの粒子は大きめのものも認められる。（H－7）
8　にぶい黄橙色土（10YR6/4）粒子やや細かい。しまり・粘性通常。As-Cと思われる明褐色粒子・Hr-FP・炭化物粒子・ローム粒子微量　。地山砂質粒子多量。層として均質傾向。（H－7）



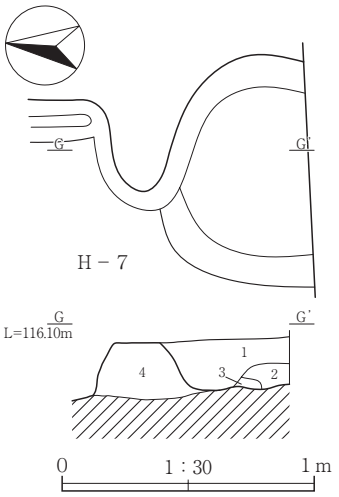


H－8号住居跡貯蔵穴
1　褐灰色土（10YR4/1）粒子・しまり通常。粘性やや弱い。炭化物・灰・地山砂質ブロック少量。Hr-FP微量。
2　暗灰黄色土（2.5Y5/2）粒子やや粗い。しまりあり。粘性あり。地山砂質ブロック多量。Hr-FP・炭化物微量。

0　1：60　2m

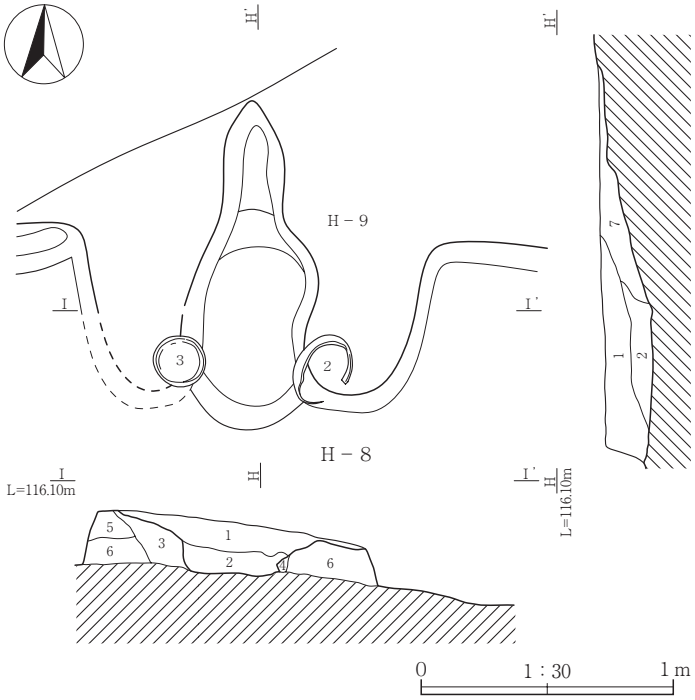
Fig.8　H－6～9号住居跡

H－7カマド



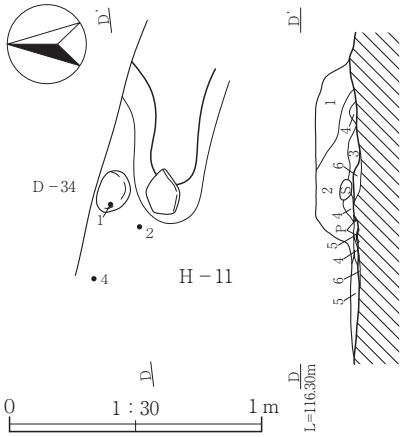
H－7号住居跡カマド
1　黒褐色土（10YR3/2）粒子やや細かい。しまり・粘性通常。炭化物・焼土粒子・Hr-FP・粘土ブロック・砂質ブロック微量。
2　灰赤色土（2.5YR4/2）粘質土主体。粒子やや粗い。しまりやや強い。粘性あり。焼土多量。炭化物・灰・Hr-FP・粘土ブロック・砂質ブロック微量。
3　緑黒色土（5G2/1）粒子細かい。しまり・粘性弱い。灰多量。炭化物・焼土粒子・Hr-FP・砂質ブロック微量。
4　黒褐色土(10YR3/2)黒色土主体。粒子やや粗い。しまり強い。粘性あり。粘土ブロック・砂質ブロック少量。炭化物・焼土粒子・Hr-FP 微量。

H－8 カマド



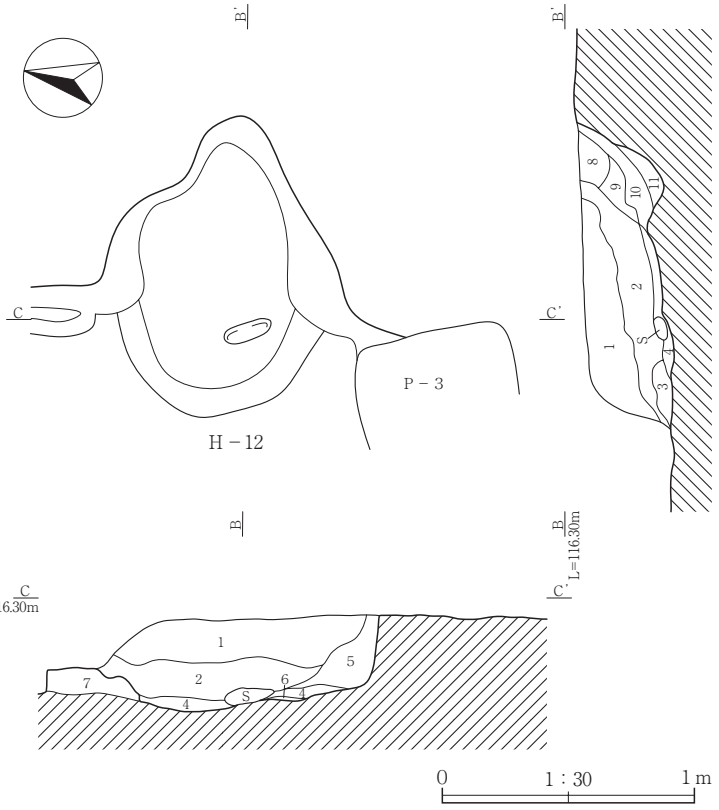
H－8号住居跡カマド
1　黒褐色土（10YR3/2）粒子・しまり・粘性通常。炭化物少量。焼土粒子・Hr-FP・砂質ブロック微量。
2　灰黄褐色土（10YR4/2）粒子・しまり・粘性通常。焼土粒子少量。炭化物・灰・Hr-FP・砂質ブロック微量。
3　灰黄褐色土（10YR5/2）粒子・粘性通常。しまり強い。炭化物・Hr-FP・砂質ブロック微量。
4　橙色土（2.5YR6/8）粒子粗い。しまり強い。粘性弱い。均質に焼土化しており、混入物は認められない。
5　にぶい黄褐色土（10YR5/3）粒子通常。しまりやや強い。粘性やや弱い。炭化物少量。Hr-FP・砂質ブロック微量。
6　灰黄褐色土（10YR4/2）粒子通常。しまりやや強く、粘性やや弱い。炭化物・Hr-FP・砂質ブロック微量。
7　黒褐色土（10YR3/2）粒子･しまり･粘性通常。焼土粒子通常。炭化物･砂　質ブロック少量。灰･Hr-FP 微量。

H－11 カマド



H－11 号住居跡カマド
1　灰黄褐色土（10YR5/2）黒色土主体。粒子・しまり・粘性通常。炭化物・砂質ブロック少量。Hr-FP 微量。
2　灰黄褐色土（10YR4/2）黒色土主体。粒子やや細かい。しまり・粘性通常。砂質ブロック少量。炭化物・焼土粒子・Hr-FP 微量。
3　褐灰色土（10YR6/1）粘土主体。粒子細かい。しまりやや強い。焼成変化によるものか粘性やや弱い。炭化物・焼土粒子・Hr-FP 微量。均質な層。
4　橙色土（2.5YR7/6）粒子通常。しまりやや強い。粘性弱い。焼土多量。炭化物・灰・Hr-FP 微量。
5　褐灰色土（10YR4/1）粒子やや細かい。しまりあり。粘性弱い。灰多量。炭化物多量。焼土ブロック・粘土ブロック少量。Hr-FP 微量。
6　浅黄色土（2.5Y7/4）地山砂質ブロック主体。粒子･しまり･粘性通常。炭化物・Hr-FP 微量。層として均質。

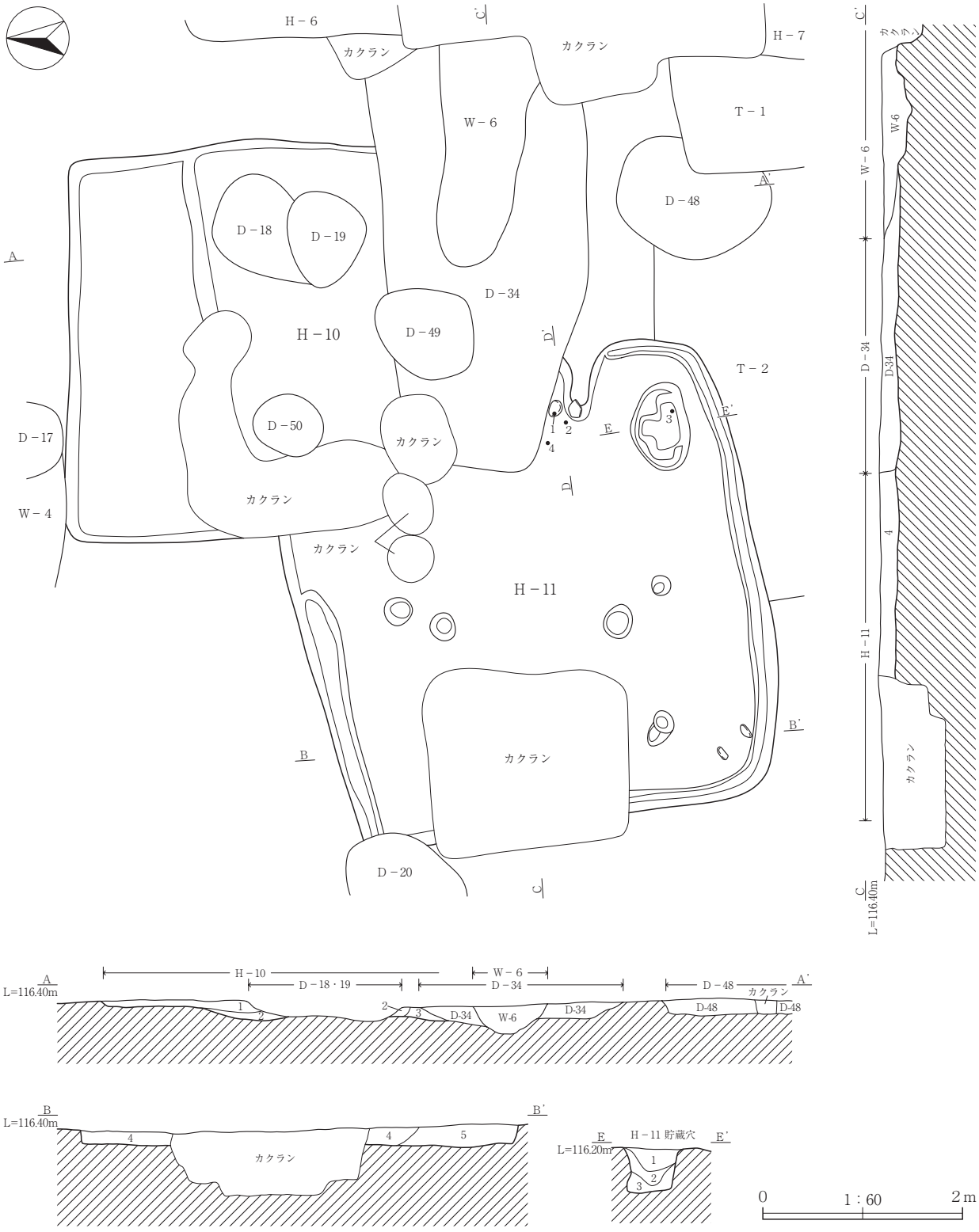
H－12 カマド



H－12 号住居跡カマド
1　にぶい黄橙色土（10YR6/3）黒色土主体。粒子やや粗い。しまりあり。粘性やや弱い。砂質ブロック少量。炭化物・焼土粒子・Hr-FP・粘土ブロック微量。
2　にぶい黄褐色土（10YR5/3）黒色土主体。粒子やや粗い。しまりあり。粘性やや弱い。炭化物・砂質ブロック少量。焼土粒子・Hr-FP・粘土ブロック微量。
3　にぶい黄橙色土（10YR7/4）黒色土・砂質ブロック主体。粒子・しまり・粘性通常。砂質ブロック通常。炭化物・Hr-FP・粘土ブロック微量。
4　にぶい黄褐色土（10YR4/3）黒色土主体。粒子・しまり・粘性通常。焼土粒子通常。炭化物少量。灰・Hr-FP・砂質ブロック微量。
5　にぶい黄橙色土（10YR6/4）黒色土・砂質ブロック主体。粒子・しまり・粘性通常。砂質ブロック通常。炭化物・焼土粒子・Hr-FP・粘土ブロック微量。
6　褐灰色土（10YR5/1）灰主体。粒子やや細かい。しまりあり。炭化物少量。焼土粒子・砂質ブロック微量。
7　にぶい黄橙色土（10YR6/4）地山砂質ブロック・黒色土主体。粒子やや細かい。しまりやや強い。粘性はやや弱い。砂質ブロック通常。炭化物・焼土粒子・Hr-FP 微量。
8　にぶい橙色土（5YR7/3）焼土ブロック主体。粒子粗い。しまりあり。粘性弱い。砂質ブロック少量。Hr-FP 微量。
9　灰褐色土（5YR5/2）黒色土主体。粒子粗い。しまりあり。粘性弱い。焼土粒子・砂質ブロック少量。炭化物・Hr-FP 微量。
10　褐灰色土（5YR5/1）黒色土主体。粒子・しまり・粘性通常。炭化物・焼土粒子・Hr-FP・砂質ブロック微量。
11　褐灰色土（7.5YR4/1）位置的には煙道下だが灰が留まっている。粒子・しまり通常。粘性弱い。灰多量。炭化物通常。Hr-FP・砂質ブロック微量。

Fig.9　H－7・8・11・12号住居跡カマド

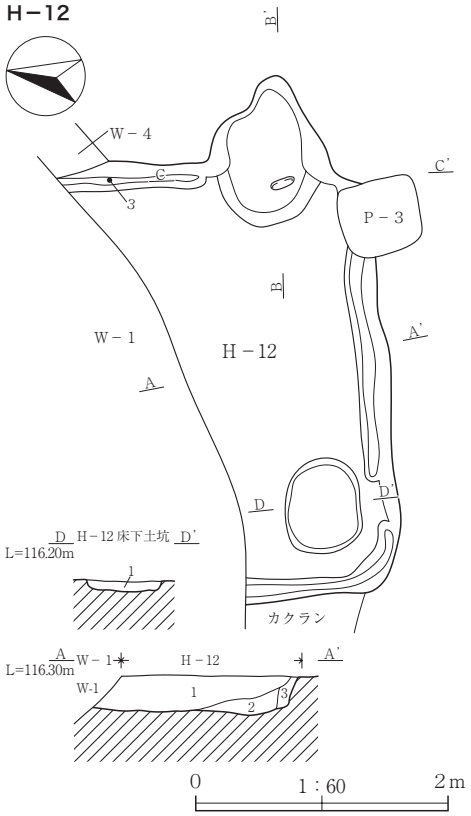
H－10・11



H－10･11 号住居跡
1　にぶい黄褐色土（10YR5/3）粒子やや粗い。しまりあり。粘性やや弱い。地山砂質ブロック少量。Hr-FP・炭化物微量。（H－10）
2　にぶい黄褐色土（10YR4/3）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物・地山砂質ブロック微量。（H－10）
3　にぶい黄色土（2.5Y6/4）粒子やや細かい。しまりあり。粘性やや弱い。砂質ブロック通常。Hr-FP 微量。（H－10）
4　灰黄褐色土（10YR5/2）粒子やや粗い。しまりあり。粘性やや弱い。炭化物・焼土粒子・砂質ブロック少量。Hr-FP 微量。（H－11）
5　にぶい黄橙色土（10YR6/4）粒子・しまり・粘性通常。地山砂質ブロック少量。Hr-FP・炭化物・焼土粒子微量。（H－11）
H－11 号住居跡貯蔵穴
1　灰黄褐色土（10YR6/2）粒子やや細かい。しまり・粘性通常。地山砂質ブロック通常。炭化物少量。Hr-FP・焼土粒子・粘土ブロック微量。
2　灰黄褐色土（10YR4/2）粒子やや粗い。しまり・粘性通常。炭化物通常。砂質ブロック・焼土粒子少量。Hr-FP・粘土ブロック微量。
3　黒褐色土（5YR3/1）粒子・しまり・粘性通常。焼土粒子通常。炭化物少量。Hr-FP・粘土ブロック・砂質ブロック微量。

Fig.10　H－10･11 号住居跡

H－12



H－12 号住居跡

1　にぶい黄褐色土（10YR5/3）粒子やや粗い。しまりあり。粘性弱い。砂質ブロック通常。Hr-FP 少量。炭化物・ローム粒子微量。

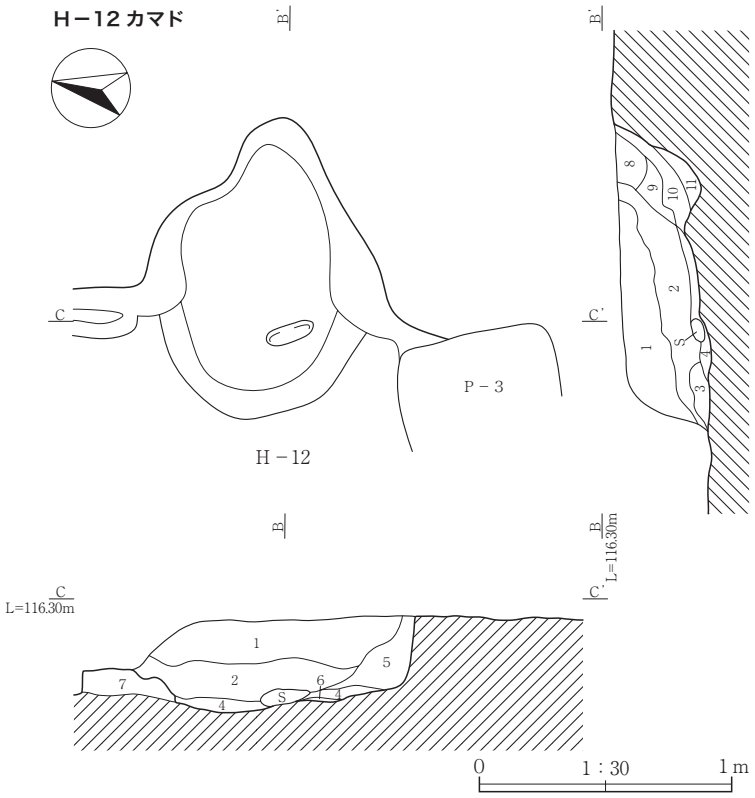
2　褐色土（10YR4/4）粒子・しまり通常。粘性やや弱い。Hr-FP・炭化物・砂質ブロック微量。

3　黄褐色土（10YR5/6）粒子・しまり通常。粘性やや弱い。砂質ロック多量。Hr-FP 微量。やや雑然とした堆積。

H－12 号住居跡床下土坑

1　灰黄褐色土（10YR5/2）粒子やや粗い。しまり・粘性通常。地山砂質ブロック通常。Hr-FP・炭化物微量。雑然とした堆積。

H－12 カマド



H－12 号住居跡カマド

1　にぶい黄橙色土（10YR6/3）黒色土主体。粒子やや粗い。しまりあり。粘性やや弱い。砂質ブロック少量。炭化物・焼土粒子・Hr-FP・粘土ブロック微量。

2　にぶい黄褐色土（10YR5/3）黒色土主体。粒子やや粗い。しまりあり。粘性やや弱い。炭化物・砂質ブロック少量。焼土粒子・Hr-FP・粘土ブロック微量。

3　にぶい黄橙色土（10YR7/4）黒色土・砂質ブロック主体。粒子・しまり・粘性通常。砂質ブロック通常。炭化物・Hr-FP・粘土ブロック微量。

4　にぶい黄褐色土（10YR4/3）黒色土主体。粒子・しまり・粘性通常。焼土粒子通常。炭化物少量。灰・Hr-FP・砂質ブロック微量。

5　にぶい黄橙色土（10YR6/4）黒色土・砂質ブロック主体。粒子・しまり・粘性通常。砂質ブロック通常。炭化物・焼土粒子・Hr-FP・粘土ブロック微量。

6　褐灰色土（10YR5/1）灰主体。粒子やや細かい。しまりあり。粘性弱い。炭化物少量。焼土粒子・砂質ブロック微量。

7　にぶい黄橙色土（10YR6/4）粒子やや細かい。しまりやや強い。粘性やや弱い。地山砂質ブロック・黒色土主体。砂質ブロック通常。炭化物・焼土粒子・Hr-FP 微量。

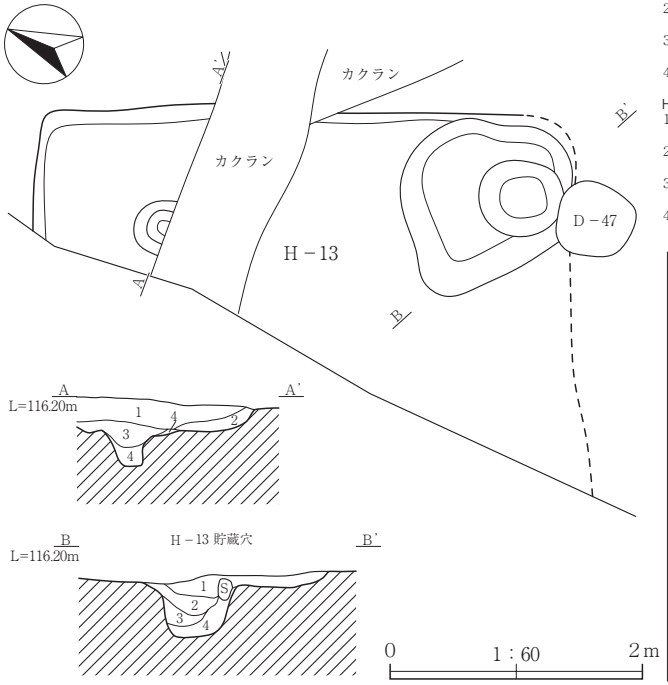
8　にぶい橙色土（5YR7/3）焼土ブロック主体。粒子粗い。しまりあり。粘性弱い。砂質ブロック少量・Hr-FP 微量。

9　灰褐色土（5YR5/2）黒色土主体。粒子粗い。しまりあり。粘性弱い。焼土粒子・砂質ブロック少量。炭化物・Hr-FP 微量。

10　褐灰色土（5YR5/1）黒色土主体。粒子・しまり・粘性通常。炭化物・焼土粒子・Hr-FP・砂質ブロック微量。

11　褐灰色土（7.5YR4/1）位置的には煙道下だが灰が留まっている。粒子・しまり通常。粘性弱い。灰多量。炭化物通常。Hr-FP・砂質ブロック微量。

H－13



H－13 号住居跡

1　にぶい黄褐色土（10YR5/3）粒子・しまり・粘性通常。炭化物・Hr-FP・砂質ブロック微量。

2　灰黄褐色土（10YR4/2）粒子・しまり・粘性通常。炭化物少量。Hr-FP・炭化物・砂質ブロック微量。

3　にぶい橙色土（2.5YR6/4）粒子やや細かい。しまり・粘性通常。砂質ブロック多量。炭化物・Hr-FP 微量。

4　淡赤橙色土(2.5YR7/3)粒子細かい。しまりあり。粘性やや弱い。砂質ブロック多量。炭化物・Hr-FP 微量。

H－13 号住居跡貯蔵穴

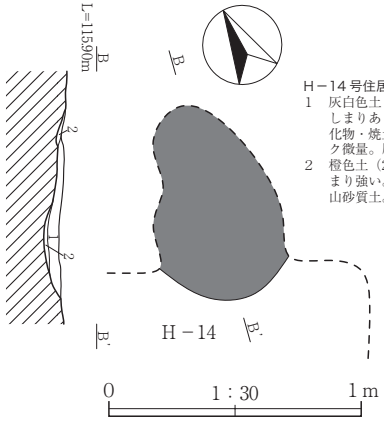
1　灰黄褐色土（10YR4/2）粒子・しまり・粘性通常。炭化物少量。Hr-FP・焼土粒子・小礫・砂質ブロック微量。

2　黒褐色土（10YR3/1）粒子・しまり通常。粘性やや強い。炭化物・砂質ブロック少量。Hr-FP 微量。

3　にぶい橙色土（2.5YR6/4）粒子やや細かい。しまりあり。粘性やや弱い。砂質ブロック多量。炭化物・Hr－FP 微量。

4　灰黄褐色土（10YR5/2）粒子やや細かい。しまり・粘性通常。砂質ブロック少量。炭化物・Hr-FP 微量。

H－14 カマド



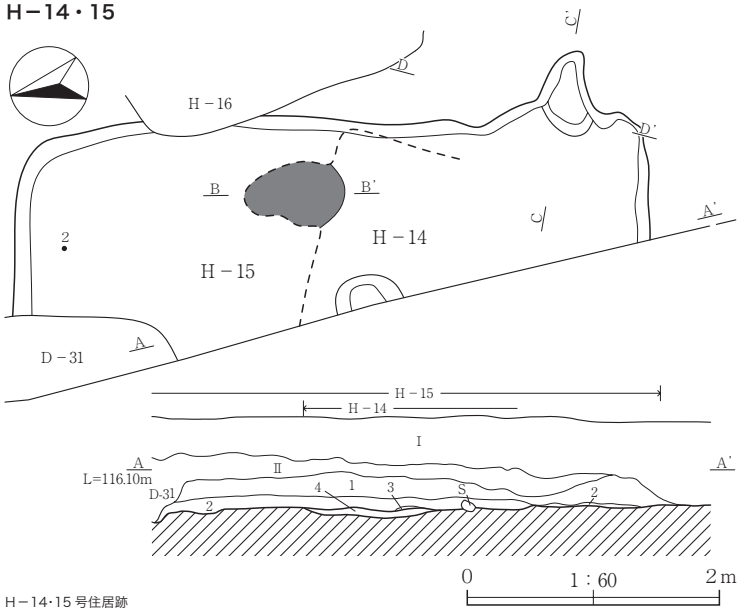
H－14 号住居跡カマド

1　灰白色土（10YR7/1）粒子細かい。しまりあり。粘性弱い。灰多量。炭化物・焼土粒子・Hr-FP・粘土ブロック微量。層として均質。

2　橙色土（2.5YR7/8）粒子細かい。しまり強い。粘性なし。焼土化した地山砂質土。Hr-FP 微量。

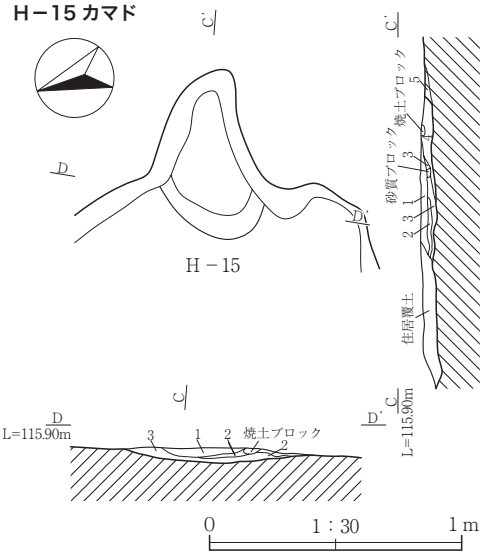
Fig.11　H－12･13 号住居跡、14 号住居跡カマド

H－14・15



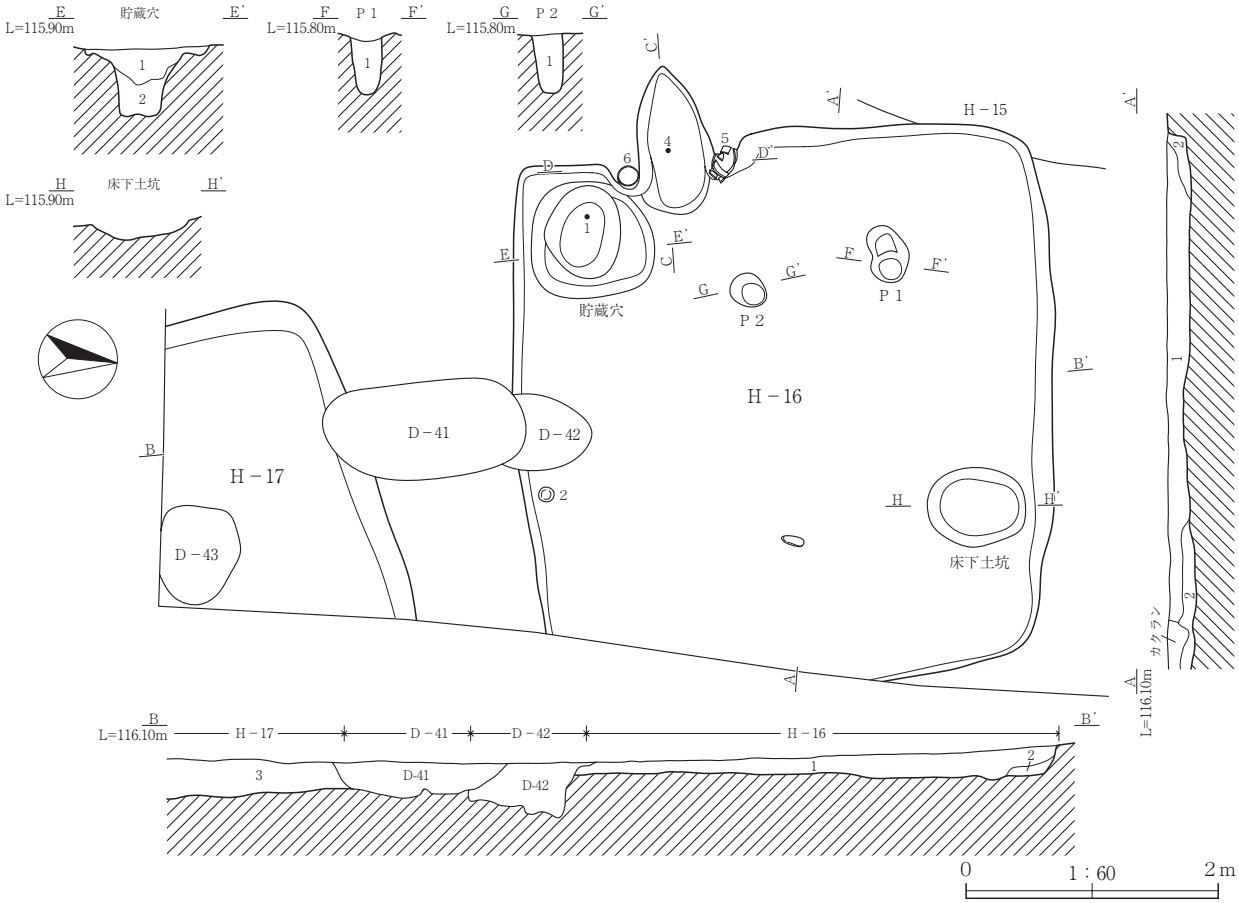
H－14･15 号住居跡
Ⅰ　造成客土
Ⅱ　造成客土
1　にぶい黄褐色土(10YR5/3)粒子通常。しまりやや強い。粘性あり。炭化物･地山砂質ブロック少量､Hr-FP･焼土粒子微量。
2　にぶい黄橙色土（10YR7/3）粒子細かい。しまりやや強い。粘性あり。地山砂質粒子多量。Hr-FP・炭化物微量。
3　灰褐色土（7.5YR5/2）粒子やや細かい。しまりやや強い。粘性あり。炭化物・砂質ブロック・焼土粒子少量。Hr-FP 微量。（H－15）
4　にぶい黄橙色土(10YR7/3)粒子細かい。しまりやや強い。粘性あり。地山砂質粒子多量､Hr-FP･炭化物微量。(H－14)

H－15 カマド



H－15 号住居跡カマド
1　黒褐色土（10YR3/2）粒子・しまり・粘性通常。焼土粒子・Hr-FP 微量。
2　浅黄橙色土（7.5YR8/6）粒子細かい。しまり・粘性通常。焼土多量。粘土ブロックやや多量。炭化物・Hr-FP 微量。
3　にぶい黄橙色土（10YR6/4）粒子・しまり・粘性通常。炭化物・焼土粒子・灰・地山の砂質ブロック少量。Hr-FP 微量。
4　明黄褐色土（10YR6/6）ある程度焼成変化した黄色粘質土。粒子細かい。しまり強い。粘性あり。焼土ブロック・砂質ブロック少量。炭化物・灰・Hr-FP 微量。
5　明黄褐色土（10YR7/6）ある程度焼成変化した黄色粘質土。4 層と同質だが、焼土・砂質ブロック・灰は含まない。炭化物・Hr-FP 微量。

H－16・17



H－16･17 号住居跡
1　にぶい黄褐色土（10YR4/3）粒子・しまり通常。粘性やや弱い。Hr-FP・炭化物・焼土粒子・地山砂質ブロック微量。（H－16）
2　にぶい黄橙色土（10YR7/3）粒子やや粗い。しまり・粘性通常。砂質ブロック多量。Hr-FP・炭化物微量。（H－16）
3　黒褐色土（10YR2/2）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・砂質ブロック少量。炭化物微量。（H－17）

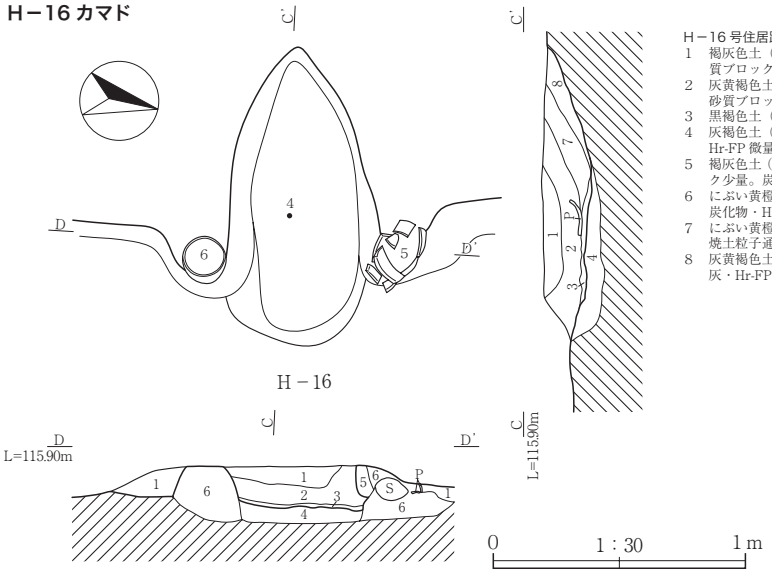
H－16 住居跡貯蔵穴
1　暗褐色土（10YR3/3）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物・焼土粒子・地山砂質ブロック微量。
2　灰黄褐色土(10YR4/2)粒子やや細かい。しまり･粘性通常。Hr-FP･炭化物微量。均質で偏りがない層。

H－16 号住居跡Ｐ－1
1　にぶい黄橙色土（10YR6/3）粒子やや細かい。しまり・粘性通常。地山砂質ブロックやや多量。Hr-FP・炭化物微量。

H－16 号住居跡Ｐ－2
1　にぶい黄橙色土（10YR6/3）粒子やや細かい。しまり・粘性通常。地山砂質ブロックやや多量。Hr-FP・炭化物微量。

Fig.12　H－14 ～ 17 号住居跡

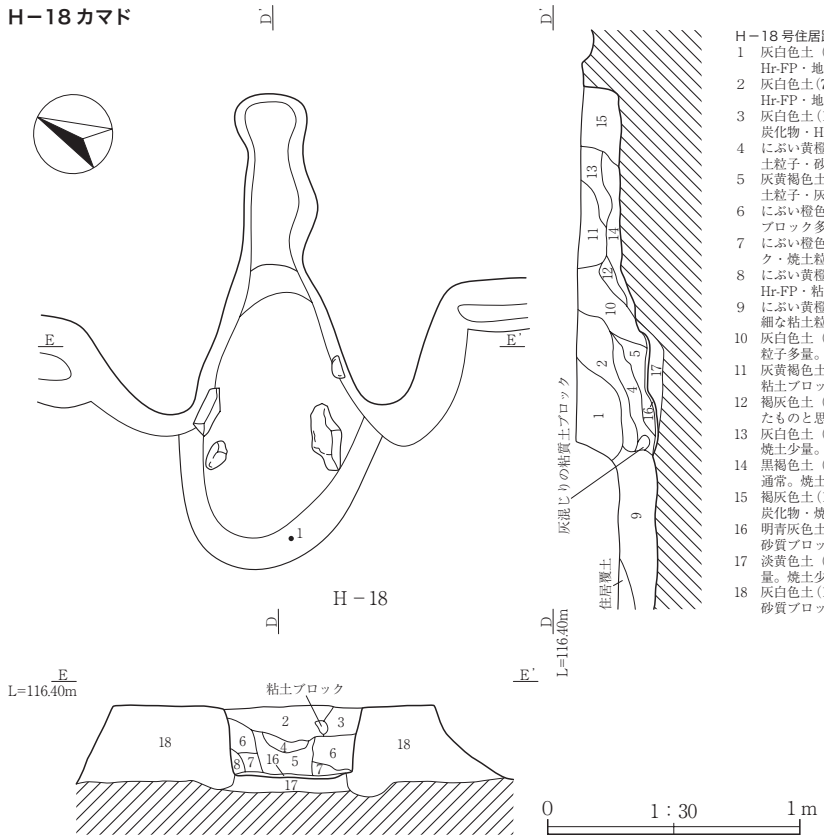
H－16 カマド



H－16 号住居跡カマド

1　褐灰色土（10YR4/1）粒子やや粗い。しまりあり。粘性やや弱い。炭化物・Hr-FP・砂質ブロック微量。
2　灰黄褐色土（10YR4/2）粒子・しまり通常。粘性やや弱い。炭化物・焼土粒子・Hr-FP・砂質ブロック微量。
3　黒褐色土（7.5YR3/1）灰・炭化物多量。焼土粒子少量。Hr-FP 微量。
4　灰褐色土（7.5YR4/2）粒子やや細かい。しまり強い。粘性弱い。焼土粒子少量。炭化物・Hr-FP 微量。
5　褐灰色土（10YR6/1）粒子粗い。しまりやや強い。粘性弱い。砂質粒子多量。粘土ブロック少量。炭化物粒子・Hr-FP 微量。
6　にぶい黄橙色土（10YR7/2）粒子やや粗い。しまりやや強い。粘性やや弱い。砂質粒子多量。炭化物・Hr-FP 微量。
7　にぶい黄橙色土（10YR7/2）粒子通常。しまりやや強い。粘性弱い。粘土ブロック多量。焼土粒子通常。炭化物・砂質ブロック少量。Hr-FP 微量。
8　灰黄褐色土（10YR5/2）粒子・しまり・粘性通常。砂質ブロック少量。炭化物・焼土粒子・灰・Hr-FP・粘土ブロック微量。

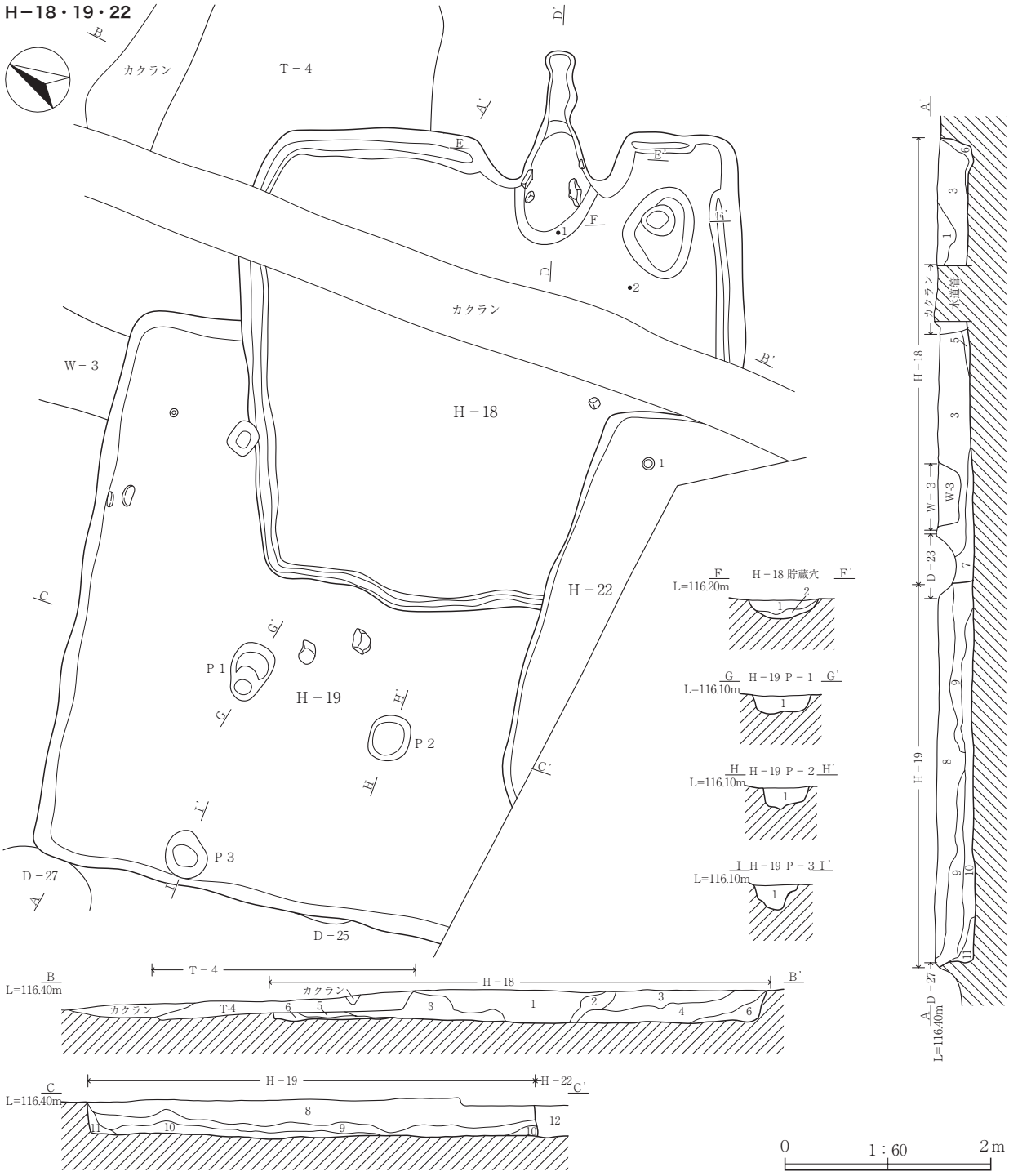
H－18 カマド



H－18 号住居跡カマド

1　灰白色土（2.5Y8/1）粒子やや細かい。しまり・粘性通常。微細な粘土多量。Hr-FP・地山砂質ブロック微量。層として偏りがなく均質。
2　灰白色土（7.5YR8/1）粒子やや粗い。しまりあり。粘性弱い。粘土ブロック多量。Hr-FP・地山砂質ブロック微量。やや雑然とした堆積。
3　灰白色土（10YR8/1）粒子やや粗い。しまりあり。粘性弱い。粘土ブロック多量。炭化物・Hr-FP・砂質ブロック微量。
4　にぶい黄橙色土（10YR7/2）粒子・しまり・粘性通常。粘土ブロック多量。焼土粒子・砂質ブロック少量。炭化物・Hr-FP 微量。
5　灰黄褐色土（10YR5/2）粒子やや細かい。しまり・粘性通常。炭化物少量。焼土粒子・灰・Hr-FP・粘土ブロック・砂質ブロック微量。
6　にぶい橙色土（7.5YR7/3）粒子やや細かい。しまりやや強い。粘性あり。粘土ブロック多量。炭化物・焼土粒子・Hr-FP 微量。
7　にぶい橙色土（5YR6/4）粒子細かい。しまりやや強い。粘性あり。粘土ブロック・焼土粒子多量。炭化物・灰・Hr-FP 微量。
8　にぶい黄橙色土（10YR6/3）粒子細かい。しまり・粘性通常。炭化物・焼土粒子・Hr-FP・粘土ブロック微量。
9　にぶい黄橙色土（10YR7/2）粒子やや細かい。しまりあり。粘性やや弱い。微細な粘土粒子多量。炭化物・焼土粒子・Hr-FP を微量。
10　灰白色土（2.5Y8/1）粒子細かい。しまりやや強い。粘性やや弱い。微細な粘土粒子多量。焼土粒子少量。炭化物・Hr-FP 微量。層として偏りがなく均質。
11　灰黄褐色土（10YR5/2）粒子やや粗い。しまりあり。粘性やや弱い。焼土粒子通常。粘土ブロック少量。炭化物・Hr-FP 微量。やや雑然とした堆積。
12　褐灰色土（10YR6/1）粒子・しまり通常。粘性やや弱い。元々の位置から動いたものと思われる。灰多量。炭化物・焼土粒子少量。Hr-FP・粘土ブロック微量。
13　灰白色土（5YR8/1）粒子細かい。しまりあり。粘性やや弱い、微細粘土多量。焼土少量。炭化物・Hr-FP 微量。
14　黒褐色土（7.5YR3/1）粒子通常。しまりやや弱い。粘性弱い。灰多量。炭化物通常。焼土粒子少量。Hr-FP・粘土ブロック・砂質ブロック微量。
15　褐灰色土（10YR6/1）粒子粗い。しまり強い。粘性弱い。地山砂質ブロック多量。炭化物・焼土・Hr-FP 微量。
16　明青灰色土（5B7/）粒子細かい。しまりあり。粘性弱い。灰多量。炭化物・焼土・砂質ブロック微量。
17　淡黄色土（2.5Y8/3）粒子細かい。しまりあり。粘性弱い。地山砂質ブロック多量。焼土少量。炭化物・Hr-FP 微量。
18　灰白色土（10YR7/1）粒子粗い。しまり強い。粘性やや弱い。粘土ブロック多量。砂質ブロック少量。、炭化物・焼土・Hr-FP 微量。

Fig.13　H－16･18 号住居跡カマド



H－18・19・22 号住居跡

1　灰白色土（10YR7/1）粒子粗い。しまりあり。粘性弱い。カマド天井材多量。炭化物・砂質ブロック少量。焼土粒子・Hr-FP 微量。雑然とした堆積。（H－18）
2　明黄褐色土（10YR7/6）粒子粗い。しまりあり。粘性やや弱い。砂質ブロック多量。Hr-FP・炭化物微量。（H－18）
3　にぶい黄褐色土（10YR5/3）粒子・しまり・粘性通常。地山砂質ブロック少量。Hr-FP・炭化物・焼土粒子微量。（H－18）
4　明黄褐色土（10YR6/6）粒子・しまり・粘性通常。地山砂質ブロック少量。Hr-FP・炭化物・焼土粒子微量。（H－18）
5　にぶい黄橙色土（10YR6/3）粒子やや細かい。しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物・砂質ブロック微量。（H－18）
6　にぶい黄褐色土（10YR4/3）粒子細かい。しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物・砂質ブロック・微量。（H－18）
7　にぶい黄褐色土（10YR5/4）粒子やや粗い。しまりあり。粘性やや弱い。炭化物・砂質ブロック少量。Hr-FP 微量。（H－18）
8　灰黄褐色土（10YR4/2）粒子粗い。しまりあり。粘性弱い。地山砂質ブロック多量。Hr-FP・炭化物少量。焼土粒子微量。（H－19）
9　灰黄褐色土（10YR5/2）粒子・しまり・粘性通常。砂質ブロック少量。Hr-FP・炭化物・焼土粒子微量。（H－19）
10　にぶい黄橙色土（10YR6/3）粒子・しまり・粘性通常。砂質ブロック少量。Hr-FP・炭化物微量。（H－19）
11　明黄褐色土（10YR7/6）粒子・しまり・粘性通常。地山砂質粒子多量。Hr-FP 微量。（H－19）
12　灰褐色土（7.5YR5/2）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物・粘土ブロック・砂質ブロック微量。（H－22）

H－19 号住居跡Ｐ－１

1　灰黄褐色土（10YR5/2）粒子・しまり・粘性通常。砂質ブロック少量。Hr-FP・炭化物微量。

H－19 号住居跡Ｐ－２

1　灰黄褐色土（10YR5/2）粒子・しまり・粘性通常。砂質ブロック・Hr-FP 微量。

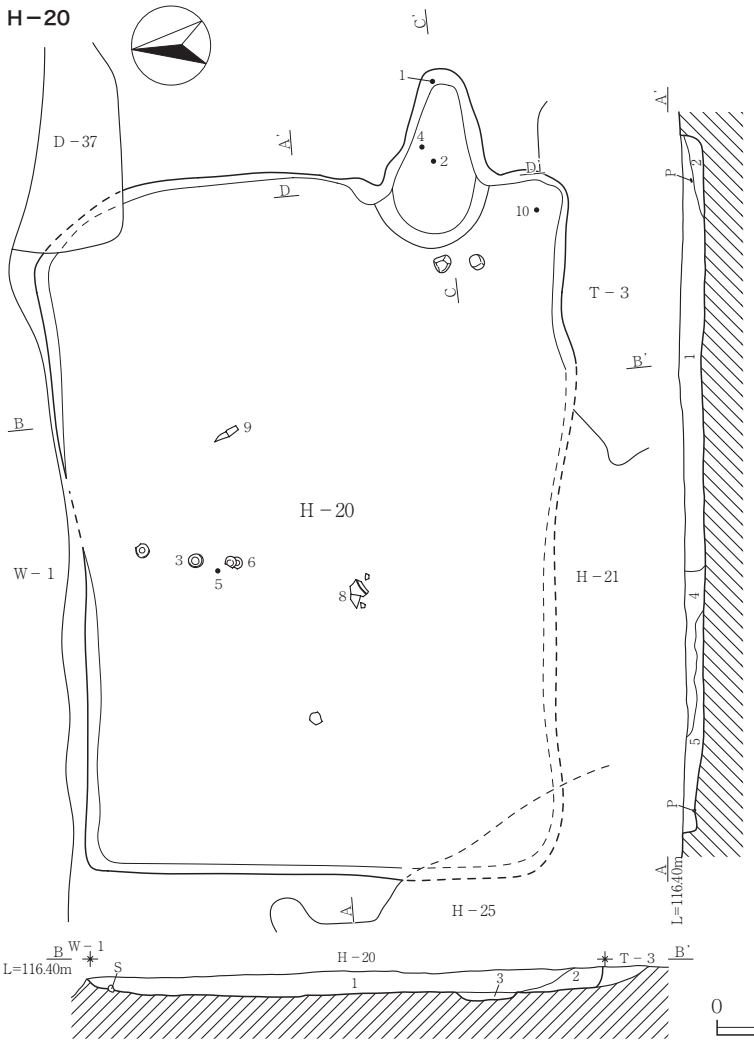
H－19 号住居跡Ｐ－３

1　灰黄褐色土（10YR5/2）粒子・しまり・粘性通常。砂質ブロック少量，Hr-FP 微量。

H－18 号住居跡貯蔵穴

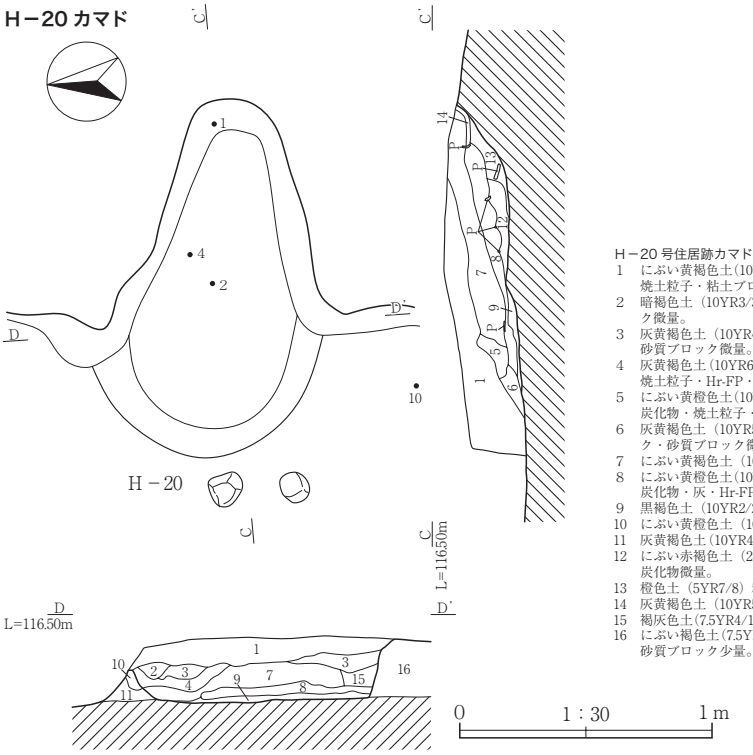
1　にぶい黄橙色土（10YR7/2）粒子やや細かい。しまり・粘性通常。粘土ブロック多量。Hr-FP・炭化物・焼土粒子・小礫・砂質ブロック微量。
2　灰黄褐色土（10YR4/2）粒子やや粗い。しまりあり。粘性やや弱い。炭化物少量。Hr-FP・焼土粒子・粘土ブロック・砂質ブロック微量。

Fig.14　H－18・19・22 号住居跡



H－20 号住居跡

1　灰黄褐色土（10YR5/2）粒子やや粗い。しまりあり。粘性やや弱い。Hr-FP 多量。地山砂質ブロック通常。炭化物少量。
2　にぶい黄褐色土（10YR4/3）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物・焼土粒子微量。
3　灰黄褐色土（10YR6/2）粒子やや細かい。しまりやや強い。粘性やや弱い。砂質ブロック多量。Hr-FP・炭化物微量。
4　にぶい黄褐色土(10YR5/3)粒子やや粗い。しまりあり。粘性やや弱い。砂質ブロック通常。Hr-FP・炭化物少量、焼土粒子微量。
5　黒色土（10YR2/1）粒子通常。しまり・粘性やや弱い。炭化物多量。焼土粒子・砂質ブロック少量。Hr-FP 微量。



H－20 号住居跡カマド

1　にぶい黄褐色土(10YR5/3)粒子やや粗い。しまり・粘性通常。Hr-FP・地山砂質ブロック少量。炭化物・焼土粒子・粘土ブロック微量。
2　暗褐色土（10YR3/3）粒子・しまり・粘性通常。炭化物・焼土粒子・Hr-FP・粘土ブロック・砂質ブロック微量。
3　灰黄褐色土（10YR4/2）粒子・しまり・粘性通常。粘土ブロック少量。炭化物・焼土粒子・Hr-FP・砂質ブロック微量。
4　灰黄褐色土(10YR6/2)粒子やや粗い。しまりやや強い。粘性やや弱い。粘土ブロック多量。炭化物・焼土粒子・Hr-FP・砂質ブロック微量。
5　にぶい黄橙色土(10YR7/3)粒子やや粗い。しまり・粘性通常。粘土ブロック多量。砂質ブロック少量。炭化物・焼土粒子・Hr-FP 微量。
6　灰黄褐色土（10YR5/2）粒子・しまり・粘性通常。炭化物多量。灰少量。焼土粒子・Hr-FP・粘土ブロック・砂質ブロック微量。
7　にぶい黄褐色土（10YR4/3）粒子・しまり・粘性通常。炭化物・焼土粒子・Hr-FP・砂質ブロック微量。
8　にぶい黄橙色土(10YR7/2)粒子細かい。しまりやや強い。粘性弱い。粘土多量。焼土化した粘土通常。炭化物・灰・Hr-FP 微量。
9　黒褐色土（10YR2/2）粒子細かい。しまり・粘性弱い。灰・炭化物多量。焼土粒子微量。
10　にぶい黄橙色土（10YR7/2）粒子・しまり・粘性通常。白色粘土ブロック多量。Hr-FP 微量。
11　灰黄褐色土(10YR4/2)粒子やや細かい。しまり・粘性通常。粘土ブロック少量。炭化物・Hr-FP 微量。
12　にぶい赤褐色土（2.5YR5/4）粒子通常。しまり強い。粘性弱い。焼土化した粘土ブロック。Hr-FP・炭化物微量。
13　橙色土（5YR7/8）粒子通常。しまり強い。粘性弱い。焼土多量。炭化物・Hr-FP 微量。均質な層。
14　灰黄褐色土（10YR5/2）粒子やや細かい。しまり・粘性通常。炭化物・焼土粒子・Hr-FP 微量。
15　褐灰色土(7.5YR4/1)粒子やや細かい。しまり・粘性通常。炭化物・焼土少量。Hr-FP・砂質ブロック微量。
16　にぶい褐色土(7.5YR6/3)粒子通常。しまりやや強い。粘性やや弱い。粘土ブロック多量。焼土粒子・砂質ブロック少量。炭化物・Hr-FP 微量。

Fig.15　H－20 号住居跡

Fig.16　H－21･23～25号住居跡

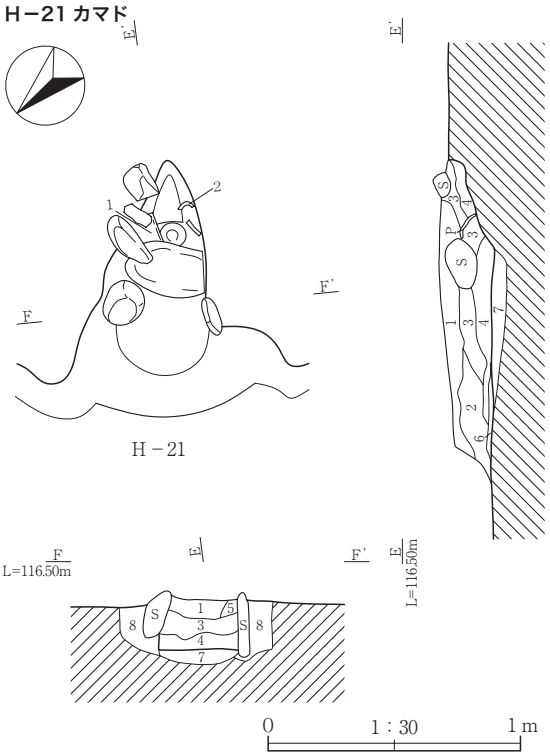
H－21･23･24･25 号住居跡

1　灰黄褐色土（10YR5/2）粒子･しまり･粘性通常。Hr-FP･炭化物･地山砂質ブロック微量。（H－21）
2　にぶい黄橙色土（10YR6/4）粒子粗い。しまりあり。粘性弱い。地山砂質ブロック多量。Hr-FP・炭化物微量。雑然とした堆積。（H－21）
3　灰黄褐色土（10YR4/2）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP 通常。炭化物・焼土粒子・砂質ブロック微量。（H－23）
4　黒褐色土（10YR3/2）粒子やや細かい。しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物・焼土粒子・砂質ブロック微量。（H－23）
5　にぶい黄褐色土（10YR5/3）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・砂質ブロック・小礫少量。炭化物・焼土粒子微量。（H－23）
6　灰白色土（10YR7/1）粒子･しまり通常。粘性やや強い。粘土粒子多量。Hr-FP･炭化物･砂質ブロック微量。（H－23）
7　黒褐色土（10YR3/1）粒子やや細かい。しまりやや強い。粘性弱い。Hr-FP・炭化物・粘土ブロック少量。砂質ブロック微量。（H－23）
8　灰黄褐色土(10YR5/2)粒子細かい。しまりやや強い。粘性あり。Hr-FP･砂質ブロック少量。炭化物・粘土ブロック微量。（H－23）
9　灰黄褐色土（10YR6/2）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物・砂質ブロック微量。（H－23）
10　灰黄褐色土（10YR4/2）粒子･しまり･粘性通常。Hr-FP 通常。炭化物少量。焼土粒子･砂質ブロック微量。（H－24）
11　にぶい黄褐色土（10YR5/3）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物・焼土粒子・砂質ブロック微量。（H－24）
12　灰黄褐色土（10YR5/2）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物・焼土粒子・地山砂質ブロック少量。（H－25）
13　灰黄褐色土（10YR4/2）粒子やや粗い。しまり・粘性通常。炭化物・砂質ブロック少量。Hr-FP・焼土粒子微量。（H－25）
14　明黄褐色土（10YR6/6）粒子やや粗い。しまり・粘性通常。砂質ブロック多量。Hr-FP・炭化物微量。（H－25）
15　にぶい黄橙色土(10YR6/3)粒子･しまり･粘性通常。砂質ブロック通常。Hr-FP･炭化物微量。（H－25）

H－23 号住居跡Ｐ－1

1　にぶい黄橙色土（10YR6/4）粒子細かい。しまりあり。粘性やや弱い。地山砂質ブロック多量。Hr-FP 微量。

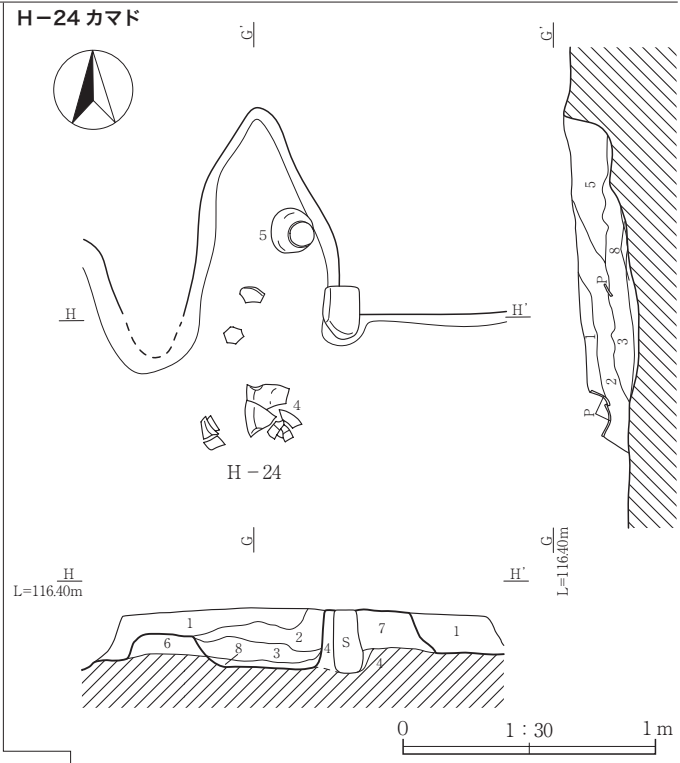
H－21 カマド



H－21 号住居跡カマド

1　灰黄褐色土(10YR4/2)粒子やや粗い。しまりあり。粘性やや弱い。炭化物･Hr-FP･砂質ブロック微量。
2　灰黄褐色土（10YR5/2）粒子・しまり通常。粘性やや弱い。炭化物・Hr-FP・砂質ブロック微量。
3　暗褐色土（10YR3/3）粒子通常。しまりやや強い。粘性あり。炭化物･焼土粒子･Hr-FP･粘土ブロック・地山砂質ブロック微量。
4　黒褐色土（10YR3/2）粒子通常。しまりやや強い。粘性あり。炭化物少量。焼土粒子・Hr-FP・粘土ブロック・砂質ブロック微量。
5　褐灰色土（10YR4/1）粒子・しまり通常。粘性やや弱い。粘土ブロック多量。焼土ブロック・砂質ブロック少量。炭化物・Hr-FP 微量。
6　黒褐色土(10YR2/2)粒子細かい。しまりやや弱い。粘性弱い。灰･炭化物多量。焼土粒子･Hr-FP 微量。
7　明赤褐色土（2.5YR5/6）粒子通常。しまり強い。粘性弱い。焼土ブロック多量。Hr-FP・炭化物・砂質ブロック微量。
8　にぶい黄橙色土（10YR7/2）粒子通常。しまりやや強く。粘性あり。粘土ブロック多量。炭化物・砂質ブロック少量。Hr-FP 微量。

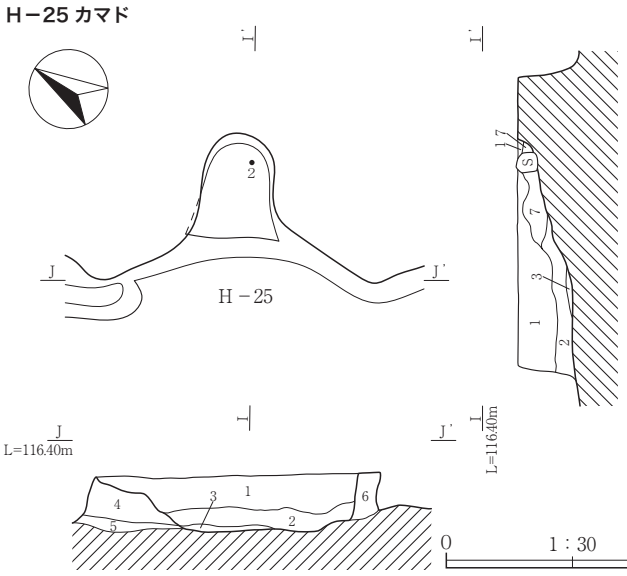
H－24 カマド



H－24 号住居跡カマド

1　にぶい黄褐色土(10YR5/3)粒子やや粗い。しまり･粘性通常。炭化物･Hr-FP･粘土ブロック微量。
2　にぶい黄橙色土（10YR6/3）粒子やや粗い。しまりやや強い。粘性弱い。粘土ブロック多量。砂質ブロック少量。炭化物・焼土粒子・Hr-FP 微量。
3　灰黄褐色土（10YR4/2）粒子やや細かい。しまり・粘性通常。炭化物・焼土粒子・Hr-FP 微量。
4　浅黄色土（2.5Y7/3）砂質ブロック多量。粘土ブロック少量。炭化物・Hr-FP 微量。
5　にぶい橙色土（2.5YR6/4）粒子粗い。しまりあり。粘性弱い。焼土ブロック多量。炭化物・砂質ブロック少量。Hr-FP・粘土ブロック微量。
6　灰白色土（2.5Y8/2）粒子通常。しまりやや強い。粘性やや弱い。粘土ブロック多量。炭化物・焼土粒子・Hr-FP・砂質ブロック微量。
7　灰黄褐色土(10YR5/2)粒子通常。しまりやや強い。粘性あり。粘土ブロック･砂質ブロック少量。炭化物・Hr-FP 微量。
8　灰白色土（10YR7/1）粒子やや細かい。しまりやや弱い。粘性弱い。灰・炭化物多量。焼土粒子少量。Hr-FP・粘土ブロック・砂質ブロック微量。

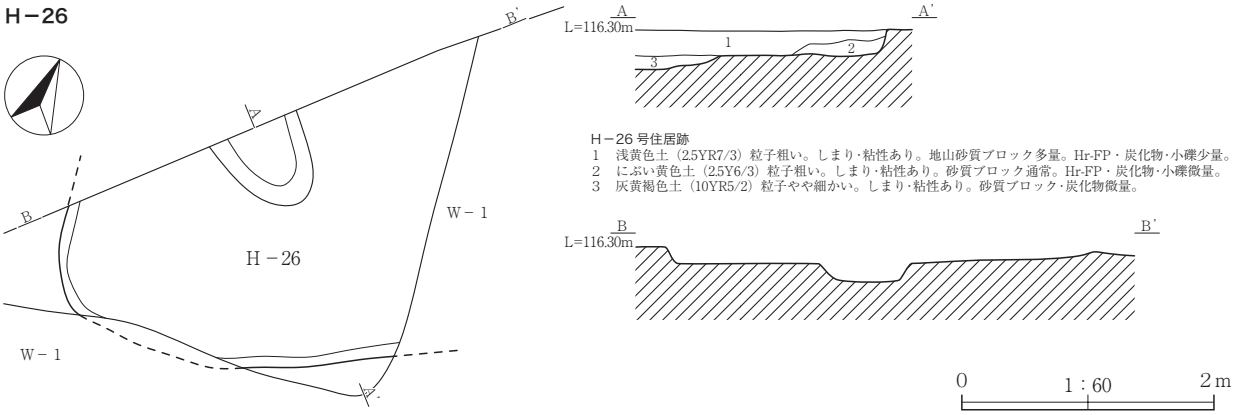
H－25 カマド



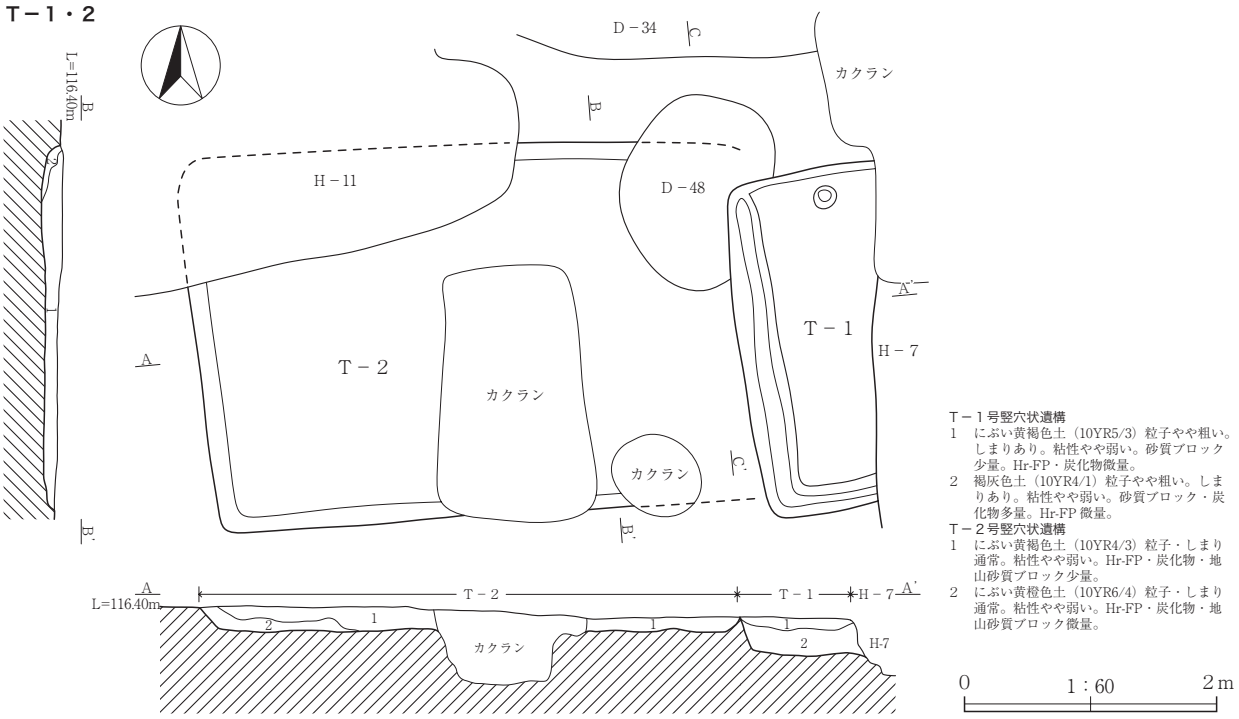
H－25 号住居跡カマド

1　黒褐色土（10YR3/2）粒子やや粗い。しまりあり。粘性やや弱い。炭化物・焼土粒子・Hr-FP・粘土ブロック微量。
2　灰黄褐色土(10YR6/2)粒子･しまり通常。粘性やや弱い。粘土ブロック多量。焼土ブロック少量。炭化物・Hr-FP・砂質ブロック微量。
3　灰白色土（10YR7/1）粒子やや細かい。しまり・粘性通常。灰・焼土粒子多量。炭化物少量。Hr-FP・粘土ブロック・砂質ブロック微量。
4　灰黄褐色土（10YR5/2）粒子やや粗い。しまりあり。粘性やや弱い。粘土ブロック・砂質ブロック少量。炭化物・Hr-FP 微量。
5　にぶい黄橙色土(10YR7/2)粒子やや粗い。しまりあり。粘性やや弱い。粘土ブロック多量。炭化物・Hr-FP 微量。
6　灰黄褐色土（10YR5/2）粒子・しまり・粘性通常。炭化物・Hr-FP・粘土ブロック微量。
7　橙色土(2.5YR6/6)粒子やや粗い。しまりやや強い。粘性やや弱い。焼土粒子･焼土ブロック多量。灰・粘土ブロック・砂質ブロック少量。炭化物・Hr-FP 微量。

Fig.17　H－21･24･25 号住居跡カマド

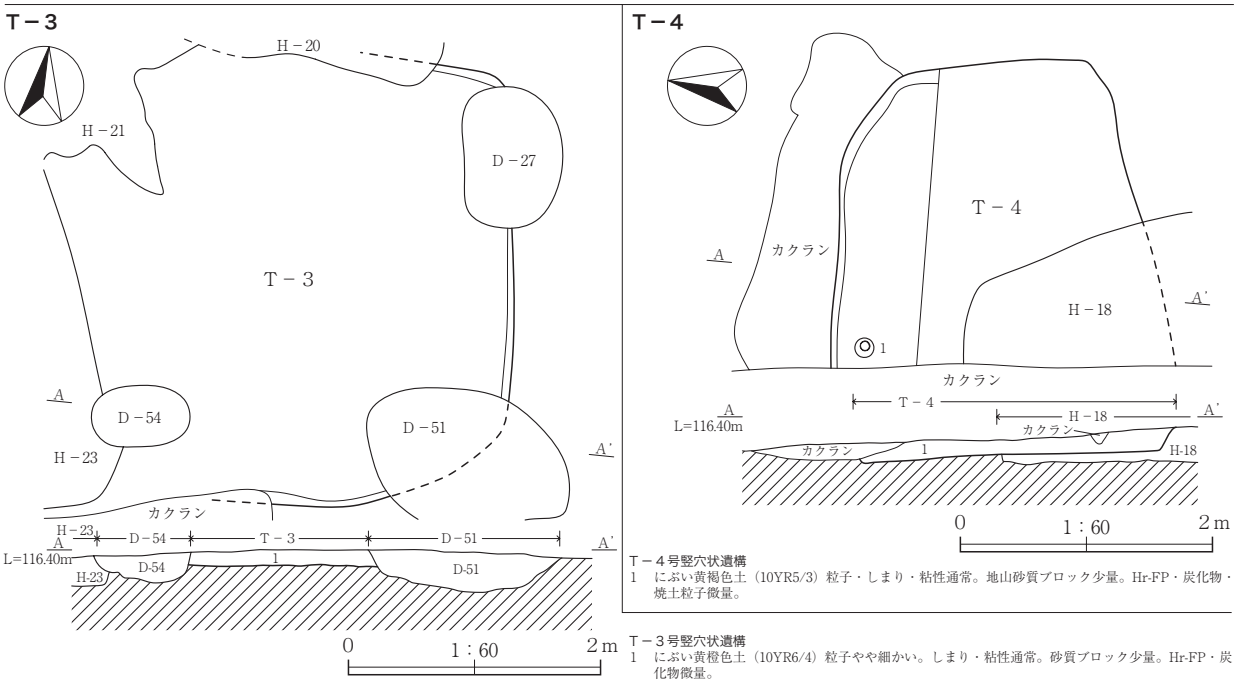


H－26 号住居跡
1　浅黄色土（2.5YR7/3）粒子粗い。しまり・粘性あり。地山砂質ブロック多量。Hr-FP・炭化物・小礫少量。
2　にぶい黄色土（2.5Y6/3）粒子粗い。しまり・粘性あり。砂質ブロック通常。Hr-FP・炭化物・小礫微量。
3　灰黄褐色土（10YR5/2）粒子やや細かい。しまり・粘性あり。砂質ブロック・炭化物微量。



T－1 号竪穴状遺構
1　にぶい黄褐色土（10YR5/3）粒子やや粗い。しまりあり。粘性やや弱い。砂質ブロック少量。Hr-FP・炭化物微量。
2　褐灰色土（10YR4/1）粒子やや粗い。しまりあり。粘性やや弱い。砂質ブロック・炭化物多量。Hr-FP 微量。

T－2 号竪穴状遺構
1　にぶい黄褐色土（10YR4/3）粒子・しまり通常。粘性やや弱い。Hr-FP・炭化物・地山砂質ブロック少量。
2　にぶい黄橙色土（10YR6/4）粒子・しまり通常。粘性やや弱い。Hr-FP・炭化物・地山砂質ブロック微量。



T－4 号竪穴状遺構
1　にぶい黄褐色土（10YR5/3）粒子・しまり・粘性通常。地山砂質ブロック少量。Hr-FP・炭化物・焼土粒子微量。

T－3 号竪穴状遺構
1　にぶい黄橙色土（10YR6/4）粒子やや細かい。しまり・粘性通常。砂質ブロック少量。Hr-FP・炭化物微量。

Fig.18　H－26 号住居跡、T－1～4 号竪穴状遺構

W－１号溝

1 灰黄色土（2.5Y7/2）粒子やや粗い。しまり･粘性あり。Hr-FP・炭化物･砂質ブロック微量。ロームブロック少量。
2 黄灰色土（2.5Y6/1）粒子やや粗い。しまり･粘性あり。Hr-FP・炭化物･砂質ブロック少量。ローム粒子・小礫微量。
3 褐灰色土（10YR5/1）粒子細かい。しまりあり。粘性やや強い、Hr-FP･炭化物、砂質ブロック・粘土ブロック微量含む。
4 灰白色土（N8/）粒子細かい。しまり･粘性やや強い。Hr-FP・炭化物粒子微量。均質な堆積。
5 灰黄色土(2.5Y6/2)粒子やや細かい。しまりあり。粘性やや強い。Hr-FP 少量。炭化物・粘土ブロック・砂質ブロック微量。
6 オリーブ灰色土（10Y6/2）粒子やや細かい。しまりあり。粘性やや強い。Hr-FP・粘土ブロック・砂質ブロック少量。炭化物粒子微量。
7 灰色土（5Y6/1）粒子やや粗い。しまりあり。粘性やや弱い。粘土ブロック多量。Hr-FP・砂質ブロック少量。炭化物粒子微量。
8 灰色土（5Y6/1）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・粘土ブロック・砂質ブロック少量。炭化物粒子微量。
9 オリーブ黒色土（7.5Y3/2）粒子やや細かい。しまりあり。粘性強い。Hr-FP・炭化物・粘土ブロック微量。均質に近い堆積。
10 灰黄色土（2.5Y6/1）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物少量。粘土ブロック・砂質ブロック微量含む。
11 灰黄色土（2.5Y6/2）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物・粘土ブロック・砂質ブロック微量。
12 灰黄色土（2.5Y4/1）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物・砂質ブロック微量。
13 灰白色土（10YR7/1）粒子細かい。しまりあり。粘性やや強い。Hr-FP 少量。炭化物・粘土ブロック･砂質ブロック微量。ほぼ均質。
14 褐灰色土（10YR6/1）粒子細かい。しまりあり。粘性強い。Hr-FP・炭化物・砂質ブロック微量。均質な層。
15 灰白色土（10YR7/1）粒子細かい。しまりあり。粘性通常。粘土ブロック通常。Hr-FP･炭化物･砂質ブロック微量。
16 灰黄褐色土（10YR6/2）粒子・しまり・粘性通常。砂質ブロック少量。Hr-FP・炭化物微量。
17 黄灰色土（2.5Y5/1）粒子粗い。しまりあり。粘性弱い。粘土ブロック多量。砂質ブロック通常。Hr-FP 少量。炭化物微量。雑然とする。
18 灰白色土（10YR7/1）粒子粗い。しまり・粘性あり。粘土ブロック・砂質ブロック通常。Hr-FP 少量。炭化物微量。
19 黄灰色土（2.5Y6/1）粒子・しまり・粘性通常。粘土ブロック通常。Hr-FP 少量。炭化物・砂質ブロック微量。
20 褐灰色土（10YR5/1）粒子粗い。しまりやや弱い。粘性あり。粘土ブロック多量。砂質ブロック通常。Hr-FP 少量。炭化物微量。
21 灰色土（7.5Y4/1）粒子やや細かい。しまりあり。粘性やや強い。Hr-FP・粘土ブロック・砂質ブロック少量。炭化物微量。均質に近い層。
22 浅黄色土（2.5Y7/3）粒子・しまり・粘性通常。砂質ブロック・ロームブロック多量。Hr-FP・炭化物微量。
23 灰白色土(2.5Y8/1) 粒子･しまり･粘性通常。粘土粒子多量。Hr-FP･炭化物･砂質ブロック微量。やや雑然とした層。
24 黄灰色土（2.5Y6/1）粒子・しまり・粘性通常。粘土ブロック・砂質ブロック少量。Hr-FP・炭化物微量。やや雑然とした層。
25 灰オリーブ色土（5Y6/2）粒子・しまり・粘性通常。ロームブロック多量。Hr-FP・炭化物・砂質ブロック微量。
26 灰色土(5Y5/1)粒子細かい。しまりあり。粘性やや強い。Hr-FP･炭化物･粘土ブロック･砂質ブロック微量。均質な層。
27 黄灰色土（2.5Y5/1）粒子やや粗い。しまり・粘性通常。粘土ブロック・砂質ブロック通常。Hr-FP・ロームブロック少量。炭化物微量。雑然とした層。
28 灰白色土（10YR7/1）粒子粗い。しまり・粘性通常。粘土ブロック多量。砂質ブロック通常。Hr-FP 少量。炭化物微量。雑然とした層。
29 黄灰色土（2.5Y5/1）粒子細かい。しまりあり。粘性強い。Hr-FP・炭化物微量。均質な層。
30 灰白色土(2.5Y7/1)粒子やや細かい。しまりあり。粘性やや強い。Hr-FP･炭化物･粘土ブロック･砂質ブロック微量。均質に近い層。
31 褐灰色土（10YR5/1）粒子・しまり・粘性通常。粘土ブロック・砂質ブロック少量。Hr-FP･炭化物微量。
32 灰白色土（7.5Y8/1）粒子細かい。しまりあり。粘性やや強い。粘土ブロック・粘土粒子多量。砂質ブロック少量。炭化物微量。やや雑然とした層。
33 灰黄色土（2.5Y6/2）粒子粗い。しまりあり。粘性やや弱い。炭化物・粘土ブロック・砂質ブロック少量。Hr-FP・ロームブロック微量。やや雑然とした層。
34 黄灰色土(2.5Y6/1)粒子･しまり･粘性通常。砂質ブロック少量。Hr-FP･炭化物･粘土ブロック･ロームブロック微量。
35 灰色土(5Y6/1)粒子やや細かい。しまり･粘性通常。Hr-FP･炭化物･粘土ブロック･砂質ブロック微量。均質に近い層。
36 灰白色土（2.5Y7/1）粒子やや細かい。しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物・粘土ブロック・砂質ブロック・ロームブロック各々微量。ほぼ均質な層。
37 黄灰色土(2.5Y5/1)粒子細かい。しまりあり。粘性やや強い。砂質ブロック少量。Hr-FP･炭化物･粘土ブロック微量。ほぼ均質な層。
38 灰色土（5Y6/1）粒子細かい。しまりやや強い。粘性強い。Hr-FP・炭化物・砂質ブロック微量。均質な層。
39 灰色土（5Y5/1）粒子やや粗い。しまり・粘性通常。砂質ブロック少量。Hr-FP・炭化物・粘土ブロック微量。
40 灰色土（5Y4/1）粒子・しまり・粘性通常。砂質ブロック少量。Hr-FP・炭化物・粘土ブロック微量。
41 灰オリーブ色土（5Y6/2）粒子・しまり・粘性通常。砂質ブロック少量。Hr-FP・炭化物・粘土ブロック微量。
42 灰白色土(5Y7/1)粒子細かい。しまりあり。粘性やや強い。白色粘土粒子多量。Hr-FP･炭化物･砂質ブロック微量。
43 灰色土（5Y5/1）粒子細かい。しまりあり。粘性強い。白色粘土粒子少量。Hr-FP・炭化物微量。層として均質。
44 灰オリーブ色土（5Y6/2）粒子・しまり・粘性通常。砂質ブロック・ロームブロック少量。Hr-FP・炭化物・粘土ブロック微量。
45 灰色土（7.5Y5/1）粒子細かい。しまりあり。粘性強い。Hr-FP・炭化物微量。均質な層。
46 褐灰色土（10YR6/1）粒子細かい。しまりあり。粘性強い。Hr-FP・炭化物微量。均質な層。
47 灰黄色土（2.5Y6/2）粒子細かい。しまりあり。粘性強い。Hr-FP・炭化物微量。均質な層。
48 灰色土（5Y4/1）粒子やや細かい。しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物・粘土ブロック・砂質ブロック微量。
49 灰色土（5Y6/1）粒子・しまり・粘性通常。粘土ブロック・砂質ブロック・ローム粒子少量。Hr-FP・炭化物微量。
50 灰色土（5Y5/1）粒子・しまり・粘性通常。砂質ブロック少量。Hr-FP・炭化物・粘土ブロック微量。
51 灰白色土(2.5Y7/1)粒子細かい。しまりあり。粘性やや強い。白色粘土粒子多量。Hr-FP･炭化物･砂質ブロック微量。
52 黄灰色土（2.5Y6/1）粒子やや粗い。しまり・粘性通常。砂質ブロック通常。ロームブロック少量。Hr-FP・炭化物・粘土ブロック微量。
53 黄色土（2.5Y8/6）粒子細かい。しまりあり・粘性強い。ロームブロック多量。Hr-FP 微量。均質な層。
54 灰黄色土（2.5Y7/2）粒子やや粗い。しまりあり。粘性やや強い。砂質ブロック・ロームブロック多量。Hr-FP・炭化物微量。やや雑然とした層。
55 黄灰色土（2.5Y6/1）粒子やや細かい。しまり・粘性通常。砂質ブロック少量。Hr-FP・炭化物・粘土ブロック・ロームブロック微量。
56 灰白色土(10YR7/1)粒子細かい。しまりあり。粘性やや強い。白色粘土粒子多量。Hr-FP･炭化物･砂質ブロック微量。
57 灰白色土（2.5Y7/1）粒子細かい。しまりあり。粘性強い。粘土ブロック少量。Hr-FP・砂質ブロック微量。
58 灰黄色土(2.5Y7/2)粒子細かい。しまりあり。粘性やや強い。白色粘土粒子多量。Hr-FP･炭化物微量。層として均質。
59 灰白色土(5Y7/1)粒子細かい。しまりあり。粘性やや強い。白色粘土粒子多量。Hr-FP･炭化物微量。層として均質。
60 灰白色土（2.5Y8/1）粒子細かい。しまりあり。粘性やや強い。白色粘土粒子主体。Hr-FP 微量。層として均質。
61 黄灰色土（2.5Y5/1）粒子やや細かい。しまり・粘性通常。白色粘土粒子少量。Hr-FP・炭化物・砂質ブロック微量。
62 暗黄灰色土（2.5Y5/2）粒子やや細かい。しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物・粘土粒子微量。均質な層。

Fig.19　W－１号溝跡①

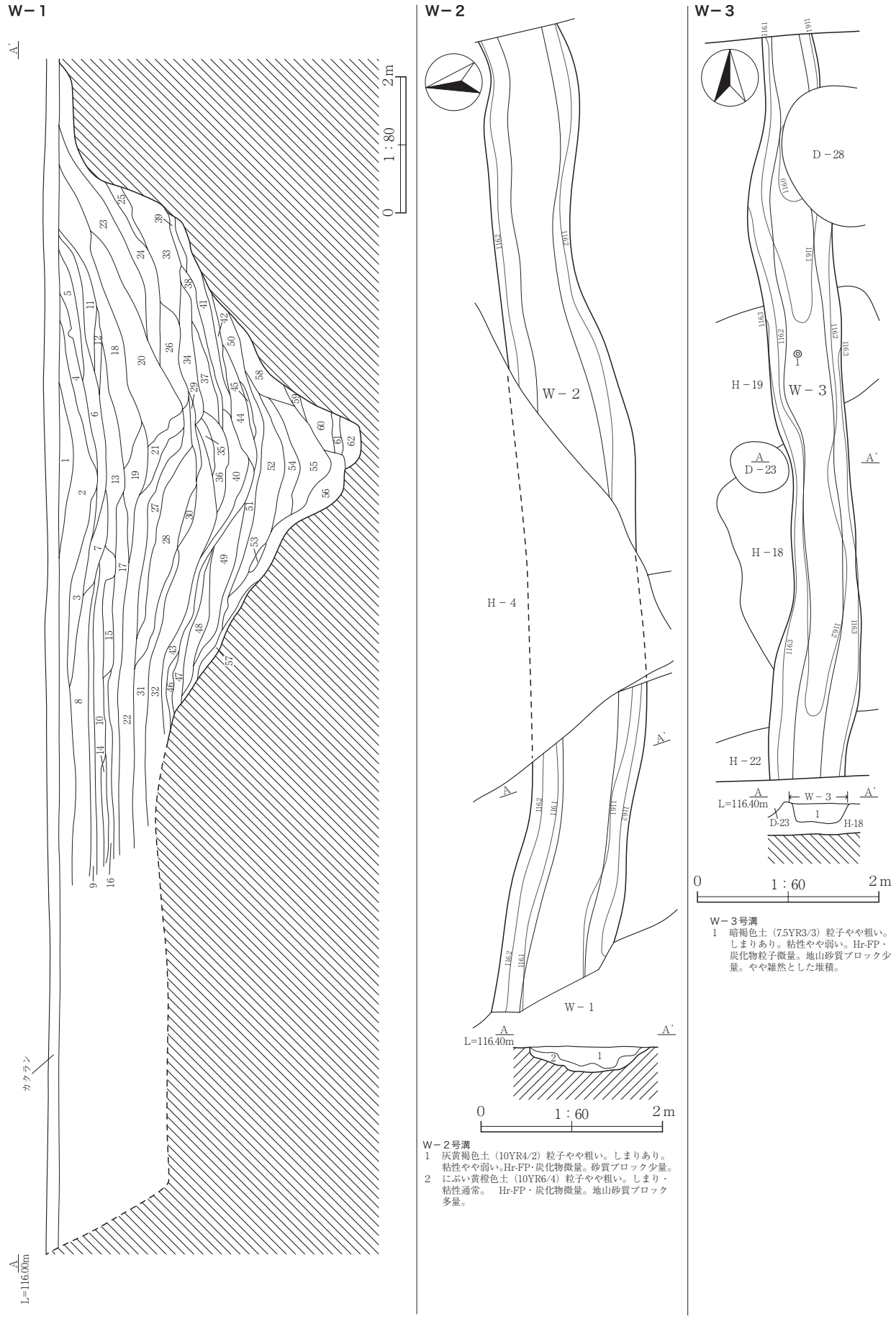
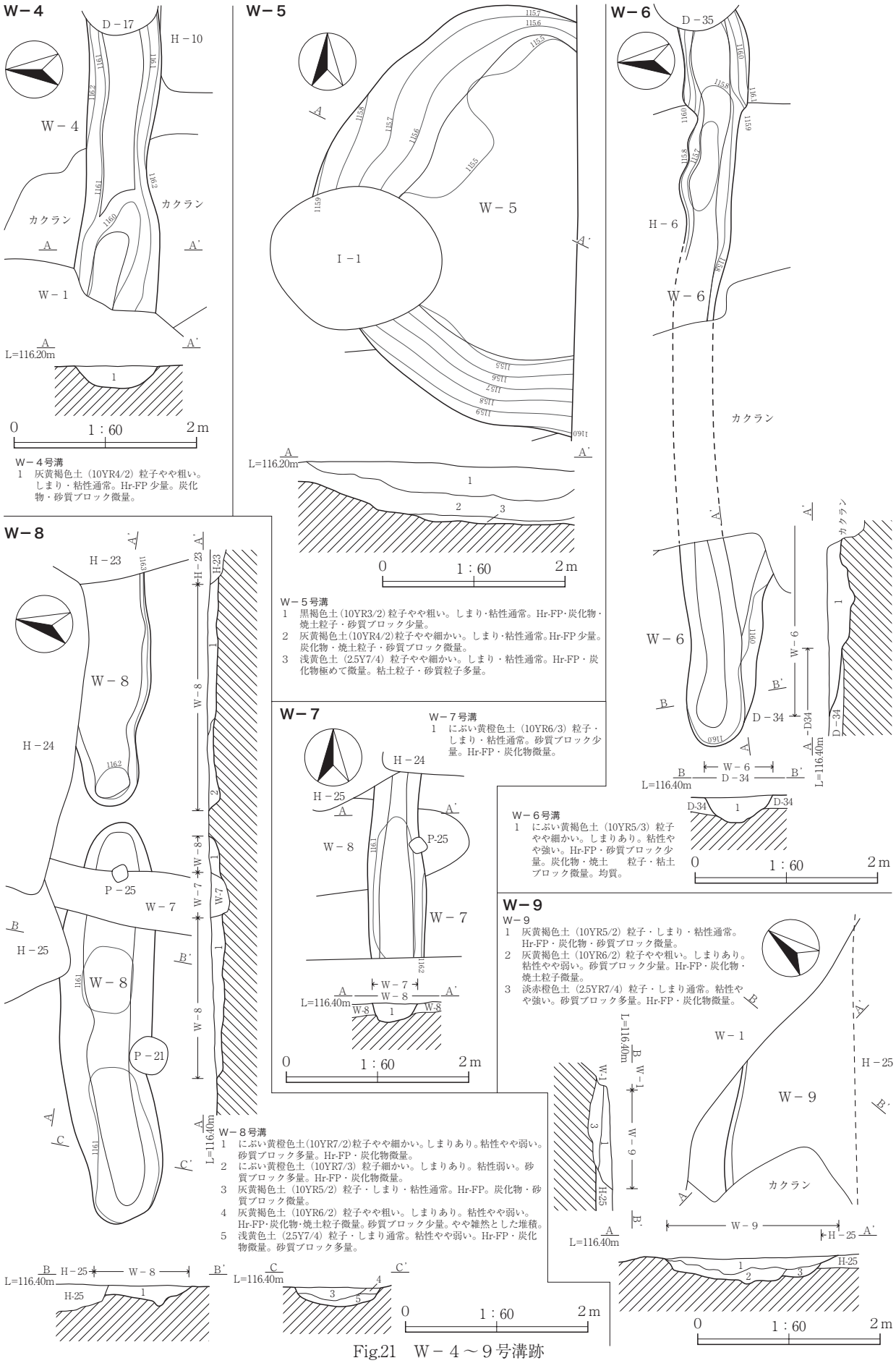


Fig.20　W－１号溝跡②、W－２・３号溝跡



W－4号溝
1　灰黄褐色土（10YR4/2）粒子やや粗い。しまり・粘性通常。Hr-FP 少量。炭化物・砂質ブロック微量。

W－5号溝
1　黒褐色土（10YR3/2）粒子やや粗い。しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物・焼土粒子・砂質ブロック少量。
2　灰黄褐色土（10YR4/2）粒子やや細かい。しまり・粘性通常。Hr-FP 少量。炭化物・焼土粒子・砂質ブロック微量。
3　浅黄色土（2.5Y7/4）粒子やや細かい。しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物極めて微量。粘土粒子・砂質粒子多量。

W－6号溝
1　にぶい黄褐色土（10YR5/3）粒子やや細かい。しまりあり。粘性やや強い。Hr-FP・砂質ブロック少量。炭化物・焼土　粒子・粘土ブロック微量。均質。

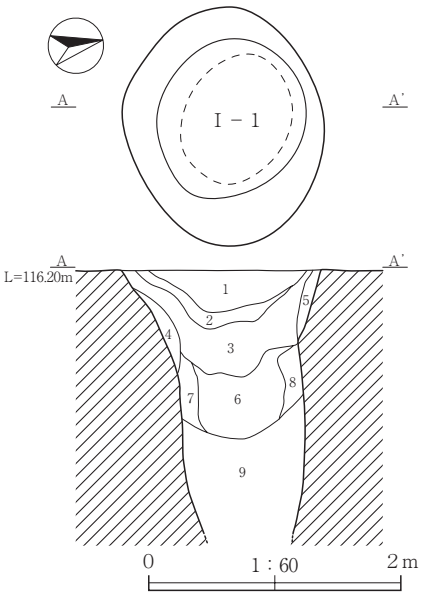
W－7号溝
1　にぶい黄橙色土（10YR6/3）粒子・しまり・粘性通常。砂質ブロック少量。Hr-FP・炭化物微量。

W－8号溝
1　にぶい黄橙色土（10YR7/2）粒子やや細かい。しまりあり。粘性やや弱い。砂質ブロック多量。Hr-FP・炭化物微量。
2　にぶい黄橙色土（10YR7/3）粒子細かい。しまりあり。粘性弱い。砂質ブロック多量。Hr-FP・炭化物微量。
3　灰黄褐色土（10YR5/2）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP。炭化物・砂質ブロック微量。
4　灰黄褐色土（10YR6/2）粒子やや粗い。しまりあり。粘性やや弱い。Hr-FP・炭化物・焼土粒子微量。砂質ブロック少量。やや雑然とした堆積。
5　浅黄色土（2.5Y7/4）粒子・しまり通常。粘性やや弱い。Hr-FP・炭化物微量。砂質ブロック多量。

W－9
1　灰黄褐色土（10YR5/2）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物・砂質ブロック微量。
2　灰黄褐色土（10YR6/2）粒子やや粗い。しまりあり。粘性やや弱い。砂質ブロック少量。Hr-FP・炭化物・焼土粒子微量。
3　淡赤橙色土（2.5YR7/4）粒子・しまり通常。粘性やや強い。砂質ブロック多量。Hr-FP・炭化物微量。

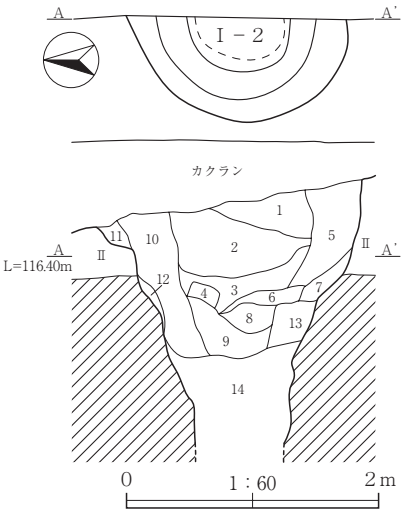
Fig.21　W－4～9号溝跡

Ｉ－１



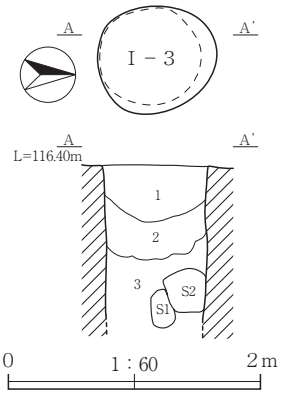
Ｉ－１号井戸
1　灰白色土（2.5Y7/1）粒子・しまり通常。粘性やや強い。地山砂質ブロック少量。Hr-FP・炭化物微量。
2　灰黄色土(2.5Y6/2)粒子細かい。しまりあり。粘性やや強い。Hr-FP・炭化物粒子・砂質ブロック微量。
3　灰白色土(2.5Y7/1)粒子細かい。しまりあり。粘性やや強い。Hr-FP・炭化物粒子・砂質ブロック微量。均質な堆積。
4　褐灰色土（10YR6/1）粒子通常。しまり・粘性やや強い。Hr-FP・炭化物粒子・砂質ブロック微量。
5　灰白色土（2.5Y8/1）粒子やや細かい。しまりあり。粘性やや強い。Hr-FP・地山砂質粒子微量。
6　黄灰色土（2.5Y5/1）粒子やや細かい。しまりあり。粘性やや強い。Hr-FP・炭化物・砂質粒子微量。
7　灰黄褐色土（10YR6/2）粒子・しまり通常。粘性やや強い。Hr-FP・炭化物・砂質粒子微量。
8　黄灰色土（2.5Y4/1）粒子やや細かい。しまりあり。粘性やや強い。Hr-FP・炭化物粒子微量。
9　黄灰色土　(10YR5/1）粒子・しまり通常。粘性やや強い。Hr-FP・炭化物粒子・砂質粒子微量。

Ｉ－２



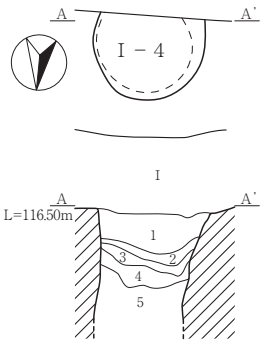
Ｉ－２号井戸
1　灰黄褐色土（10YR5/2）粒子やや粗い。しまり・粘性通常。地山砂質ブロック少量。Hr-FP・炭化物・粘土ブロック微量。
2　灰黄褐色土（10YR6/2）粒子やや細かい。しまりあり。粘性やや強い。粘土ブロック多量。炭化物少量。Hr-FP・砂質ブロック微量。
3　にぶい黄橙色土（10YR7/2）粒子・しまり通常。粘性やや強い。粘土ブロック多量。炭化物・砂質ブロック少量。Hr-FP 微量。
4　灰白色土 (2.5Y8/1) 粒子･しまり･粘性通常。砂質ブロック多量。粘土ブロック少量。Hr-FP・炭化物微量。
5　にぶい黄橙色土（10YR6/3）粒子・しまり・粘性通常。粘土ブロック・砂質ブロック通常。Hr-FP・炭化物微量。
6　灰黄褐色土（10YR6/2）粒子やや粗い。しまり・粘性通常。粘土ブロック・砂質ブロック少量。Hr-FP・炭化物微量。
7　灰黄褐色土（10YR5/2）粒子・しまり・粘性通常。粘土ブロック少量。Hr-FP・炭化物・砂質ブロック微量。
8　にぶい黄橙色土（10YR7/2）粒子・しまり通常。粘性やや強い。粘土ブロック通常。砂質ブロック少量。Hr-FP・炭化物微量。
9　褐灰色土（10YR5/1）粒子やや細かい。しまりあり。粘性やや強い。粘土ブロック通常。Hr-FP・炭化物・砂質ブロック微量。
10　灰黄色土（2.5Y7/2）粒子粗い。しまり・粘性通常。砂質ブロック多量。粘土ブロック少量。Hr-FP・炭化物微量。
11　灰黄褐色土（10YR5/2）粒子・しまり・粘性通常。砂質ブロック少量。Hr-FP・炭化物・粘土ブロック微量。
12　褐灰色土（10YR4/1）粒子やや細かい。しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物・砂質ブロック微量。
13　灰褐色土（10YR6/2）粒子やや粗い。しまり・粘性通常。粘土ブロック・砂質ブロック少量。Hr-FP・炭化物微量。やや雑然とした堆積。
14　褐灰色土（10YR6/1）粒子細かい。しまりあり。粘性強い。粘土ブロック・砂質ブロック少量。Hr-FP・炭化物微量。

Ｉ－３



Ｉ－３号井戸
1　褐灰色土（10YR6/1）粒子やや細かい。しまりあり。粘性やや強い。粘土ブロック多量。Hr-FP・炭化物・砂質ブロック微量。
2　灰黄褐色土（10YR5/2）粒子細かい。しまりあり。粘性やや強い。粘土ブロック多量。Hr-FP・炭化物・砂質ブロック微量。
3　褐灰色土（10YR4/1）粒子細かい。しまりあり。粘性やや強い。粘土ブロック多量。Hr-FP・炭化物・砂質ブロック微量。

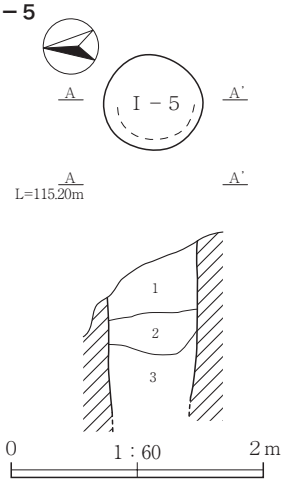
Ｉ－４



Ｉ－４号井戸
1　褐灰色土（10YR4/1）粒子・しまり・粘性通常。粘土ブロック少量。Hr-FP・炭化物・砂質ブロック微量。
2　灰黄褐色土（10YR5/2）粒子やや細かい。しまりあり。粘性やや強い。粘土ブロック多量。Hr-FP・炭化物・砂質ブロック微量。
3　褐灰色土（10YR4/1）粒子･しまり通常。粘性やや強い。粘土ブロック・砂質ブロック少量 Hr-FP・炭化物微量。
4　灰黄褐色土（10YR5/2）粒子やや細かい。しまりあり。粘性やや強い。粘土ブロック多量砂質ブロック少量。Hr-FP・炭化物微量。
5　褐灰色土（10YR4/1）粒子・しまり・粘性通常。粘土ブロック通常。Hr-FP・炭化物・砂質ブロック微量。

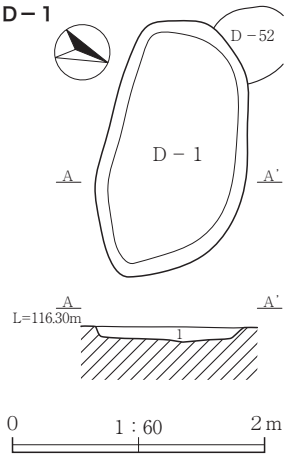
0　1：60　2m

Ｉ－５



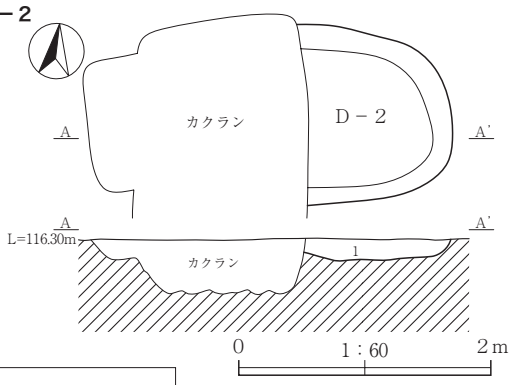
Ｉ－５号井戸
1　にぶい黄色土（2.5Y6/3）粒子やや粗い。しまり・粘性通常。砂質ブロック多量。粘土ブロック少量。Hr-FP・炭化物微量。
2　灰褐色土（10YR6/1）粒子やや細かい。しまりあり。粘性やや強い。粘土ブロック通常。砂質ブロック少量。Hr-FP・炭化物微量。
3　にぶい黄橙色土(10YR7/2)粒子やや細かい。しまりあり。粘性やや強い。粘土ブロック多量。Hr-FP・炭化物・砂質ブロック微量。

Ｄ－１



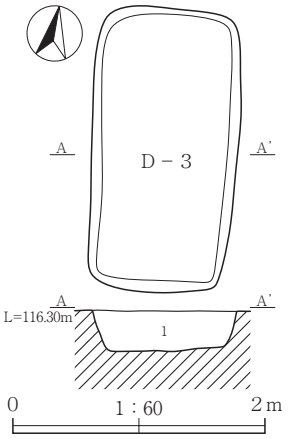
Ｄ－１号土坑
1　黒褐色土（7.5YR3/1）粒子粗い。しまりやや弱い。粘性はやや強い。明褐色粘土ブロック少量。Hr-FP・炭化物粒子微量。

Ｄ－２



Ｄ－２号土坑
1　褐灰色土（7.5YR4/1）粒子粗い。しまりやや強い。粘性あり。Hr-FP 少量。炭化物微量。砂質ブロックやや多量。

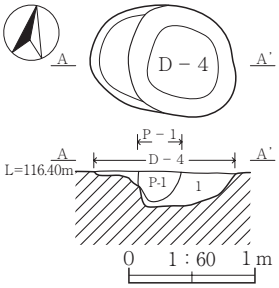
Ｄ－３



Ｄ－３号土坑
1　灰褐色土（7.5YR5/2）粒子は粗い。しまり強い。粘性弱い。砂質ブロック多量。Hr-FP 少量。炭化物粒子微量。

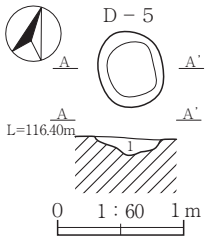
Fig.22　Ｉ－１～５号井戸、Ｄ－１～３号土坑

D－4



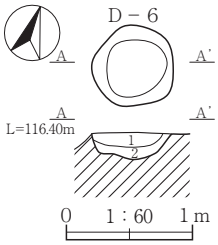
D－4号土坑
1 灰褐色土（7.5YR5/2）粒子やや粗い。しまりあり。粘性弱い。Hr-FP 微量。雑然とした堆積。

D－5



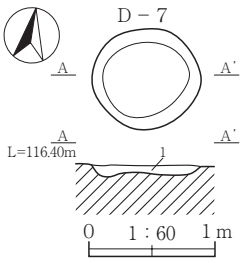
D－5号土坑
1 灰黄褐色土（10YR4/2）粒子・しまり通常。粘性やや弱い。砂質ブロック少量。Hr-FP・炭化物粒子微量。やや雑然とした堆積。

D－6



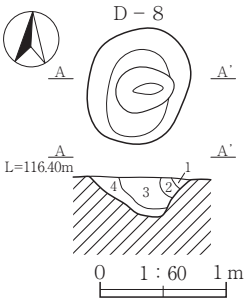
D－6号土坑
1 暗褐色土（10YR3/3）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物粒子・砂質ブロック微量。
2 明黄褐色土（10YR6/6）粒子やや粗い。しまり・粘性弱い。地山砂質ブロック・ローム粒子主体。

D－7



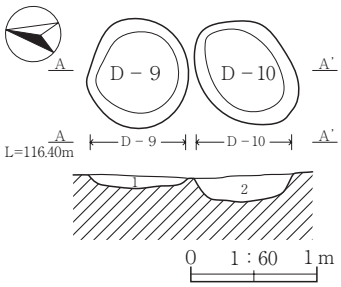
D－7号土坑
1 暗褐色土（10YR3/4）粒子粗い。しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物粒子微量。ローム粒子多量。雑然とした堆積。

D－8



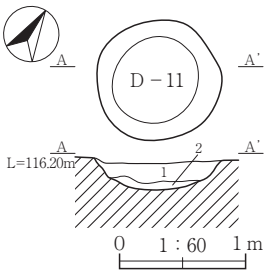
D－8号土坑
1 にぶい黄褐色土（10YR5/3）粒子細かいい。しまり・粘性通常。Hr-FP・地山砂質粒子微量。均質。
2 にぶい黄橙色土（10YR7/4）粒子細かい。粘性やや弱い。FP 微量。2 次堆積のローム粒子主体。均質。
3 灰黄褐色土（10YR4/2）粒子細かいい。しまり・粘性通常。FP・炭化物粒子・砂質粒子微量。均質。
4 明黄褐色土（10YR7/6）粒子細かいい。粘性やや弱い。2 次堆積のローム粒子主体。均質。

D－9・10



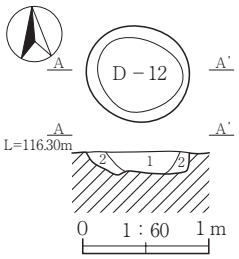
D－9・10号土坑
1 褐灰色土（7.5YR4/1）粒子やや粗い。しまり・粘性通常。ロームブロック通常。Hr-FP・炭化物粒子微量。雑然とした堆積。（D－9）
2 黒褐色土（10YR2/2）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP 微量。（D－10）

D－11



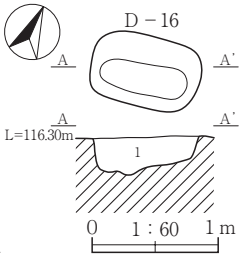
D－11号土坑
1 黒褐色土（7.5YR3/1）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物粒子・砂質ブロック微量。
2 にぶい黄色土（2.5Y6/3）粒子やや粗い。しまり・粘性通常。明褐色粘質土多量。Hr-FP・炭化物粒子微量。

D－12



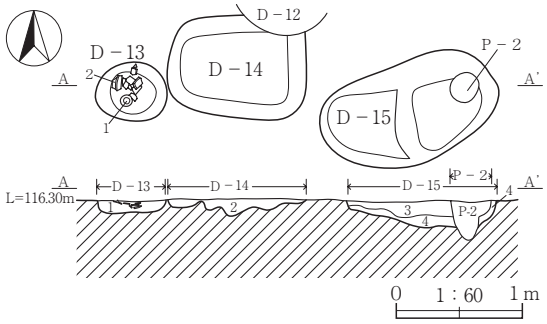
D－12号土坑
1 黒褐色土（10YR3/2）Hr-FP・炭化物粒子・小礫微量。砂質ブロック少量。
2 灰黄褐色土（10YR4/2）粒子・しまり通常。粘性やや弱い。Hr-FP・炭化物粒子微量。やや砂質。

D－16



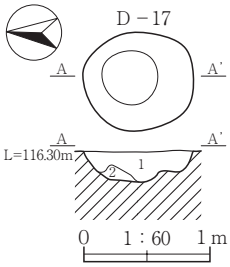
D－16号土坑
1 極暗褐色土（7.5YR2/3）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物粒子・小礫・砂質ブロック微量。

D－13～15



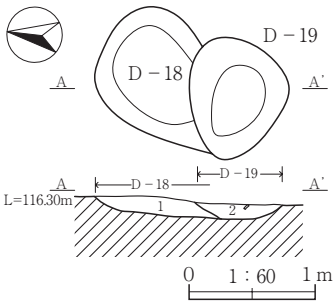
D－13･14･15号土坑
1 暗褐色土（7.5YR3/3）粒子・しまり通常。粘性やや強い。Hr-FP・炭化物粒子微量。砂質ブロック少量。（D－13）
2 黒褐色土（7.5YR3/2）粒子粗い。マーブル状を呈する雑然とした堆積。（D－14）
3 暗褐色土（7.5YR3/4）粒子やや細かい。しまり通常。粘性やや弱い。Hr-FP・炭化物粒子微量。均質な堆積。砂質傾向やや強い。
4 にぶい黄橙色土（10YR6/4）粒子やや細かいい。しまり通常。粘性やや弱い。炭化物粒子微量。均質な堆積。砂質傾向やや強い。（D－15）

D－17



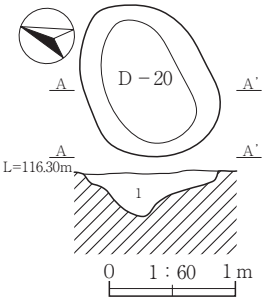
D－17号土坑
1 暗褐色土（10YR3/3）粒子やや粗い。粘性弱い。Hr-FP 少量。砂質ブロック通常。炭化物微量。
2 橙色土（2.5YR7/6）粒子粗い。しまりやや強い。粘性通常。Hr-FP 微量。砂質ブロック多量。雑然とした堆積。

D－18・19



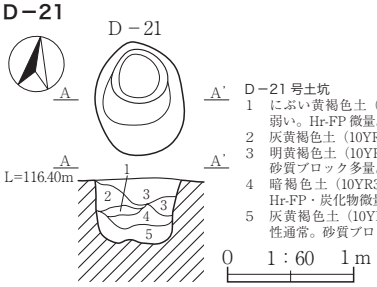
D－18･19号土坑
1 灰黄褐色土（10YR4/2）粒子やや粗い。粘性弱い。Hr-FP 微量。砂質ブロック通常。均質な堆積。（D－18）
2 褐灰色土（10YR4/1）粒子やや細かいい。しまり強い。粘性やや弱い。灰通常。Hr-FP・炭化物粒子・焼土粒子・砂質ブロック微量。（D－19）

D－20



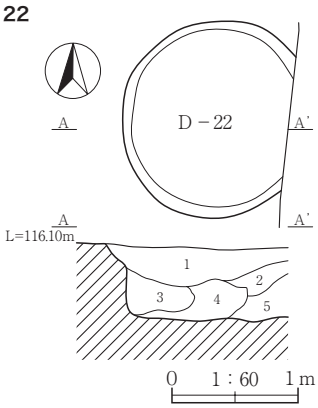
D－20号土坑
1 黒褐色土（10YR3/2）粒子やや粗い。しまり・粘性通常。Hr-FP 微量。砂質ブロック少量。やや雑然とした堆積。

D－21



D－21号土坑
1 にぶい黄褐色土（10YR5/3）粒子やや粗い。粘性弱い。Hr-FP 微量。やや雑然とした堆積。
2 灰黄褐色土（10YR4/2）混入物等は1層と同じ。
3 明黄褐色土（10YR7/6）粒子・しまり・粘性通常。砂質ブロック多量。Hr-FP 微量。
4 暗褐色土（10YR3/3）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物微量。砂質ブロック少量。
5 灰黄褐色土（10YR4/2）粒子細かい。しまり・粘性通常。砂質ブロックのみ微量。

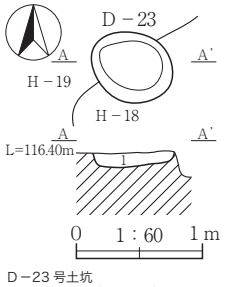
D－22



D－22号土坑
1 暗褐色土（10YR3/4）粒子やや粗い。粘性弱い。砂質ブロック・ロームブロック少量。Hr-FP・炭化物微量。
2 黄褐色土（10YR5/6）粒子やや粗い。粘性弱い。ロームブロック少量。
3 にぶい黄橙色土（10YR6/4）粒子・しまり通常。粘性やや強い。砂質ブロック多量。ロームブロック少量。Hr-FP 微量。粘土ブロック通常。やや雑然とした堆積。
4 黒褐色土（10YR3/2）粒子やや粗い。砂質ブロック・ロームブロック少量。Hr-FP・炭化物・粘土ブロック微量。やや雑然とした堆積。
5 黒褐色土（10YR2/3）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物・粘土ブロック・砂質ブロック・ロームブロック微量。

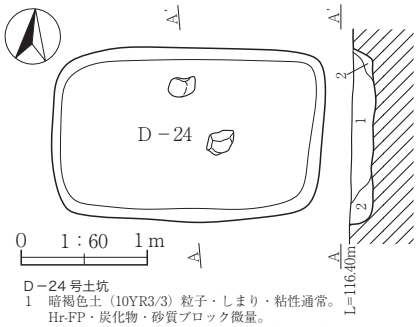
Fig.23　D－4～22号土坑

D－23



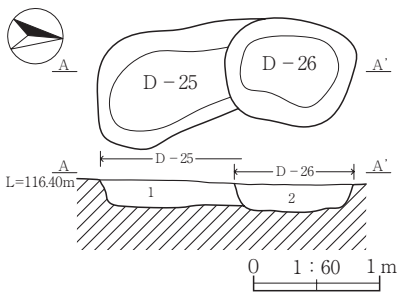
D－23 号土坑
1 褐灰色土（10YR4/1）粒子やや粗い。しまりあり。粘性やや弱い。灰多量。炭化物やや多量。Hr-FP・粘土ブロック・砂質ブロック微量。やや雑然とした堆積。

D－24



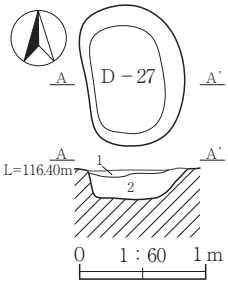
D－24 号土坑
1 暗褐色土（10YR3/3）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物・砂質ブロック微量。
2 褐色土（10YR4/4）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP 微量。砂質ブロック少量。

D－25・26



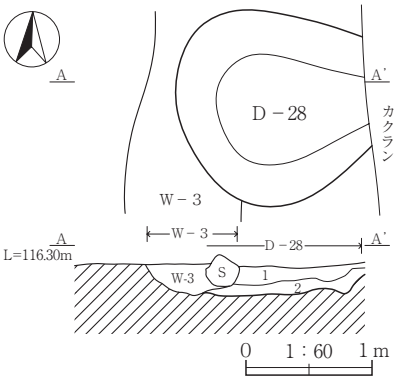
D－25・26 号土坑
1 にぶい黄褐色土（10YR4/3）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物微量。砂質ブロックやや少量。粘土ブロック少量。（D－25）
2 黒褐色土（10YR2/3）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物・微量。砂質ブロック・ロームブロック少量。（D－26）

D－27



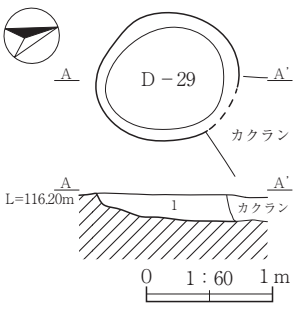
D－27 号土坑
1 暗褐色土（10YR3/3）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物・焼土粒子・ローム粒子微量。
2 にぶい黄橙色土（10YR6/4）粒子やや粗い。しまりあり。粘性やや弱い。砂質ブロック・ロームブロック多量。Hr-FP・炭化物微量。

D－28



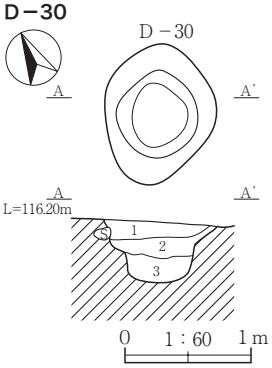
D－28 号土坑
1 灰褐色土（7.5YR5/2）粒子やや粗い。しまり・粘性あり。Hr-FP・炭化物微量。砂質ブロック・ロームブロック少量。
2 にぶい黄橙色土（10YR6/4）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP 微量。砂質ブロック少量。

D－29



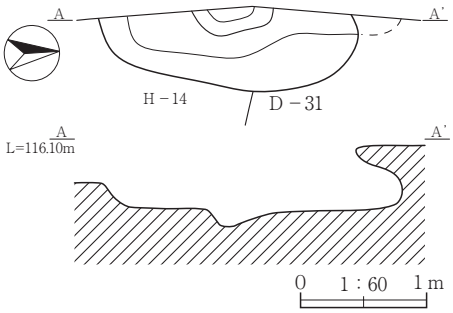
D－29 号土坑
1 にぶい黄褐色土（10YR4/3）粒子・しまり通常。粘性やや弱い。Hr-FP・炭化物・焼土粒子微量。砂質ブロック・ロームブロック少量。やや雑然とした堆積。

D－30

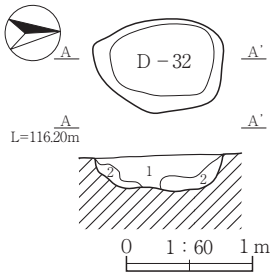


D－30 号土坑
1 にぶい黄橙色土（10YR6/4）粒子・しまり・粘性通常。砂質ブロック通常。炭化物粒子・焼土粒子・ロームブロック少量。Hr-FP 微量。
2 褐灰色土（7.5YR4/1）粒子・しまり・粘性通常。炭化物・砂質ブロック・ロームブロック少量。Hr-FP・焼土粒子微量。
3 にぶい黄褐色土（10YR5/3）粒子・しまり・粘性通常。ロームブロック少量。Hr-FP・炭化物粒子・焼土粒子・砂質ブロック微量。

D－31

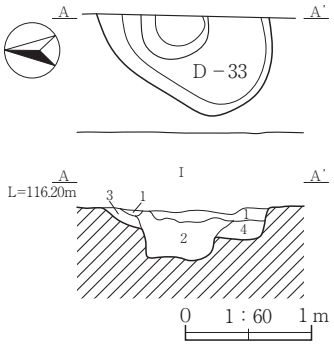


D－32



D－32 号土坑
1 灰黄褐色土（10YR5/2）粒子・しまり通常。粘性やや弱い。Hr-FP・炭化物微量。砂質ブロック少量。
2 明黄褐色土（10YR6/6）粒子やや粗い。粘性やや弱い。Hr-FP・炭化物微量。砂質ブロック多量。

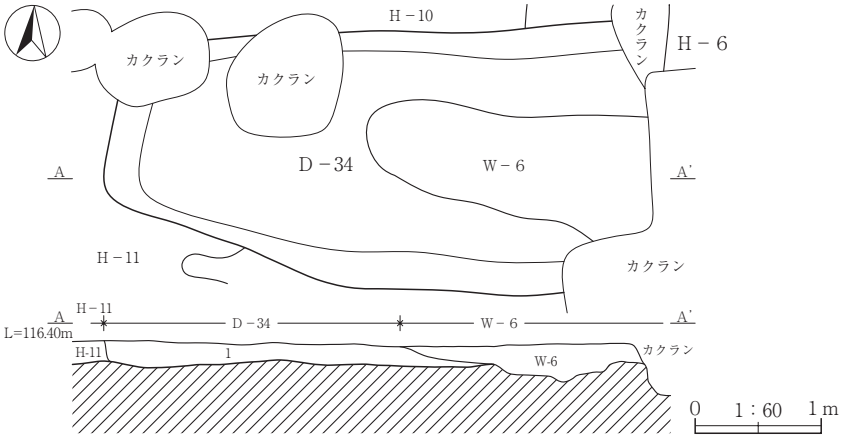
D－33



D－33 号土坑
1 にぶい黄橙色土（10YR6/3）粒子・しまり通常。粘性やや弱い。Hr-FP・炭化物微量。砂質ブロック多量。
2 黒褐色土（10YR3/1）粒子通常。しまり・粘性やや強い。Hr-FP・炭化物微量。砂質ブロック少量。
3 浅黄色土（2.5Y7/4）粒子・しまり通常。粘性弱い。Hr-FP 微量。砂質ブロック多量。ロームブロック少量。
4 明黄褐色土（10YR7/6）粒子粗い。粘性弱い。Hr-FP・炭化物微量。砂質ブロック多量。

D－34

D－34 号土坑
1 褐灰色土（10YR5/1）粒子やや細かい。しまりあり。粘性やや弱い。Hr-FP 少量。砂質ブロック・炭化物・焼土粒子・粘土ブロック微量。均質。



D－35

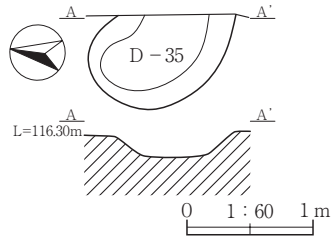
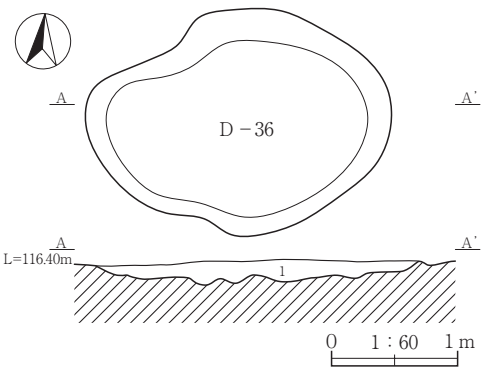
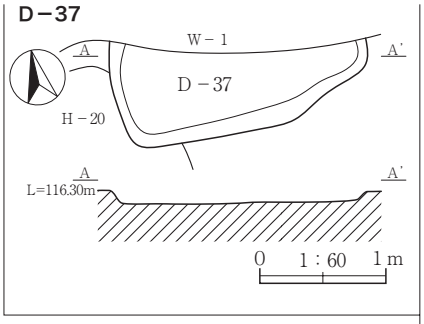


Fig.24　D－23 ～ 35 号土坑

D－36

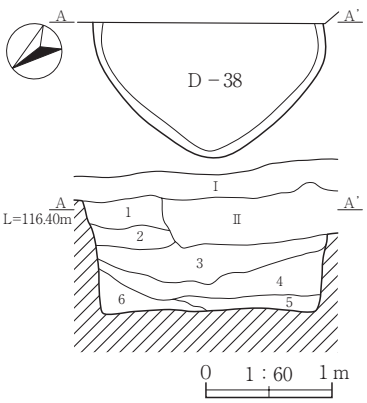


D－37



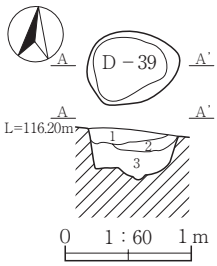
D－36 号土坑
1 暗褐色土(10YR3/3)粒子やや粗い。しまりあり。粘性弱い。砂質ブロック通常。Hr-FP 少量。炭化物微量。やや雑然とした堆積。

D－38



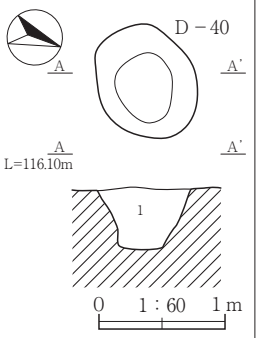
D－38 号土坑
1 灰黄褐色土（10YR4/2）粒子やや粗い。しまりやや弱い。粘性あり。Hr-FP・地山砂質ブロック微量。
2 にぶい黄褐色土（10YR5/3）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・砂質粒子・ローム粒子微量。
3 暗褐色土（10YR3/4）粒子やや粗い。粘性弱い。砂質ブロック・ロームブロック少量。Hr-FP・炭化物粒子微量。
4 黄褐色土(10YR5/6)粒子・しまり通常。粘性やや強い。Hr-FP 微量。ロームブロック・砂質ブロック少量。
5 黒褐色土(10YR3/2)粒子・しまり通常。粘性やや強い。ロームブロック・砂質ブロック通常。Hr-FP 微量。
6 にぶい黄橙色土（10YR7/3）粒子やや粗い。しまりあり。粘性やや強い。ロームブロック・砂質ブロックをやや多量。Hr-FP・炭化物粒子微量。

D－39



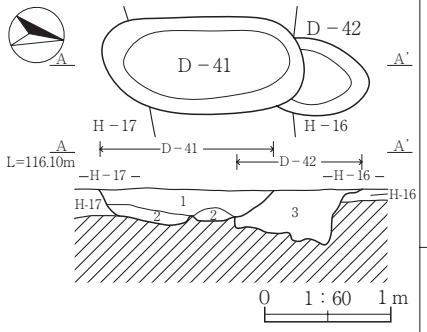
D－39 号土坑
1 灰黄褐色土（10YR4/2）粒子やや細かい。しまりあり。粘性やや弱い。Hr-FP・炭化物・砂質ブロック微量。
2 にぶい黄褐色土（10YR5/3）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物・砂質ブロック・ロームブロック微量
3 にぶい黄橙色土（10YR6/3）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・砂質ブロック微量。ロームブロック少量。

D－40



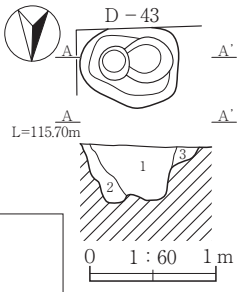
D－40 号土坑
1 にぶい黄褐色土（10YR4/3）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物粒子・砂質ブロック微量。

D－41・42



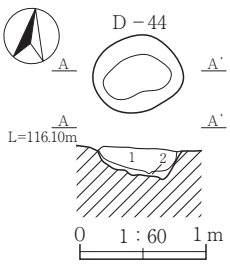
D－41・42 号土坑
1 暗褐色土(10YR3/3)粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物・砂質ブロック・ロームブロック微量。（D－41）
2 明黄褐色土（10YR7/6）粒子やや粗い。しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物・焼土粒子・ローム粒子微量。地山砂質ブロック多量。（D－41）
3 灰黄褐色土（10YR5/2）粒子・しまり・粘性通常。地山砂質ブロック少量。Hr-FP・炭化物・焼土粒子・ローム粒子微量。（D－42）

D－43



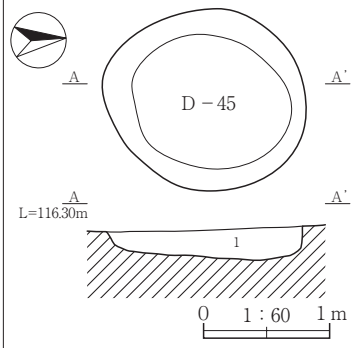
D－43 号土坑
1 黒褐色土（10YR3/2）粒子細かい。しまりあり。粘性強い。Hr-FP・炭化物・焼土粒子・砂質ブロック微量。
2 灰黄褐色土（10YR5/2）粒子・しまり通常。粘性やや強い。
3 にぶい黄橙色土（10YR7/4）粒子やや粗い。しまり・粘性通常。砂質ブロック多量。Hr-FP・炭化物・焼土粒子微量。

D－44



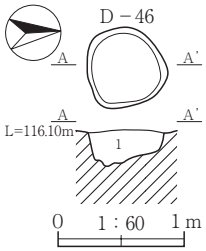
D－44
1 褐灰色土（10YR5/1）粒子・しまり通常。粘性やや弱い。Hr-FP・砂質ブロック少量。炭化物微量。
2 淡黄色土（2.5Y8/4）粒子やや細かい。しまり・粘性通常。砂質ブロック多量。Hr-FP 炭化物微量。

D－45



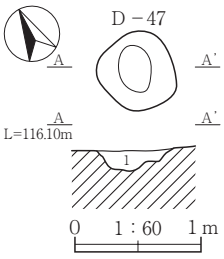
D－45 号土坑
1 褐灰色土（10YR5/1）粒子・しまり通常。粘性やや弱い。Hr-FP・砂質ブロック少量。炭化物微量。

D－46



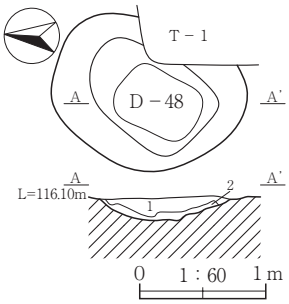
D－46 号土坑
1 褐灰色土（10YR5/1）粒子・しまり通常。粘性やや弱い。Hr-FP・小礫・砂質ブロック少量。炭化物微量。

D－47



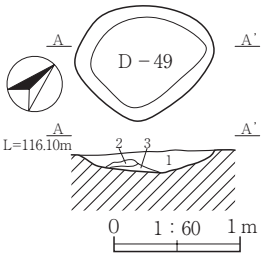
D－47 号土坑
1 褐灰色土（10YR4/1）粒子粗い。しまり・粘性通常。粘土ブロック・砂質ブロック・ロームブロック少量。Hr-FP・炭化物微量。

D－48



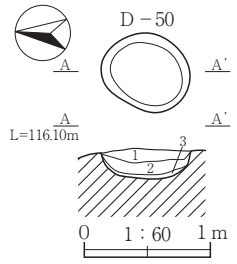
D－48 号土坑
1 褐灰色土（10YR4/1）粒子粗い。しまり・粘性通常。粘土ブロック・砂質ブロック・ロームブロック少量。Hr-FP・炭化物微量。
2 浅黄色土（2.5Y7/4）粒子粗い。しまり・粘性通常。砂質ブロック多量。Hr-FP は微量。

D－49



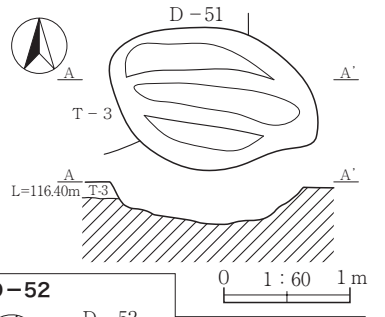
D－49 号土坑
1 灰黄褐色土（10YR4/2）粒子やや粗い。しまり・粘性通常。炭化物やや多量。砂質ブロック通常。ロームブロック少量。Hr-FP 微量。
2 黒褐色土（10YR3/1）粒子・しまり・粘性通常。炭化物多量。砂質ブロック少量。Hr-FP 微量。

D－50

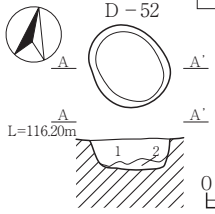


D－50 号土坑
1 灰黄褐色土（10YR5/2）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物・ローム粒子微量。地山砂質ブロック少量。
2 にぶい黄色土（2.5Y6/3）粒子やや粗い。しまりあり。粘性やや弱い。砂質ブロック多量。Hr-FP・炭化物・ローム粒子微量。やや雑然とした堆積。
3 褐灰色土（10YR4/1）粒子・しまり・粘性共に通常。Hr-FP・炭化物・砂質ブロック・ローム粒子微量。

D－51



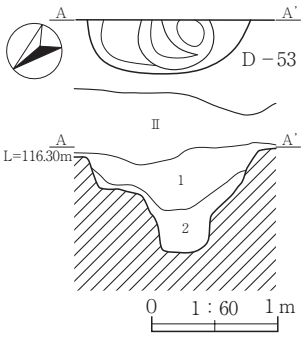
D－52



D－52 号土坑
1 褐灰色土（10YR4/1）粒子やや粗い。しまり・粘性通常。Hr-FP・小礫・砂質ブロック少量。
2 にぶい黄色土（2.5Y6/3）粒子・しまり・粘性通常。砂質ブロック多量。Hr-FP・炭化物微量。

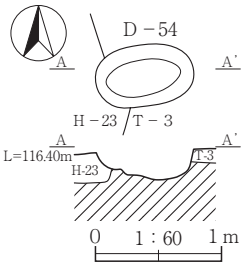
Fig.25　D－36 ～ 52 号土坑

D－53

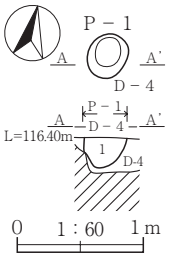


D－53 号土坑
1 黒褐色土（10YR3/1）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物粒子・砂質ブロック微量。ロームブロック少量。
2 浅黄色土（2.5Y7/4）粒子細かい。しまりあり。粘性やや強い。ロームブロック主体。Hr-FP・地山砂質粒子微量。

D－54

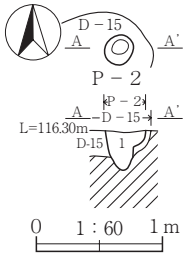


P－1



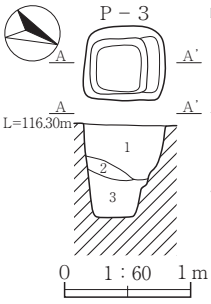
P－1 号ピット
1 黒褐色土（5YR3/1）粒子細かい。しまり・粘性あり。Hr-FP・炭化物ブロック・地山ブロック微量。

P－2



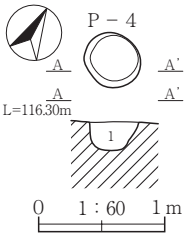
P－2 号ピット
1 暗褐色土（10YR3/3）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物粒子微量。均質な堆積。

P－3



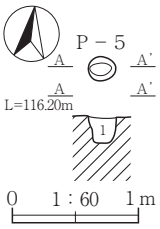
P－3 号ピット
1 暗褐色土（7.5YR3/3）粒子やや粗い。しまり・粘性やや弱い。Hr-FP・炭化物・砂質ブロック微量。
2 にぶい黄褐色土（10YR5/3）粒子やや粗い。しまり・粘性やや弱い。砂質ブロック多量。炭化物微量。
3 にぶい黄橙色土（10YR6/4）粒子やや粗い。しまり・粘性やや弱い。砂質ブロック通常。炭化物微量。

P－4



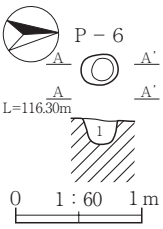
P－4 号ピット
1 黒褐色土（7.5YR3/1）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物・砂質ブロックを微量。

P－5



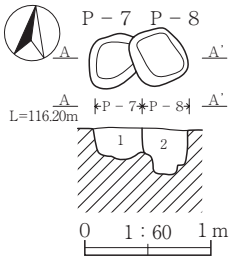
P－5 号ピット
1 黒褐色土（7.5YR3/1）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物粒子・地山砂質ブロック・地山砂質粒子微量。

P－6



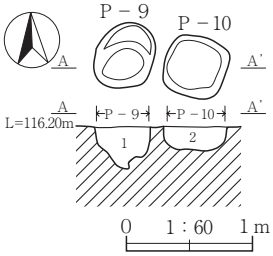
P－6 号ピット
1 黒褐色土（7.5YR3/1）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物粒子・地山砂質ブロック・地山砂質粒子微量。

P－7・8



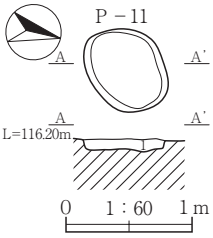
P－7・8 号ピット
1 黒褐色土（7.5YR3/1）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物粒子・地山砂質ブロック・地山砂質粒子微量。（P－7）
2 灰黄褐色土（10YR5/2）粒子やや粗い。しまり通常。粘性やや弱い。地山砂質ブロック通常。Hr-FP・炭化物粒子微量。（P－8）

P－9・10



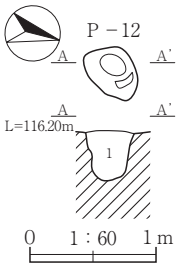
P－9・10 号ピット
1 黒褐色土（7.5YR3/1）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物粒子・地山砂質ブロック・地山砂質粒子微量。（P－9）
2 黒褐色土（7.5YR3/1）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物粒子・地山砂質ブロック・地山砂質粒子微量。（P－10）

P－11



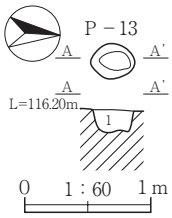
P－11 号ピット
1 浅黄色土（2.5Y7/3）粒子粗い。しまり・粘性弱い。砂質。Hr-FP・炭化物粒子微量。地山砂質ブロック多量。

P－12



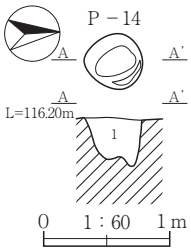
P－12 号ピット
1 灰黄褐色土（10YR5/2）粒子やや粗い。しまり通常。粘性やや弱い。地山砂質ブロック通常。Hr-FP・炭化物粒子微量。

P－13



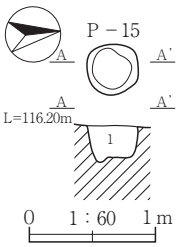
P－13 号ピット
1 黒褐色土（7.5YR3/1）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物粒子・地山砂質ブロック・地山砂質粒子微量。

P－14



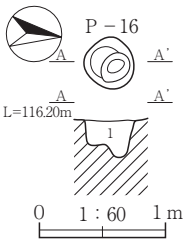
P－14 号ピット
1 灰黄褐色土（10YR5/2）粒子やや粗い。しまり通常。粘性やや弱い。Hr-FP・炭化物粒子微量。

P－15



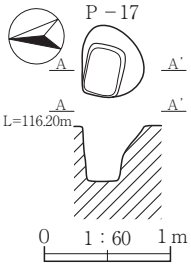
P－15 号ピット
1 黒褐色土（7.5YR3/1）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物粒子・地山砂質ブロック・地山砂質粒子微量。

P－16

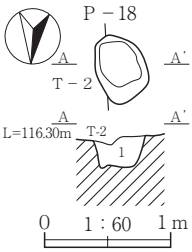


P－16 号ピット
1 黒褐色土（7.5YR3/1）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物粒子・地山砂質ブロック・地山砂質粒子微量。

P－17

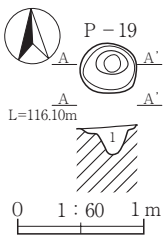


P－18



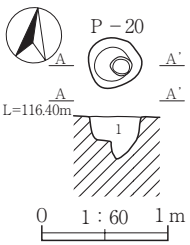
P－18 号ピット
1 褐灰色土（10YR4/1）粒子やや粗い。しまり通常。粘性やや弱い。地山砂質ブロック少量。Hr-FP・炭化物粒子微量。

P－19



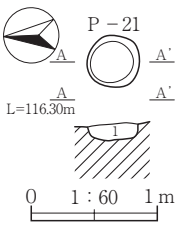
P－19 号ピット
1 黒褐色土（7.5YR3/1）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物粒子・地山砂質ブロック・地山砂質粒子微量。

P－20



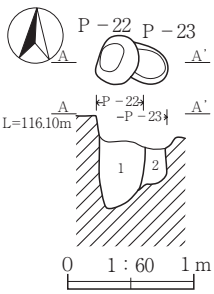
P－20 号ピット
1 黒褐色土（7.5YR3/1）粒子・しまり・粘性通常。Hr-FP・炭化物粒子・地山砂質ブロック・地山砂質粒子微量。

P－21



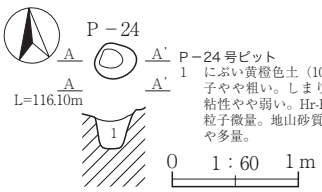
P－21 号ピット
1 浅黄色土（2.5Y7/3）粒子粗い。しまり・粘性弱い。砂質。Hr-FP・炭化物粒子微量。地山砂質ブロック多量。

P－22・23



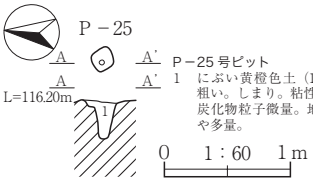
P－22・23 号ピット
1 褐灰色土（10YR4/1）粒子やや粗い。しまり通常。粘性やや弱い。Hr-FP・炭化物粒子微量。地山砂質ブロック少量。（P－22）
2 にぶい黄橙色土（10YR7/2）粒子やや粗い。しまりやや弱い。粘性やや弱い。Hr-FP・炭化物粒子微量。地山砂質ブロックやや多量。（P－23）

P－24



P－24 号ピット
1 にぶい黄橙色土（10YR7/2）粒子やや粗い。しまりやや弱い。粘性やや弱い。Hr-FP・炭化物粒子微量。地山砂質ブロックやや多量。

P－25



P－25 号ピット
1 にぶい黄橙色土（10YR7/2）粒子やや粗い。しまり。粘性やや弱い。Hr-FP・炭化物粒子微量。地山砂質ブロックやや多量。

Fig.26　D－53・54 号土坑、P－1～25 号ピット

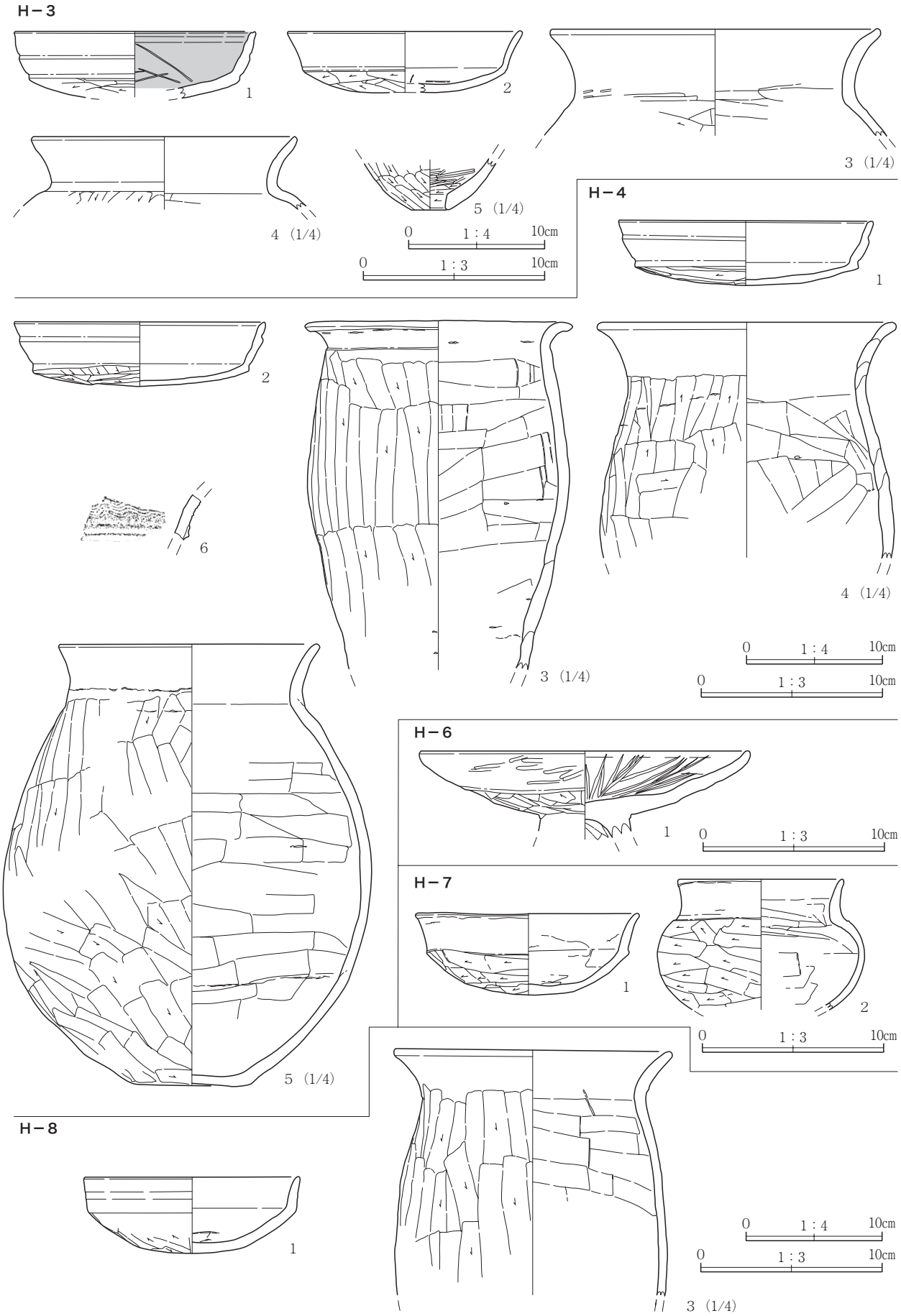


Fig.27　H－3・4・6・7・8号住居跡出土遺物

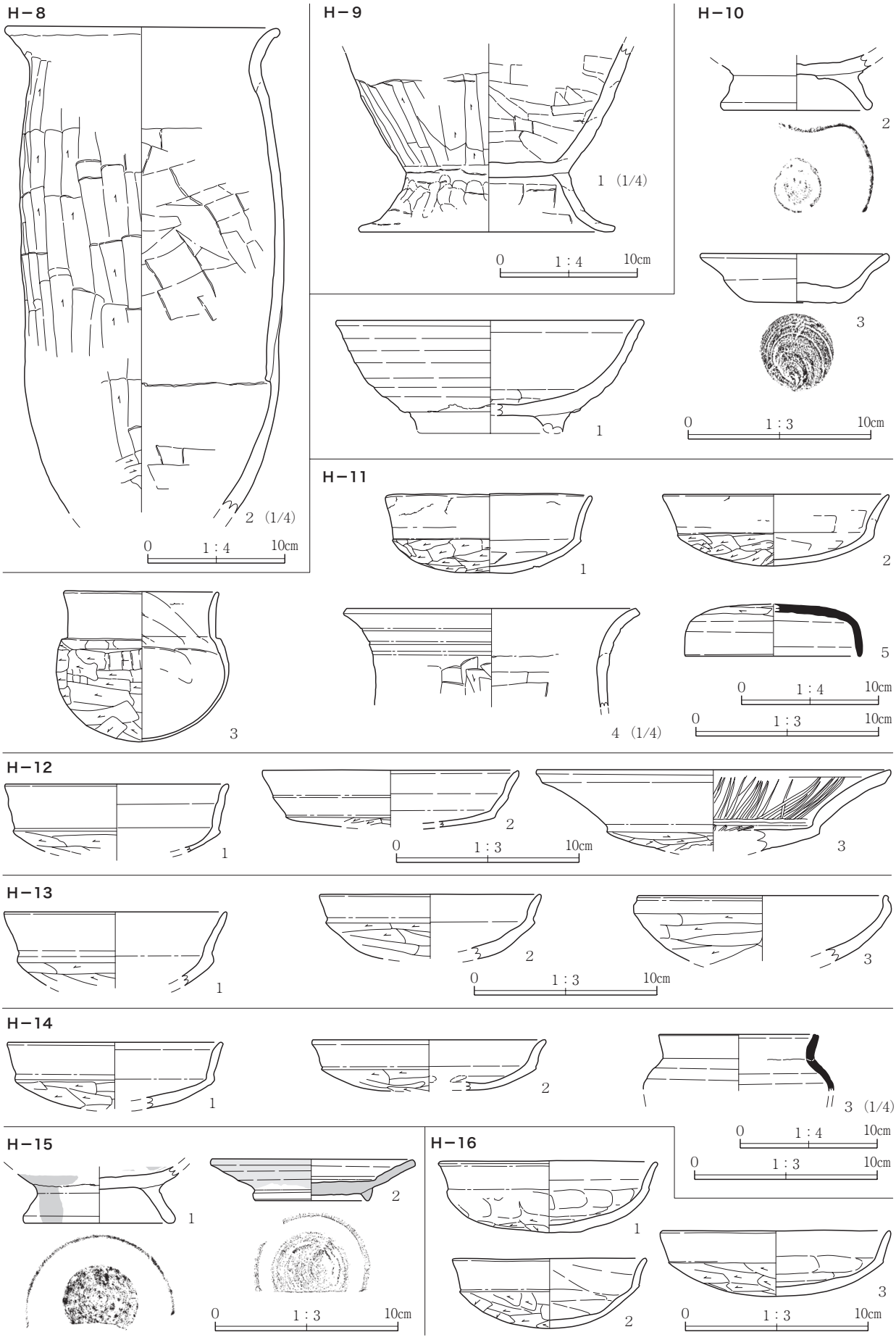


Fig.28　H－8～16号住居跡出土遺物

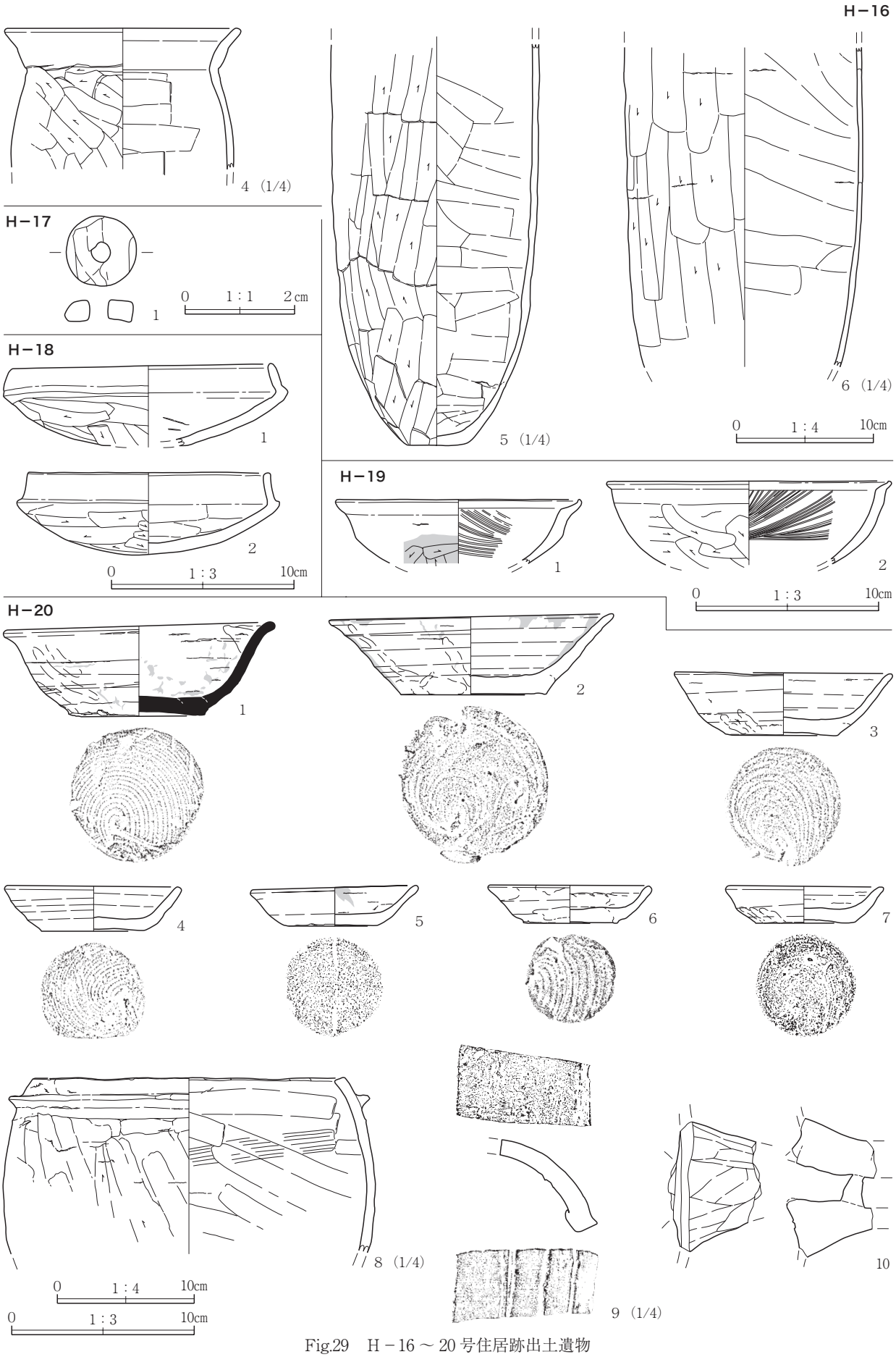


Fig.29　H－16～20号住居跡出土遺物

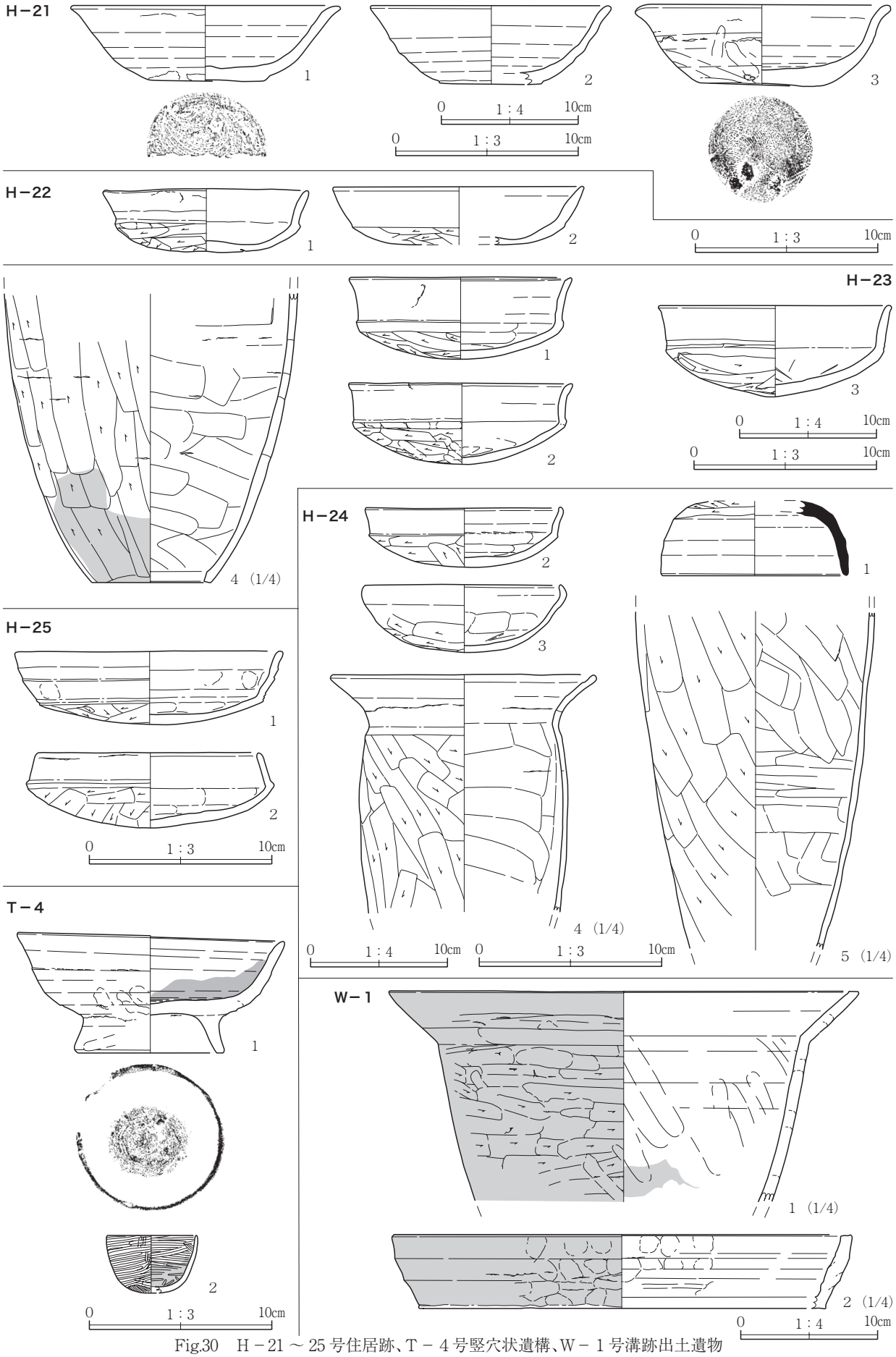


Fig.30　H－21 ～ 25 号住居跡、T － 4 号竪穴状遺構、W － 1 号溝跡出土遺物

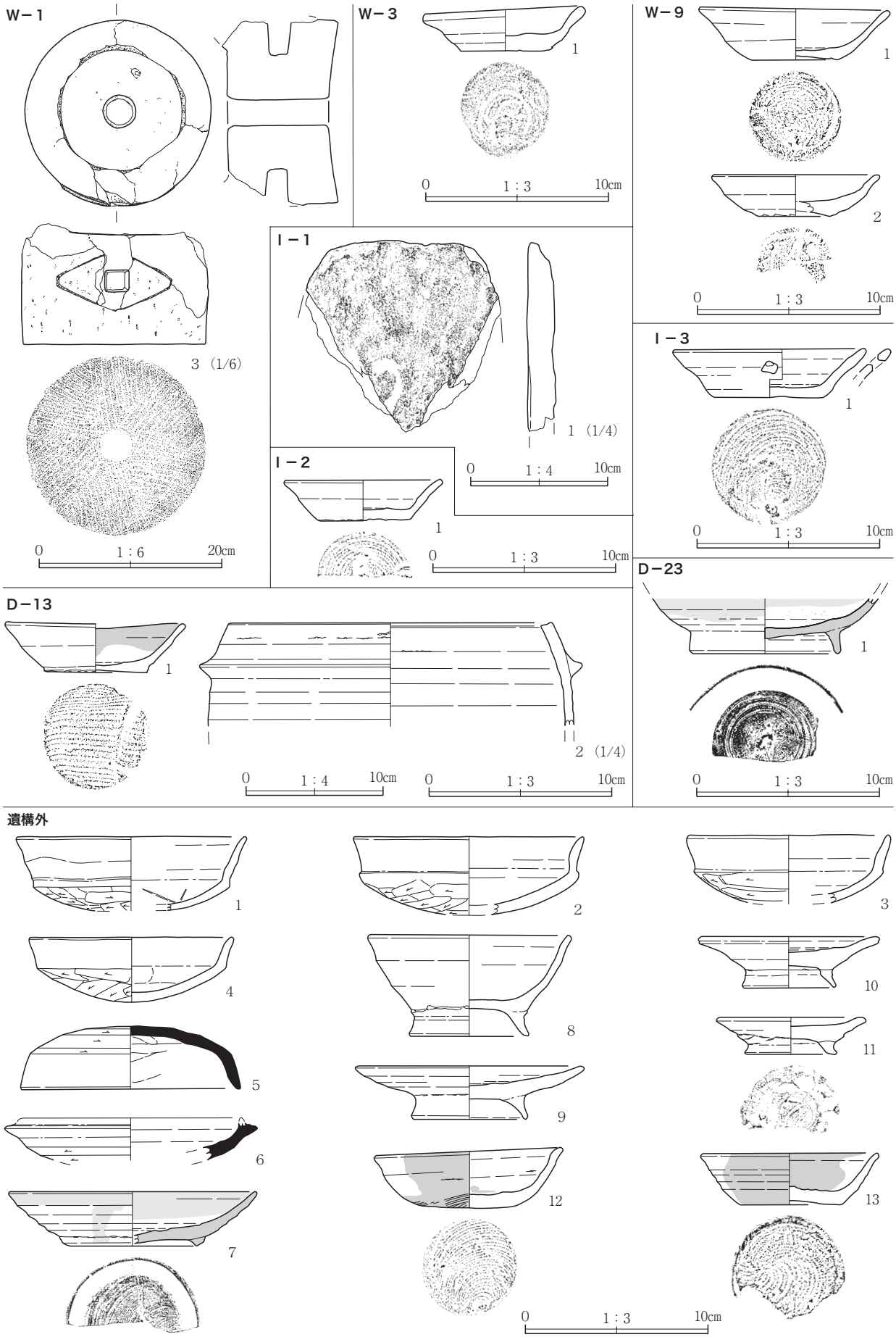


Fig.31　W－1・3・9号溝跡、I－1～3号井戸、D－13・23号土坑、遺構外出土遺物

遺構外

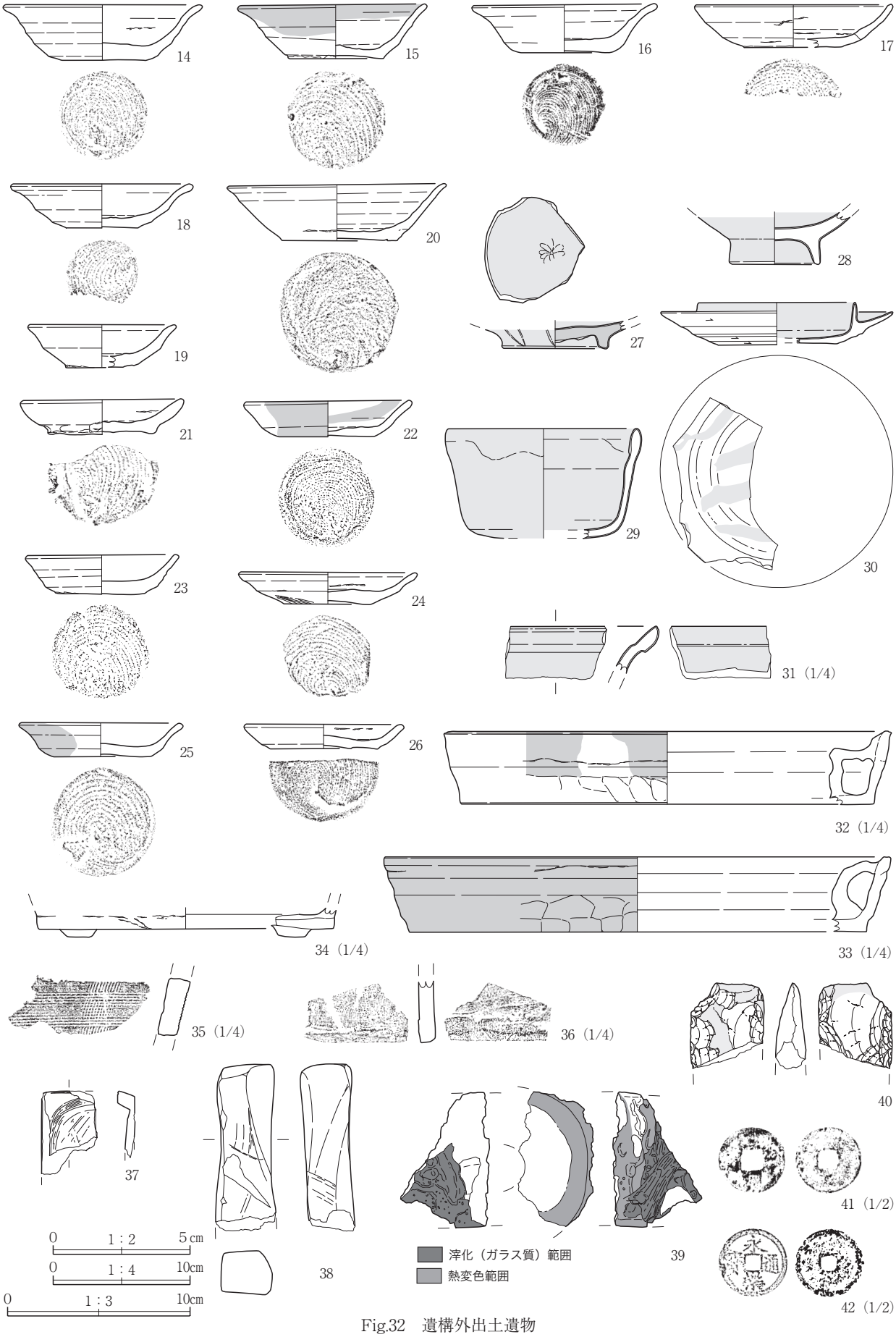


Fig.32　遺構外出土遺物

Tab. 3　出土遺物観察表

H－3

No	出土位置	種別。器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	覆土	土師器　坏	〔13.2〕	丸底	(3.7)	微細砂	良好	橙色 橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ヨコナデ後一部ミガキ。	口縁～体部 1/4 残存。 有段口縁坏。
2	覆土	土師器　坏	〔12.7〕	丸底	(3.4)	微細砂	良好	橙色 橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラナデ後ナデ。	1/4 残存。
3	カマド No. 3	土師器　甕	〔23.8〕	－	(7.8)	緻密	良好	橙色 橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラナデ。	口縁部 1/4 残存。
4	カマド No. 4	土師器　甕	〔19.2〕	－	(5.3)	赤色細粒	良好	黄橙色 黄橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ナデ。	口縁部 1/6 残存。
5	覆土	土師器　甑	－	〔2.7〕	(3.8)	細砂	良好	橙色 橙色	外面：ヘラケズリ。 内面：胴下部ヘラミガキ。底部ヘラケズリ。	底部 1/4 残存。

H－4

No	出土位置	種別。器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	カマド No. 5	土師器　坏	14.0	丸底	3.6	微細砂	良好	橙色 橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ。 内面：ヨコナデ。	4/5 残存。 有段口縁坏。
2	No. 8	土師器　坏	13.8	丸底	3.6	微細砂	良好	橙色 橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ナデ。	口縁部 1/3 欠損。 有段口縁坏。
3	No. 7	土師器 長胴甕	〔19.8〕	－	(25.6)	細砂。軽石	良好	橙色 橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下縦位ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラナデ。	口縁～胴部 1/3 残存。
4	No. 6	土師器 長胴甕	〔21.4〕	－	(17.3)	細砂。軽石	良好	にぶい橙色 にぶい橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下縦位ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラナデ。	口縁～胴部 1/4 残存。
5	No. 1	土師器　甕	18.9	8.2	32.3	細砂。軽石	良好	橙色 橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラナデ。	口縁 1/2 欠損。
6	覆土	須恵器 ハソウ	－	－	－	白色細粒	良好	灰色 灰色	外面：櫛描波状文。突帯による横位区画。 内面：ロクロナデ。	口縁部片。 内・外面に自然釉。

H－6

No	出土位置	種別。器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	覆土	土師器　高坏	〔18.0〕	－	(4.8)	微細砂	良好	橙色 橙色	外面：坏部口縁部ヨコナデ後ミガキ。脚部ヘラケズリ。 内面：坏部口縁～底部ナデ後ミガキ。脚部ヘラナデ。	坏部 1/4 残存。

H－7

No	出土位置	種別。器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	No. 3	土師器　坏	12.3	丸底	4.5	白・黒・茶色粒。輝石	良好	にぶい橙色 橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラナデ及びユビナデ。	ほぼ完存。
2	No. 2	土師器 小型甕	〔9.0〕	欠損	(7.2)	白・黒・茶色粒。輝石	良好	にぶい褐色 にぶい黄橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下横位ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラナデ及びユビナデ。	1/3 残存。

H－8

No	出土位置	種別。器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	覆土	土師器　坏	〔11.8〕	丸底	4.2	細砂。赤色細粒	良好	橙色 橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラナデ。	1/6 残存。
2	No. 1	土師器 長胴甕	19.8	－	(33.5)	細砂	良好	浅黄橙色 浅黄橙色	外面：縦位ヘラケズリ。 内面：ヘラナデ。	底部 1/3 欠損。 口縁～胴部煤付着。
3	No. 2	土師器 長胴甕	20.1	－	(18.2)	細砂。白色鉱物	良好	にぶい橙色 にぶい橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラナデ。	口縁～胴部上半残存。

H－9

No	出土位置	種別。器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	覆土	土師器 高台埦か	－	〔18.3〕	(13.7)	細砂	良好	橙色 橙色	外面：胴下部ヘラケズリ。高台部ユビオサエ。 内面：胴下～底部ヘラナデ。高台部ヘラナデ。	胴下位～高台部残存。

H－10

No	出土位置	種別。器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	覆土	須恵器 高台坏	〔16.8〕	－	(6.1)	微細砂。軽石	良好	黄橙色 黄橙色	外面：ロクロナデ。底部回転糸切り。貼付高台。 内面：ロクロナデ。	1/4 残存。 酸化焔焼成。
2	覆土	須恵器 高台坏	－	〔8.0〕	(3.0)	微細砂	良好	橙色 橙色	外面：底部回転糸切り。貼付高台。 内面：底部ロクロナデ。高台部ヨコナデ。	底～高台部残存。酸化焔焼成。 高台のゆがみ著しい。
3	覆土	土師器　坏	10.1	4.6	2.7	軽石	良好	橙色 橙色	外面：ロクロナデ。底部回転糸切り後無調整 内面：ロクロナデ。	完存。 酸化焔焼成。

H－11

No	出土位置	種別。器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	No. 7	土師器　坏	11.2	丸底	4.3	白・黒・茶色細粒。チャート。輝石	良好	橙色 橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラナデ及びユビナデ。	一部欠損。
2	No. 8	土師器　坏	12.3	丸底	3.9	白・黒・茶色粒。黒雲母	良好	橙色 橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ及びユビナデ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラナデ及びユビナデ。	2/3 残存。
3	No. 6	土師器 小型壺	8.4	丸底	8.2	白・黒・茶色粒。チャート	良好	橙色 橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下縦位ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ナデ。	ほぼ完存。
4	No. 9	土師器　甕	〔21.0〕	－	(7.2)	微細砂	良好	橙色 橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラナデ。	口縁部 1/4 残存。 有段口縁甕。
5	覆土	須恵器　蓋	〔9.6〕	－	2.8	黒色細粒	良好	灰色 灰色	外面：天井部ヘラケズリ。以下ロクロナデ。 内面：ロクロナデ。	1/3 残存。

H－12

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	覆土	土師器　坏	〔12.1〕	丸底	(3.8)	緻密	良好	橙色 橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ナデ。	口縁～体部 1/4 残存。
2	覆土	土師器　坏	〔14.0〕	丸底	(3.1)	微細砂、軽石	良好	橙色 橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ナデ。	口縁部片。 有段口縁坏。
3	No. 3，4，5	土師器　高坏	19.2	－	(4.5)	緻密	良好	橙色 橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ。 内面：口縁～底部ミガキ。	坏部 2/3 残存。 内外面付着物（炭化物か）あり。

H－13

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	覆土	土師器　坏	〔12.2〕	丸底	(4.1)	微細砂、赤色小礫	良好	浅黄橙色 浅黄橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ナデ。	口縁～体部 1/4 残存。
2	覆土	土師器　坏	〔12.2〕	丸底	(3.5)	微細砂	良好	橙色 橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ナデ。	口縁～体部 1/4 残存。
3	覆土	土師器　坏	〔13.4〕	丸底	(3.6)	小礫	良好	橙色 橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ。 内面：ヨコナデ。	口縁～体部 1/4 残存。 比企型坏。

H－14

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	覆土	土師器　坏	〔11.7〕	丸底	(3.6)	緻密	良好	橙色 橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ナデ。	口縁～体部 1/4 残存。
2	覆土	土師器　坏	〔12.0〕	丸底	(2.8)	微細砂	良好	橙色 橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ユビナデ。	口縁～体部 1/12 残存。
3	覆土	須恵器 短頸壺	〔11.7〕	－	(4.2)	精砂	良好	灰白色 灰白色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ロクロナデ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ロクロナデ。	口縁～肩部 1/7 残存。

H－15

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	覆土	土師質 高台塊	－	8.2	(3.1)	緻密	良好	浅黄橙色 浅黄橙色	外面：高台部ヨコナデ。 内面：高台部ヨコナデ。	底～高台部 1/2 残存。 内・外面煤付着。
2	No. 1	灰釉陶器 皿	〔11.0〕	6.2	2.3	緻密	良好	浅黄橙色 浅黄橙色	外面：ロクロナデ。底部回転糸切り後無調整。貼付高台。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ロクロナデ。	1/4 残存。 口縁～体部内・外面灰釉施釉。 虎渓山 1 号窯式。

H－16

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	No. 7	土師器　坏	11.7	－	4.0	白色粒、雲母	良好	橙色 橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ユビナデ。	完存。
2	No. 8	土師器　坏	10.5	－	3.8	白色粒、小礫	良好	橙色 橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ユビナデ。	完存。
3	覆土	土師器　坏	〔12.4〕	－	3.6	雲母	良好	橙色 橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ユビナデ。	1/8 残存。
4	No. 2，3， 覆土	土師器 長胴甕	〔17.0〕	－	(10.3)	細砂、黒色鉱物	良好	橙色 橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下斜位ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラナデ。	口縁～胴部位 1/4 残存。
5	No. 1，4	土師器 長胴甕	－	4.4	(29.3)	細砂、白色細粒物	良好	橙色 橙色	外面：縦位ヘラケズリ。 内面：ヘラナデ。	胴～底部 1/4 残存。
6	No. 6，カマド覆土	土師器 長胴甕	－	－	(23.3)	白色粒	良好	明赤褐色 明赤褐色	外面：縦位ヘラケズリ。 内面：ユビナデ。	胴部のみ残存。

H－17

No	出土位置	種別、器種	直径	幅	厚さ	石質	焼成	色調	重量	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	覆土	石製品 臼玉	1.25	1.25	0.4	滑石	－	灰白色	1.4g	－	完存。

H－18

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	No. 3，5	土師器　坏	14.1	丸底	(4.5)	緻密	良好	橙色 橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ナデ。	3/4 残存。
2	No. 6	土師器　坏	13.0	－	4.5	白色粒、雲母	良好	にぶい黄橙色 にぶい黄橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ユビナデ。	口縁部 1/4 欠損。

H－19

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	覆土	土師器　坏	〔13.2〕	－	(3.5)	白色粒	良好	明赤褐色 明赤褐色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下放射状ミガキ。	破片。外面煤付着。 内斜口縁坏。
2	覆土	土師器　坏	〔15.3〕	－	(4.5)	白色粒、雲母	良好	赤褐色 赤褐色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。体部上半放射状ミガキ。	破片。 内斜口縁坏。

H－20

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	No. 1	須恵器　坏	14.7	7.4	5.2	白・黒・茶色粒少量	良好	にぶい黄褐色 にぶい黄橙色	外面：ロクロナデ後一部ユビナデ。底部回転糸切り後無調整。 内面：ロクロナデ。	3/4 残存。 内・外面に油煙状の付着物。 やや酸化焔焼成。
2	No. 7	須恵器　坏	15.5	7.8	4.45	白・茶色粗粒、黒色粒	良好	橙色 橙色	外面：ロクロナデ後一部ユビナデ。底部回転糸切り後無調整。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ロクロナデ。	2/3 残存。 内・外面に油煙状の付着物。酸化焔焼成。
3	No.15	須恵器　坏	11.9	6.1	3.5	白・黒・茶色粒	良好	にぶい褐色、灰褐色 にぶい褐色、灰褐色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ロクロナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ロクロナデ。	口縁部一部欠損。 酸化焔焼成。
4	No. 6	須恵器　小皿	9.2	5.6	2.5	微細砂、軽石	良好	橙色 橙色	外面：ロクロナデ。底部回転糸切り後無調整。 内面：ロクロナデ。	1/2 残存。内・外面煤付着。 酸化焔焼成。
5	No.16	須恵器　小皿	9.0	4.9	2.2	黒・茶色粒、石英	良好	にぶい黄橙色 にぶい黄橙色	外面：ロクロナデ。底部回転糸切り後無調整。 内面：ロクロナデ。	3/4 残存。口縁部内面に煤付着。 酸化焔焼成。
6	No.17	須恵器　小皿	8.8	5.1	2.05	白・黒・茶色粒、黒雲母	良好	橙色 橙色	外面：ロクロナデ後一部ユビナデ。底部回転糸切り後無調整。 内面：ロクロナデ。	口縁部一部欠損。
7	覆土	須恵器　小皿	8.5	5.4	2.05	黒・茶色粒、白色粗粒	良好	にぶい橙色 灰褐色	外面：ロクロナデ。底部回転糸切り後無調整。 内面：ロクロナデ。	ほぼ完存。 内面煤付着。
8	No.18	須恵器　羽釜	〔22.6〕	欠損	(12.8)	白・黒色粒、黒雲母	良好	橙色 橙色	外面：口縁部ヨコナデ。体部縦位ヘラケズリ及びユビナデ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラナデ及びユビナデ。	口縁～体部上位片。 酸化焔焼成。
No	出土位置	種別、器種	長さ	幅	厚さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
9	No.12	瓦　丸瓦	9.4	5.1	－	白・黒色粒	良好	褐灰色 褐灰色	凸面：縄目タタキ後ナデ。 凹面：布目痕。	側縁部片。 還元焔焼成。
10	No.10	形象埴輪か	－	－	－	細砂	良好	橙色 橙色	外面：ヘラナデ。 内面：ユビナデ。	破片。 人物埴輪の腕部か。

H－21

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	No. 7	須恵器　坏	〔14.5〕	6.3	4.1	小礫	良好	にぶい黄橙色 にぶい黄橙色	外面：ロクロナデ。底部回転糸切り後無調整。 内面：ロクロナデ。	1/5 残存。 内・外面煤付着。
2	No. 1，8	須恵器　坏	13.0	(5.5)	4.3	緻密	良好	明赤褐色 明赤褐色	外面：ロクロナデ。底部回転糸切り後無調整。 内面：ロクロナデ。	1/3 残存。 酸化焔焼成。
3	No. 4	須恵器　坏	14.0	6.5	4.4	白・黒色粒、チャート粗粒	良好	にぶい橙色 にぶい橙色	外面：ロクロナデ。底部回転糸切り後無調整。 内面：ロクロナデ。	4/5 残存。全体に歪みあり。 酸化焔焼成。

H－22

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	No. 1	土師器　坏	11.3	丸底	3.5	白・黒・茶色粒、チャート、輝石	良好	橙色 橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ナデ。	完存。 底部内面に付着物の痕跡あり。
2	No.11	土師器　坏	〔13.1〕	丸底	(3.2)	微細砂	良好	橙色 橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ナデ。	1/7 残存。

H－23

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	No.11	土師器　坏	12.0	－	4.5	茶色粒、雲母	良好	明赤褐色 明赤褐色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ユビナデ。	1/2 残存。
2	No. 2	土師器　坏	12.3	丸底	4.5	白・黒・茶色細粒、黒雲母、チャート	良好	明赤褐色 明赤褐色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ及びユビナデ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラナデ及びユビナデ。	完存。 外面に煤付着。
3	No. 9	土師器　坏	12.5	丸底	5.0	細砂	良好	橙色 橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラナデ。	完存。
4	No. 5，8,12	土師器　甑	－	8.7	(21.0)	白色粒	良好	明黄褐色 明黄褐色	外面：ヘラケズリ。 内面：ユビナデ。	1/3 残存。

H－24

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	No.12	須恵器　蓋	〔10.0〕	－	(4.1)	白色粒	良好	灰色 灰色	外面：口縁～体部ロクロナデ。天井部静止ヘラケズリ。 内面：口縁～天井部ロクロナデ。	1/4 残存。 TK217 型式。
2	No.13	土師器　坏	10.7	－	3.3	雲母	良好	にぶい赤褐色 にぶい赤褐色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ユビナデ。	口縁部 1/3 欠損。
3	No.14	土師器　坏	10.8	－	3.3	雲母、小石	良好	明赤褐色 明赤褐色	外面：口縁部ヨコナデ。体部ユビオサエ。底部ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラナデ後ユビナデ。	1/2 残存。 北武蔵系坏。
4	No. 5	土師器 長胴甕	〔19.2〕	－	17.3	雲母	良好	にぶい橙色 にぶい橙色	外面：口縁部ヨコナデ。肩部斜位ヘラケズリ。以下縦位ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ナデ。	口縁～胴部 1/4 残存。
5	No. 1	土師器 長胴甕	－	－	(24.7)	雲母	良好	橙色 橙色	外面：ヘラケズリ。 内面：ナデ。	胴部残存。

H－25

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	覆土	土師器　坏	14.4	－	4.0	雲母	良好	明赤褐色 明赤褐色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ユビナデ。	1/2 残存。 有段口縁坏。
2	No. 1	土師器　坏	12.1	－	4.1	白色粒	良好	暗褐色 暗褐色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ユビナデ。	2/3 残存。

T－4

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	覆土	須恵器 高台坏	14.6	8.0	6.6	黒色細粒、茶色粗粒	良好	にぶい黄橙色 にぶい黄橙色	外面：ロクロナデ。底部回転糸切り。貼付高台。 内面：ロクロナデ。	口縁部一部欠損。酸化焔焼成。 内面に漆状の付着物。
2	覆土	瓦器か 小椀	〔4.9〕	丸底	3.2	粘土質	良好	赤黒色 赤黒色、赤褐色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ロクロナデ後。ミガキ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ロクロナデ後。ミガキ。	2/5 残存。 底部内面に漆状の付着物。

W－1

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	覆土	瓦質 内耳鍋	〔34.2〕	欠損	(15.3)	白・黒・茶色細粒	良好	黒褐色 にぶい赤褐色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ロクロナデ後ヘラナデ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ロクロナデ及びユビナデ。	口縁～体部中位片。 外・内面に煤付着。
2	覆土	焙烙	〔33.4〕	〔29.7〕	5.4	白色粒	良好	にぶい橙色 にぶい橙色	外面：口縁部ヨコナデ。体部ロクロナデ・ユビナデ。底部無調整。 内面：口縁部ヨコナデ。体部ロクロナデ。	口縁～底部破片。 外面に煤付着。

No	出土位置	種別、器種	直径	幅	高さ	石質	焼成	色調	重量	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
3	覆土	石製品　茶臼	19.7	－	(12.7)	黒色安山岩	－	－	5.8kg	上臼。挽目は磨耗顕著。 上端部打ち欠き。	上端部周縁欠損。

W－3

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	覆土	かわらけ	8.6	5.0	2.2	微細砂	良好	黄橙色 黄橙色	外面：ロクロナデ。底部回転糸切り後無調整。 内面：ロクロナデ。	完存。

W－9

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	覆土	須恵器　坏	10.2	4.7	2.9	白色粒、小石	良好	にぶい黄橙色 にぶい黄橙色	外面：ロクロナデ。底部回転糸切り後無調整。 内面：ロクロナデ。	ほぼ完存。 酸化焔焼成。
2	覆土	須恵器　小皿	〔9.0〕	〔3.8〕	2.3	白色粒	良好	黒褐色 黒褐色	外面：ロクロナデ。底部回転糸切り後無調整。 内面：ロクロナデ。	1/4 残存。 酸化焔焼成。

I－1

No	出土位置	種別、器種	直径	幅	厚さ	石質	焼成	色調	重量	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	覆土	石製品　板碑	(14.0)	(14.3)	2.2	緑泥片岩	－	－	624.0g	刻書あり。判読不能。	頂部片。

I－2

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	覆土	須恵器　小皿	〔8.4〕	5.2	2.2	白色粒、雲母	良好	にぶい橙色 にぶい橙色	外面：ロクロナデ。底部回転糸切り後無調整。 内面：ロクロナデ。	1/2 残存。 酸化焔焼成。

I－3

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	覆土	須恵器　坏	〔10.3〕	6.0	2.7	白色粒	良好	赤褐色 赤褐色	外面：ロクロナデ。底部回転糸切り後無調整。 内面：ロクロナデ。	2/3 残存。体部に穿孔あり。 酸化焔焼成。

D－13

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	No. 1	須恵器　坏	9.6	5.7	2.7	黒色粒	良好	浅黄色 浅黄色	外面：ロクロナデ。底部静止糸切り後無調整。 内面：ロクロナデ。	ほぼ完存。内面煤付着か。 酸化焔焼成。
2	No. 3	須恵器　羽釜	〔23.4〕	－	(7.5)	白色粒、雲母	良好	橙色 橙色	外面：ロクロナデ。 内面：ロクロナデ。	口縁部 1/8 残存。 酸化焔焼成。

D－23

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	覆土	灰釉陶器 碗	－	〔7.9〕	(3.0)	白色粒	良好	灰白色 灰白色	外面：ロクロナデ。底部回転糸切り後ナデ。貼付高台。 内面：ロクロナデ。	体下～底部 1/4 残存。 内・外面施釉。

遺構外

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	表土	土師器　坏	〔12.4〕	－	(4.0)	雲母	良好	にぶい橙色 にぶい橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラナデ後ユビナデ。	1/4 残存。
2	表土	土師器　坏	〔12.4〕	－	(4.2)	雲母	良好	橙色 橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ユビナデ。	1/4 残存。

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
3	表土	土師器　坏	〔10.9〕	－	(3.7)	雲母	良好	橙色 橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ユビナデ。	1/4 残存。
4	表土	土師器　坏	〔11.0〕	－	3.5	小石、雲母	良好	橙色 橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ユビナデ。	1/4 残存。
5	表土	須恵器　蓋	〔11.9〕	－	(3.4)	白色粒、小礫	良好	明赤褐色 明赤褐色	外面：口縁部ヨコナデ。天井部回転ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。天井部ユビナデ。	破片。 TK209 型式。
6	表土	須恵器　坏	〔13.8〕	－	(2.0)	白色粒	良好	灰色 灰色	外面：ロクロナデ。底部回転ヘラケズリ。 内面：ロクロナデ。	破片。 TK209 型式か。
7	確認面	灰釉陶器 皿	〔13.4〕	7.0	3.0	茶色粒	良好	灰白色 灰白色	外面：ロクロナデ。底部回転糸切り。貼付高台。 内面：ロクロナデ。	1/2 残存。内・外面施釉。 虎渓山 1 号窯式。
8	表土	須恵器 高台塊	〔10.8〕	6.4	5.5	雲母	良好	にぶい黄橙色 にぶい黄橙色	外面：ロクロナデ。底部回転糸切り後ナデ。貼付高台。 内面：ロクロナデ。	1/3 残存。 酸化焔焼成。
9	表土	須恵器 高台皿	〔12.1〕	6.2	2.9	雲母	良好	淡黄色 淡黄色	外面：ロクロナデ。底部ナデ。貼付高台。 内面：ロクロナデ。	1/3 残存。 酸化焔焼成。
10	表土	須恵器 高台皿	〔9.5〕	〔4.9〕	2.8	雲母	良好	淡黄色 淡黄色	外面：ロクロナデ。底部ナデ。貼付高台。 内面：ロクロナデ。	1/4 残存。 酸化焔焼成。
11	表土	須恵器 高台皿	〔7.8〕	〔4.8〕	2.0	雲母	良好	橙色 橙色	外面：ロクロナデ。底部回転糸切り後無調整。貼付高台。 内面：ロクロナデ。	1/2 残存。 酸化焔焼成。
12	表土	須恵器　坏	10.0	5.2	3.2	白色粒	良好	にぶい橙色 にぶい橙色	外面：ロクロナデ。底部回転糸切り後無調整。 内面：ロクロナデ。	2/3 残存。内・外面煤付着。 酸化焔焼成。
13	表土	須恵器　坏	〔9.6〕	5.5	2.8	白・茶色粒	良好	橙色 橙色	外面：ロクロナデ。底部回転糸切り後無調整。 内面：ロクロナデ。	1/2 残存。内・外面煤付着。 酸化焔焼成。
14	表土	須恵器　坏	〔10.6〕	4.5	3.0	白色粒、雲母	良好	橙色 橙色	外面：ロクロナデ。底部回転糸切り後無調整。 内面：ロクロナデ。	1/2 残存。 酸化焔焼成。
15	表土	須恵器　坏	10.0	5.1	3.0	白色粒、小石	良好	にぶい黄橙色 にぶい黄橙色	外面：ロクロナデ。底部回転糸切り後無調整。 内面：ロクロナデ。	2/3 残存。内・外面煤付着。 酸化焔焼成。
16	表土	須恵器　坏	9.8	4.8	2.7	雲母	良好	橙色 橙色	外面：ロクロナデ。底部回転糸切り後無調整。 内面：ロクロナデ。	2/3 残存。 酸化焔焼成。
17	表土	須恵器　坏	〔10.7〕	〔5.4〕	2.3	白色粒、小石	良好	にぶい黄橙色 にぶい黄橙色	外面：ロクロナデ。底部回転糸切り後無調整。 内面：ロクロナデ。	1/4 残存。 酸化焔焼成。
18	表土	須恵器　坏	〔9.6〕	4.0	2.4	白色粒、雲母	良好	橙色 橙色	外面：ロクロナデ。底部回転糸切り後無調整。 内面：ロクロナデ。	1/3 残存。 酸化焔焼成。
19	表土	須恵器　坏	〔7.9〕	〔4.0〕	2.4	白色粒	良好	明赤褐色 明赤褐色	外面：ロクロナデ。底部回転糸切り後無調整。 内面：ロクロナデ。	破片。 酸化焔焼成。
20	表土	須恵器　坏	10.7	6.4	3.1	雲母	良好	橙色 橙色	外面：ロクロナデ。底部回転糸切り後無調整。 内面：ロクロナデ。	口縁部 1/3 欠損。 酸化焔焼成。
21	表土	須恵器　小皿	8.6	5.8	1.9	白・茶色粒	良好	橙色 橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ユビナデ。底部回転糸切り後無調整。 内面：ロクロナデ。	1/2 残存。 酸化焔焼成。
22	表土	須恵器　小皿	8.9	5.3	2.0	白色粒	良好	明赤褐色 明赤褐色	外面：ロクロナデ。底部回転糸切り後無調整。 内面：ロクロナデ。	ほぼ完存。内・外面煤付着。 酸化焔焼成。
23	表土	須恵器　小皿	8.0	4.9	2.1	茶色粒、雲母	良好	にぶい黄橙色 にぶい黄橙色	外面：ロクロナデ。底部回転糸切り後無調整。 内面：ロクロナデ。	口縁部 1/3 欠損。 酸化焔焼成。
24	表土	かわらけ	〔9.5〕	〔4.7〕	1.8	茶色粒	良好	にぶい橙色 にぶい橙色	外面：ロクロナデ。底部回転糸切り後無調整。 内面：ロクロナデ。	1/3 残存。
25	表土	かわらけ	〔8.6〕	5.3	1.9	白色粒、雲母	良好	橙色 橙色	外面：ロクロナデ。底部回転糸切り後無調整。 内面：ロクロナデ。	3/4 残存。 外面煤付着。
26	表土	かわらけ	〔8.5〕	5.8	1.4	茶色粒	良好	にぶい橙色 にぶい橙色	外面：口縁部ヨコナデ。以下ユビナデ。底部回転糸切り後無調整。 内面：ロクロナデ。	1/2 残存。
27	表土	青磁　碗	－	5.6	(1.5)	白色粒	良好	オリーブ灰色 オリーブ灰色	外面：不明瞭な鎬蓮弁文。高台露胎せず。 内面：底部中央に不鮮明な印花文。	破片。内・外面施釉。発色の悪い釉調。龍泉窯系。15 世紀。
28	表土	陶器　碗	4.7	－	(2.8)	白色粒	良好	にぶい黄橙色 にぶい黄橙色	外面：ロクロナデ。 内面：ロクロナデ。	底部破片。 内・外面施釉。
29	表土	陶器 黒楽茶碗	〔10.3〕	－	(6.0)	白色粒	良好	黒褐色 黒褐色	外面：ロクロナデ。 内面：ロクロナデ。	1/8 残存。 内・外面施釉。
30	表土	陶器 灯明皿	〔8.5〕	－	2.3	白色粒、雲母	良好	にぶい褐色 にぶい褐色	外面：ヘラケズリ。底部に鉄釉による施文。 内面：ロクロナデ。	破片。 内・外面施釉。
31	表土	陶器 擂鉢	－	－	(3.5)	白色粒、小石	良好	褐色 褐色	外面：ロクロナデ。 内面：ロクロナデ。	口縁部破片。 内・外面施釉。
32	表土	瓦質 焙烙	〔32.2〕	〔30.2〕	5.3	白色粒	良好	灰白色 灰白色	外面：口縁部ヨコナデ。体部ユビオサエ。底部無調整。 内面：口縁～底部ヨコナデ。	口縁部 1/8 残存。 外面煤付着。
33	表土	瓦質 焙烙	〔36.8〕	〔33.3〕	5.5	白・茶色粒	良好	黄灰色 黄灰色	外面：口縁部ヨコナデ。体上部ロクロナデ。体下部ユビナデ。 内面：口縁部ヨコナデ。以下ロクロナデ。	口縁部 1/10 残存。 外面煤付着。
34	表土	火鉢	－	〔21.5〕	(2.6)	雲母	良好	橙色 橙色	外面：ユビナデ。脚部ヨコナデ。 内面：ヨコナデ。	破片。
35	表土	火鉢か	〔4.0〕	〔10.5〕	1.5	白・茶色粒	良好	にぶい橙色 にぶい橙色	外面：カキ目。 内面：ヨコナデ。	破片。
No	出土位置	種別、器種	長さ	幅	厚さ	材質	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
36	表土	瓦　平瓦	(7.6)	(4.5)	1.2	白色粒	良好	黒色 黒色	凹面：布目痕。 凸面：ヘラナデ。	破片。
No	出土位置	種別、器種	長さ	幅	厚さ	石質	焼成	色調	重量	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
37	表土	石製品　硯	(4.5)	(3.1)	(0.9)	粘板岩	－	黒色	(14.0g)		破片。
No	出土位置	種別、器種	長さ	幅	厚さ	石質	焼成	色調	重量	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
38	表土	石製品　砥石	(9.1)	3.3	2.4	凝灰岩	－	灰白色	(130.2g)		端部欠損。
No	出土位置	種別、器種	直径	幅	厚さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
39	表土	羽口	〔8.5〕	(7.4)	(4.0)	白色粒、小礫	良好	黒色 橙色	内・外面の端部はガラス質に滓化。	端部破片。
No	出土位置	種別、器種	直径	幅	厚さ	石質	焼成	色調	重量	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
40	表土	石器 打製石斧	(4.6)	4.1	1.6	粗粒安山岩	－	－	(31.7g)	横長の剥片を素材に用いている。成形及び調整剥離は主に周縁に施され、残存する磨耗範囲からは、二次的成形剥離より石器を再生していることも想起される。	上部（基部）片。

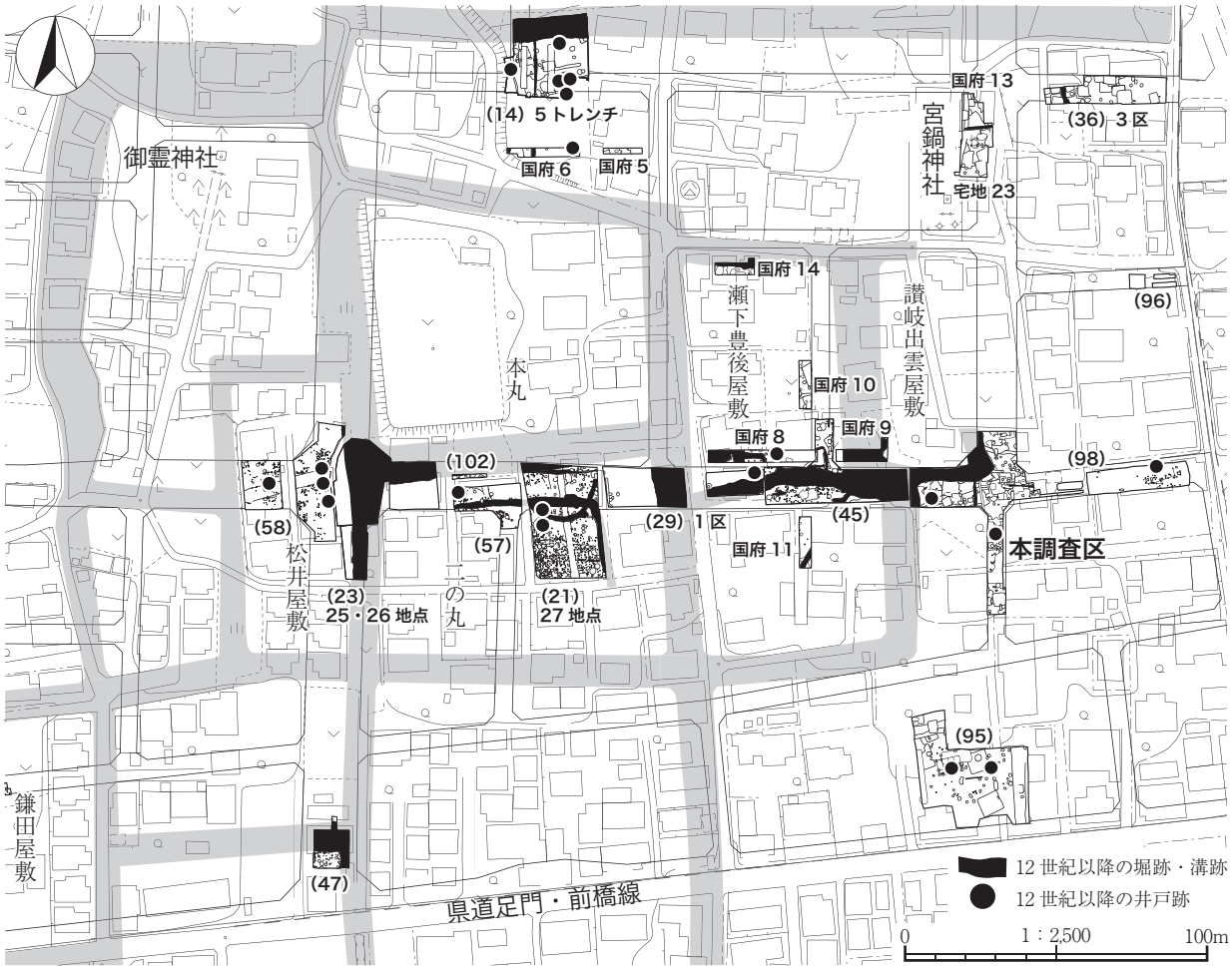
No	出土位置	銭種名	国名	初鋳年代	材質	外径（mm）	穿径（mm）	厚さ（mm）	重量	備考
41	確認面	洪武通宝	明	1408 年	銅	24.0	7.0	1.5	2.5g	完存。
42	確認面	永楽通宝	明	1411 年	銅	24.0	5.5	1.2	2.9g	完存。

Ⅵ　発掘調査の成果と課題

今回の調査地点は、戦国時代には、蒼海城の中枢部である本丸東側の曲輪群にあたり、また、奈良・平安時代には、上野国府等範囲内容確認調査において、宮鍋神社南側の平坦地に設定された「国庁推定地Ｃ案」の範囲内にあたる。それぞれの時代における上野国の政治的中枢を担った土地であり、おのずと歴史的な課題も多く、すでに様々な検討・研究も現在進行形で行われていることから、本章では、今回の調査地点と周辺調査地点の調査成果をクロスチェックしつつ、元総社蒼海遺跡群における本調査地点の位置付けを考えてみたい。

蒼海城との関連（Fig.33）　Ｗ－１号溝跡は、出土遺物から推定できる埋没時期、規模と形状、総社長尾氏在城時の旧状を描いたとされる総社資料館所蔵の『蒼海城絵図』や、山崎 1978 の蒼海城縄張図に記された堀跡との位置関係から、蒼海城本丸の東側に構築された曲輪群の一部をなすものといえる。

西端は蒼海（45）Ｗ－１号溝跡へ接続する。ちょうど本調査区との境目で南へ丁字状に分岐しており、その南側に二つの曲輪を構築しているようである。東端は北へＬ字状に屈曲し、別の曲輪を構築する。この南北堀跡に対応する堀跡は、国府９トレンチＷ－１号溝跡と考えることができ、先述の蒼海（45）Ｗ－１号溝跡から北へ丁字状に分岐し、『蒼海城絵図』に描かれた「瀬下豊後屋敷」の曲輪と、本調査地点の北西側に構築された曲輪を分断している。 また、本調査地点は、『蒼海城絵図』に描かれた「讃岐出雲屋敷」の曲輪内に位置する。「讃岐出雲屋敷」の曲輪は、絵図によれば「瀬下豊後屋敷」の曲輪の東側と南側をＬ字状に囲むように描かれてい



※(　)：元総社蒼海遺跡群　　国府：上野国府等範囲確認調査　　宅地：元総社宅地遺跡

Fig.33　蒼海（65）周辺の蒼海城に関わる堀跡（市教委 2010b・2013a を加筆修正）

るが、W－1号溝跡はこの曲輪内をさらに東西に分断する。それぞれの堀跡の厳密な共時性は不明だが、蒼海城中枢部における、複雑な防御構造の一端を知ることができる。また、山崎1978の縄張図では、W－1号溝跡の西端部が観察されており、その名残りは近年まで地形として残存していたようである。

本調査地点ではほかに、遺構の重複関係から、少なくとも12世紀以降と推測できる井戸を数基確認した。周辺でも該期の井戸が複数確認されているが、基盤層となる総社砂層は浸透層であり、湧水を得るには深井戸とする必要がある。蒼海（58）Ⅰ－1号井戸では、重機による断ち割りで井戸底が確認されており、それによれば井戸底は、硬い総社砂層とその下層の泥炭層を掘り抜き、As-YPの下層まで達し、確認面からの深さは3.32 mにも達する。井戸底は枯れていた。掘削には相応の投資が想像できるが、蒼海城の各曲輪内には、このような井戸跡が点在し、特に本丸の北側に接続する曲輪と、南西に接続する「松井屋敷」の曲輪内では分布密度が高いようである。これらの井戸跡は、一義的には城内の生活を潤すもだろうが、近接する牛池川や染谷川からの取水も容易であることを鑑みると、篭城戦に備えた軍事的な意味も想定しておく必要があるだろう。

「国庁推定地C案」との関連（Fig.34）　本調査地点の基本層序Ⅰ・Ⅱ層は、平安時代末から戦国時代頃のかわらけを多数包含し、現況の基本層序にはほとんど存在しない、Hr-FAやAs-Cを含むことから、調査時の所見では、蒼海城に伴う空堀の掘削排土を利用した造成客土層と認識されている。その直下は、Hr-FAやAs-Cの混土層を挟まず、直接に安定した総社砂層の上面となることから、周辺の地形は、蒼海城が機能した段階において、総社砂層の上面まで、削平と造成客土による、かなり大規模な地形改変を受けたものと考えられる。周辺調査地点の基本層序を点検してみると、北は蒼海（14）5トレンチと国府5・6トレンチの界隈で、東は本調査地点の東トレンチと蒼海（98）の界隈で、基本層序の変化を読み取ることができ、以北・以東では、Hr-FAやAs-C混土層の堆積が確認できる。地形改変以前の旧状は、蒼海城本丸の所在する西側から、牛池川の川裾へ落ちる東側に向かって、緩やかな傾斜地となっていたようである。この地形改変の範囲を、山崎1978の縄張図とオーバーラップさせてみると、蒼海城本丸を北西の頂点とし、「二の丸」「瀬下豊後屋敷」「讃岐出雲屋敷」など、南東へ扇状に連なる曲輪群の構築との関連性を推測することができ、これら曲輪内の平場を確保するための造成が、「国庁推定地C案」周辺の現況地形と、該期に帰属する遺構の残存状況に大きな影響を及ぼしているものと考えることができる。

本調査地点は「国庁推定地C案」の中にありながら、その性格を直接的に示すような遺構や遺物を確認することはできなかった。近年調査された蒼海（99）や国府28トレンチでは、掘込地業をもつ建物跡が数軒確認されており、また、推定地北側の元総社宅地遺跡23トレンチや、南側の蒼海（95）で確認された掘立柱建物跡群の存在も鑑みるに、本調査地点にも本来、そのような遺構が存在してもおかしくはないが、先述した地形改変の影響によって、そうした掘削深度の浅い遺構群は、消失している可能性がある。

構造的に深い掘り込みを構築する竪穴住居跡は、この地形改変の影響をかろうじて免れたようであり、ある程度の数量的な検討に堪え得る。そこでFig.34には、「国庁推定地C案」の範囲内で確認された竪穴住居跡の時期別分布を示した。本調査地点では6世紀中葉～7世紀前半に営まれた住居跡が多く、次いで10世紀後半～11世紀前半の住居跡が多い。一方で、8～9世紀の分布が空白となることは留意しておく必要があるだろう。周辺調査地点でも様相はほぼ同様だが、元総社宅地遺跡23トレンチ・国府13トレンチ・蒼海（36）3区では、10世紀以降に住居跡が極端な増加傾向を示している。また、蒼海（98）では7世紀後半の住居跡が確認されており、国府10トレンチでは、8世紀の住居跡2軒が確認されている。特に国府10トレンチH－2号住居跡は、床面直上から、底部外面に回転ヘラケズリによる最終調整を施した須恵器無台坏が出土し、8世紀前半に帰属時期を求めることができることから、この住居跡の性格に帰する問題なのか、推定地自体の性格に帰する問題なのかは、一考を要するだろう。9世紀の空白は各調査地点一律であり、本調査地点では遺構外のものも含めて、該

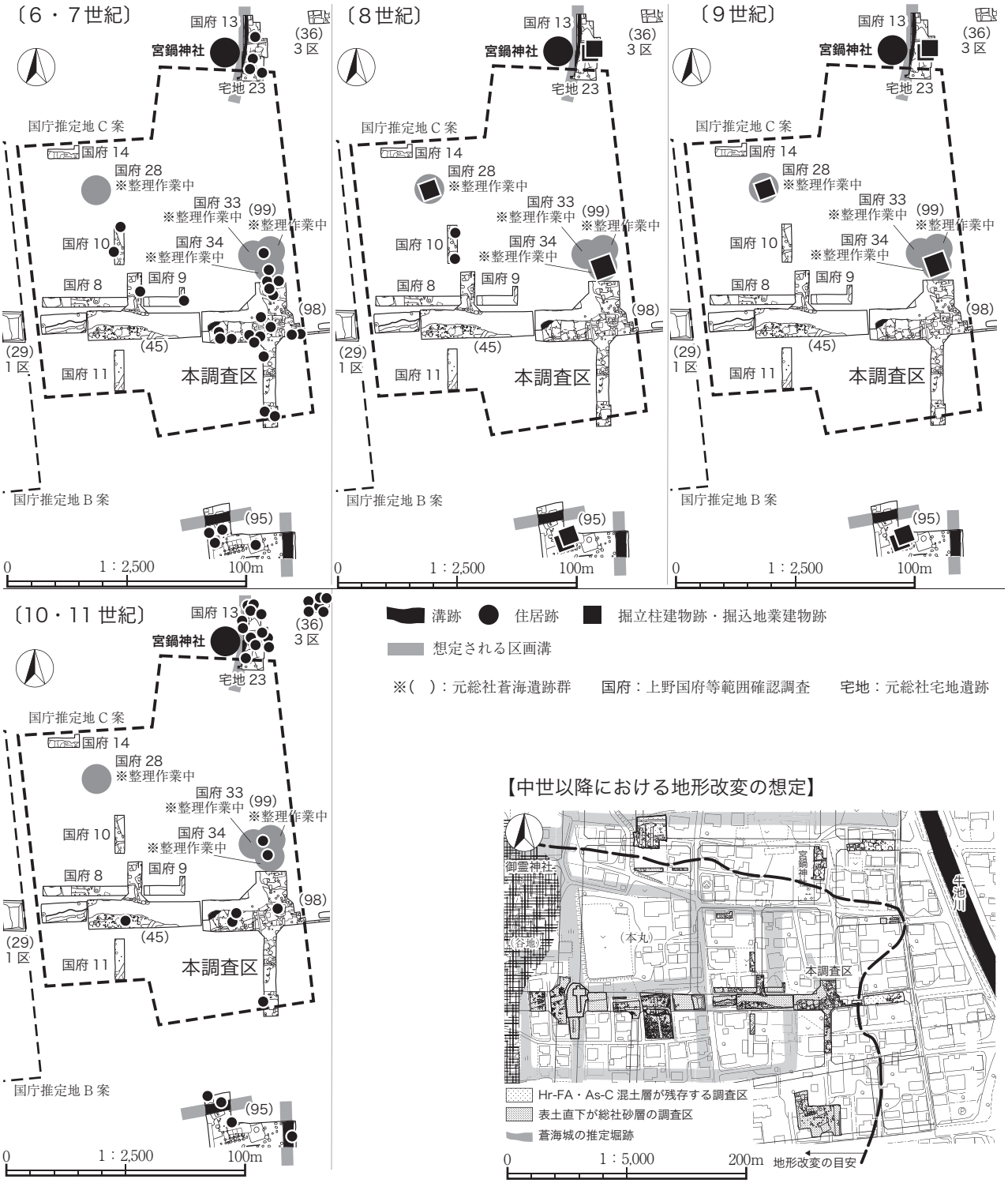


Fig.34　蒼海（65）周辺における古墳～平安時代の主要遺構分布

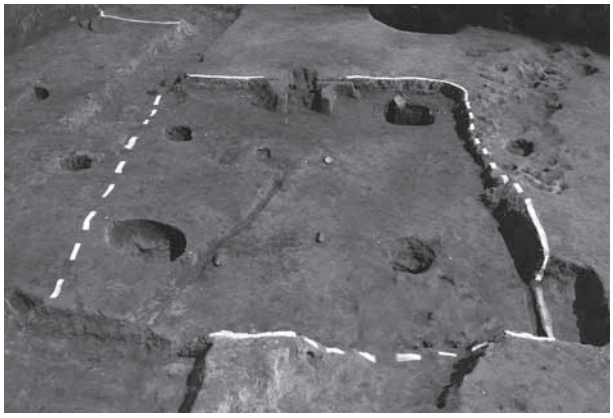
期に帰属する遺物は極めて少なかった。遺構外から灰釉陶器の皿が出土しているが10世紀後半の資料である。周辺調査地点では、蒼海（36）で緑釉陶器皿、元総社宅地遺跡23トレンチと蒼海（45）で獣脚付土器、蒼海（29）で腰帯具巡方、蒼海（95）で転用硯が出土しているが、推定地の性格を示す遺物としては僅少である。

本調査地点と周辺調査地点における住居跡の時期別分布状況は、現状では特徴的な空白期を示している。この空白期が、「国庁推定地C案」のもつ意義を、ネガティブ・プリントとして暗に示しているものなのか否か、今後の元総社蒼海遺跡群発掘調査や、上野国府等範囲内容確認調査の成果に期待したい。

Ｈ－１～４全景（西から）

Ｈ－２・Ｗ－10全景（西から）

Ｈ－３全景（西から）

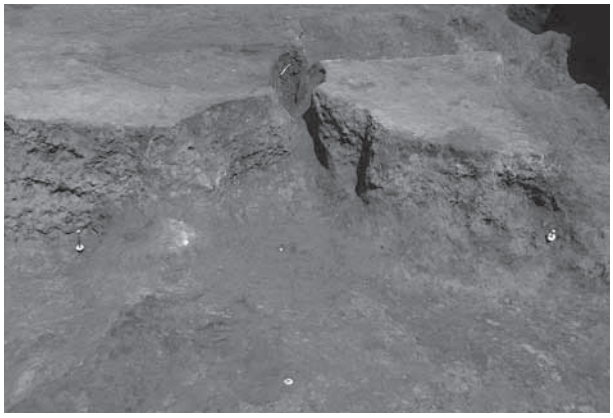


Ｈ－４全景（南西から）

Ｈ－４カマド全景（南西から）

Ｈ－５全景（南西から）

Ｈ－６全景（南から）



Ｈ－６カマド全景（南から）

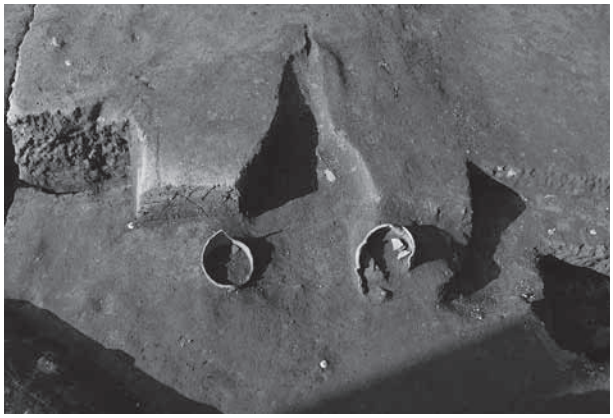
Ｈ－６遺物出土状況（南から）

Ｈ－７全景（西から）

Ｈ－７カマド全景（西から）

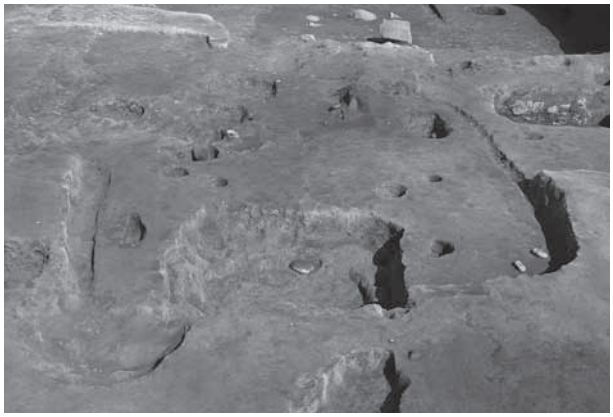
Ｈ－７－１遺物出土状況（北から）

Ｈ－８全景（南から）



Ｈ－８カマド全景（南から）

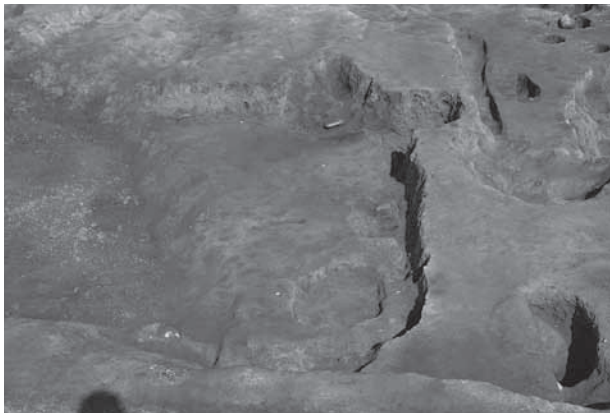
Ｈ－９全景（北東から）



Ｈ－11全景（西から）

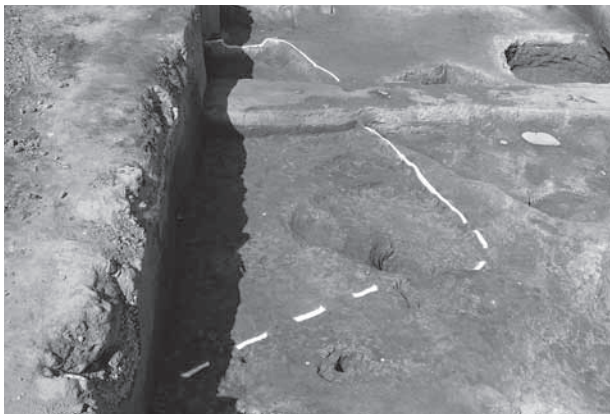
H－11カマド全景（西から）

H－11貯蔵穴全景（西から）



H－12全景（西から）

H－12カマド全景（西から）



H－13全景　（南から）

H－15全景（西から）

H－15カマド全景（西から）

H－16全景（東から）

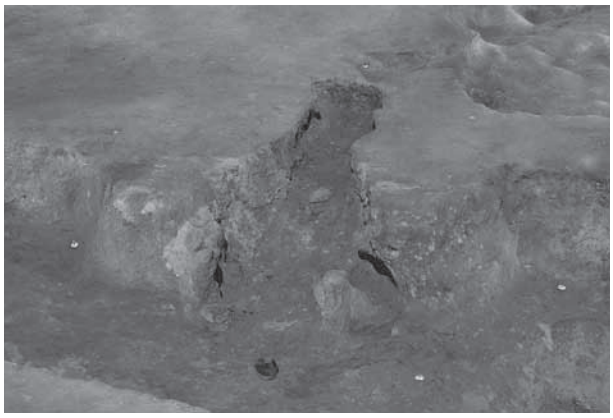
H－16カマド全景（東から）

H－16貯蔵穴全景（東から）

H－16－2遺物出土状況（北から）

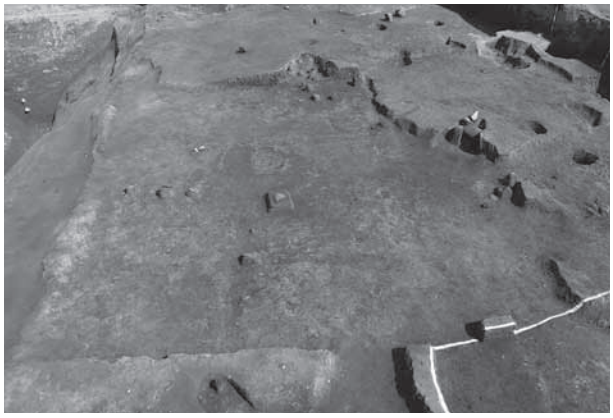
H－17全景（東から）

H－18全景（南西から）

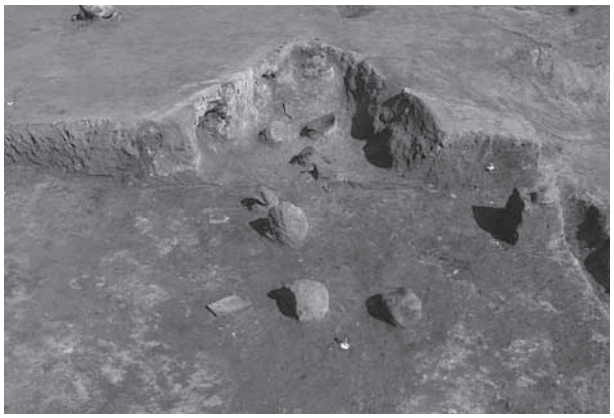


H－18カマド全景（南西から）

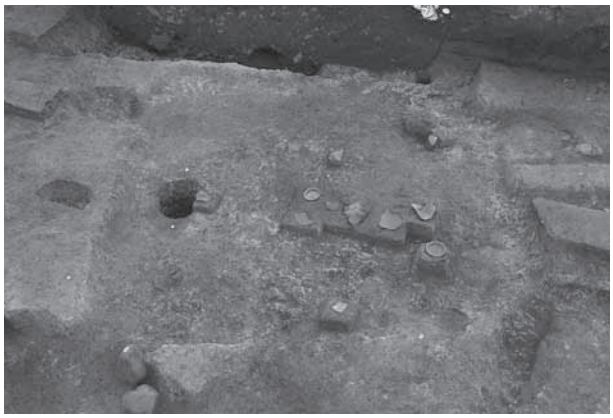
H－19全景（南西から）



H－20全景（西から）



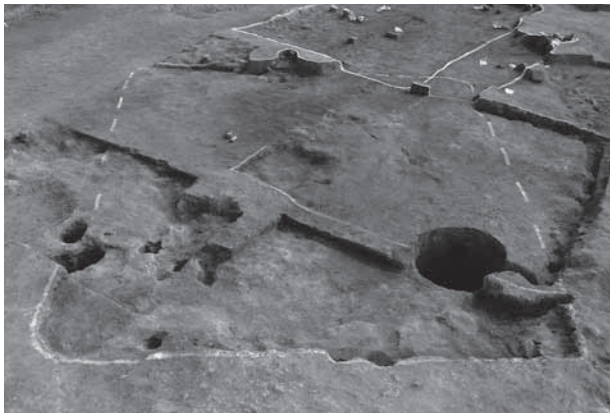
Ｈ－20カマド全景（西から）



Ｈ－23遺物出土状況（北西から）

Ｈ－24全景（南から）

Ｈ－24カマド遺物出土状況（南から）

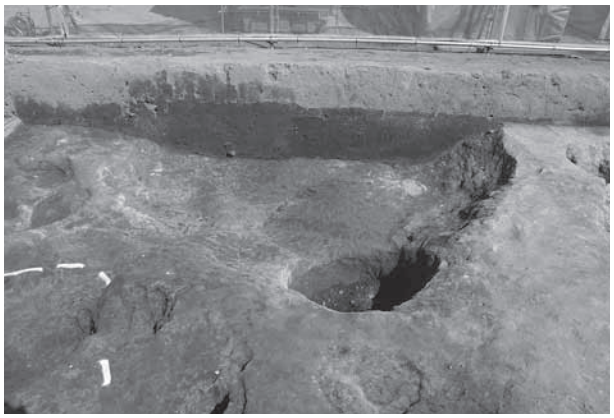


Ｈ－25全景（南西から）

Ｈ－25カマド全景（南西から）

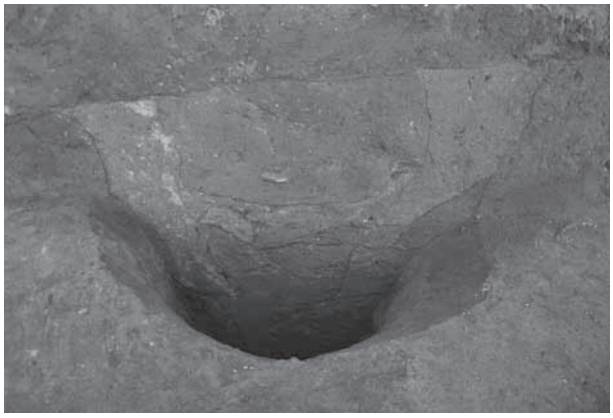
Ｈ－26全景（東から）

Ｗ－３全景（西から）


W－５全景（西から）

Ⅰ－１SPA土層断面（西から）

Ⅰ－１全景（西から）


Ⅰ－２SPA土層断面（西から）

Ⅰ－３SPA土層断面（西から）

Ⅰ－３全景（西から）

Ｄ－13遺物出土状況（南から）

作業風景

H-3-1
H-3-2
H-3-3 (1/4)
H4-1
H4-6
H4-2
H4-3 (1/4)
H4-4 (1/4)
H4-5 (1/4)
H-6-1
H-7-1
H-7-2
H-8-3 (1/4)
H-9-1 (1/4)
H-8-2 (1/4)
H-10-1
H-10-2
H-10-3
H-11-1
H-11-2
H-11-3
H-11-5
H-12-2
H-12-3
H-13-3
H-14-1
H-14-3 (1/4)
H-15-1
H-15-2
H-16-1

H -16- 2

H -16- 4 （1／4）

H -17- 1 （1／1）

H -18- 1

H -18- 2

H -16- 5 （1／4）

H -19- 2

H -20- 1

H -20- 2

H -20- 3

H -20- 4

H -20- 5

H -20- 6

H -20- 7

H -20- 8 （1／4）

H -21- 2

H -20- 9 （1／4）

H -20-10

H -21- 3

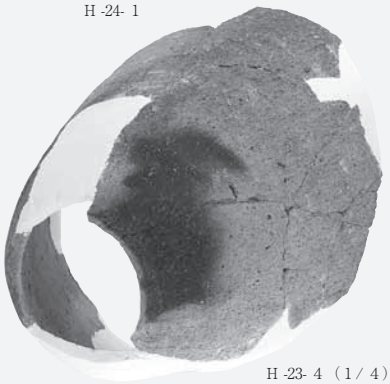
H -22- 1

H -24- 1

H -23- 1

H -23- 2

H -23- 3


H -23- 4 （1／4）

H -24- 2

H -24- 3

H -24- 4 （1/4）

H -25- 1

H -25- 2

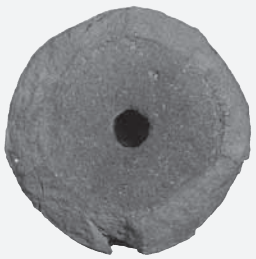
W - 1 - 1 （1／4）

W - 1 - 2 （1／4）

T - 4 - 1

T - 4 - 2

W - 3 - 1



W - 1 - 3（1 / 6）

W - 9 - 1

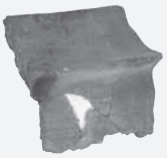
I - 1 - 1（1 / 4）

W - 9 - 2

D -23- 1

I - 2 - 1

D -13- 1



D -13- 2（1 / 4）

I - 3 - 1

遺構外 - 4

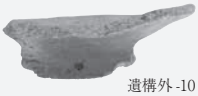
遺構外 - 5

遺構外 - 6

遺構外 - 7

遺構外 - 8

遺構外 - 9



遺構外 -10

遺構外 -11

遺構外 -12

遺構外 -13

遺構外 -14

遺構外 -15

遺構外 -16

遺構外 -18

遺構外 -20

遺構外 -21

遺構外 -22

遺構外 -23

遺構外 -24

遺構外 -25

遺構外 -27

遺構外 -28

遺構外 -29

遺構外 -32（1 / 4）

遺構外 -41（1 / 1）

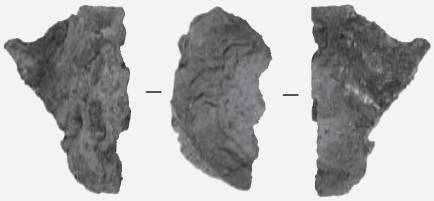
遺構外 -33（1 / 4）

遺構外 -34（1 / 4）

遺構外 -36（1 / 4）

遺構外 -37

遺構外 -38



遺構外 -39

遺構外 -42（1 / 1）

報告書抄録

カタカナ	モトソウジャオウミイセキグン（65）
書名	元総社蒼海遺跡群（65）
副書名	前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	－
シリーズ名	－
シリーズ番号	－
編著者名	藤坂和延・中村岳彦
編集機関	技研コンサル株式会社
編集機関所在地	〒371－0031　群馬県前橋市下小出町１-15-３
発行機関	前橋市教育委員会
発行機関所在地	〒371－0853　群馬県前橋市総社町３-11-４
発行年月日	2016年３月23日

フリガナ	フリガナ	コード		位置		調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	北緯	東経			
モトソウジャオウミイセキグン 元総社蒼海遺跡群 （65）	マエバシ シ モトソウジャマチ 前橋市元総社町 2103-2ほか	102021	25A164	36°23'11	139°2'21	20140122 ～ 20140326	910㎡	前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
元総社蒼海遺跡群 （65）	集落 城館跡	古墳時代 平安時代 中世	住居跡　26軒 溝　８条 堀跡　１条 井戸　５基 土坑　54基 ピット　25基	須恵器・土師器 かわらけ 鉄製品 石製品	古墳時代後期を中心とした集落跡 国庁推定地Ｃ案の範囲内 蒼海城の堀跡

元総社蒼海遺跡群（65）

前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2016年３月18日　印刷
2016年３月23日　発行

発行　前橋市教育委員会文化財保護課
〒371－0853　群馬県前橋市総社町３-11-４
TEL　027-280-6511

編集　技研コンサル株式会社
印刷　朝日印刷工業株式会社